

# 新潟県立歴史博物館年報

第25号 —令和6年度—

## 目次

I	管理運営の状況	1
1	沿革—開館までの経緯—	
2	施設の状況等	
3	運営方針	
4	組織図	
5	事務分掌	
6	予算	
7	令和5年度観覧者の状況	
8	ボランティア	
9	情報管理システム	
10	ホームページ	
11	メールニュース・SNS	
12	評価委員会	
II	事業概要	20
1	学芸事業概要	
(1)	常設展示	
(2)	企画展示	
(3)	収集保管事業	
(4)	調査研究事業	
(5)	被災文化財の救済活動	
(6)	新潟県地域史研究ネットワーク	
2	交流普及事業概要	
(1)	講座	
(2)	体験プログラム	
(3)	視察・団体受け入れ状況	
(4)	出前授業	
(5)	職場体験	
(6)	高校生アカデミック・インターンシップ研修	
3	イベント	
4	博物館実習	
III	関係団体	74
1	新潟県博物館協議会	
2	新潟県立歴史博物館友の会	
IV	日誌抄	76
V	条例等	78
1	新潟県立歴史博物館条例	
2	新潟県立歴史博物館規則	

# I 管理運営の状況

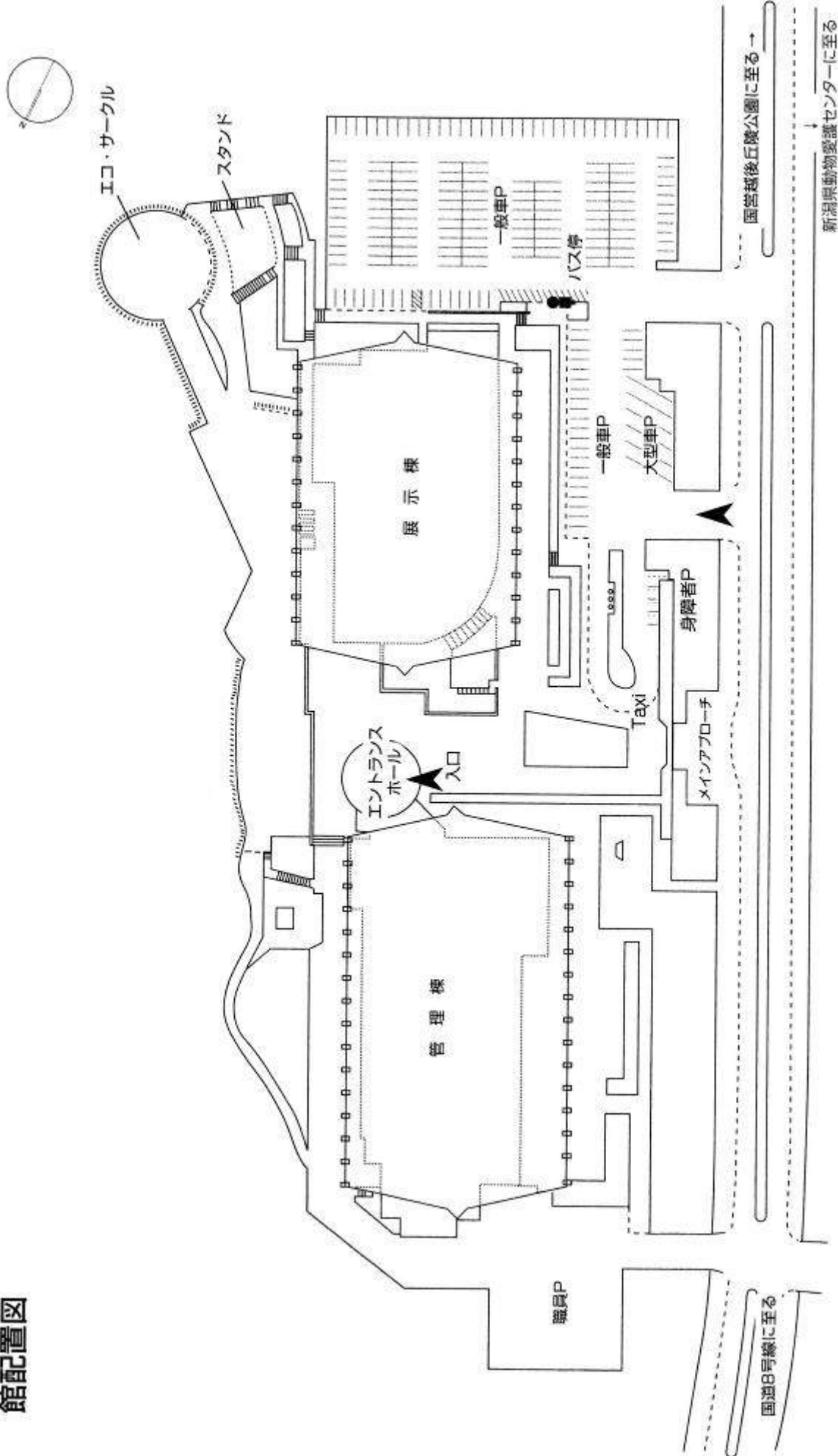
## 1 沿革－開館までの経緯－

- 昭和 60 年度 12 月 10 日 中越地区に社会文化施設を建設することを表明
- 昭和 62 年度 11 月 25 日 中越社会文化施設を長岡市に設置する基本方針を決定
- 昭和 63 年度 ・基本構想策定のための検討懇談会を設置
- 平成 3 年度 ・県の長期構想に掲げる「県立歴史民俗博物館」と「中越社会文化施設（縄文文化館）」の構想を一体の施設として整備する、とした基本構想を策定
- 平成 4 年度 ・基本計画検討委員会（委員 18 名）を設置  
6 月 7 日 「新潟県歴史民俗文化館」（仮称）の建設基本構想を策定
- 平成 5 年度 ・展示収集委員会（委員 10 名）を設置  
4 月 1 日 企画調整部企画課内に社会文化施設建設班を設置  
2 月 7 日 建設地を長岡市関原町 1 丁目地内に決定  
3 月 25 日 建設基本計画を策定
- 平成 6 年度 ・資料調査員（12 名）を設置  
・有識者懇談会（5 名）を設置  
11 月 1 日 展示基本設計契約  
3 月 24 日 展示基本設計完了  
3 月 31 日 建設用地の先行取得
- 平成 7 年度 4 月 20 日 建築基本設計契約  
11 月 30 日 建築基本設計完了  
1 月 18 日 展示実施設計委託
- 平成 8 年度 10 月 9 日 建築実施設計委託  
1 月 31 日 展示実施設計完了  
3 月 31 日 建築実施設計完了
- 平成 9 年度 4 月 1 日 企画調整部企画課内に社会文化施設建設室を設置  
10 月 9 日 建築本体工事発注、展示制作発注  
10 月 28 日 建築工事起工
- 平成 10 年度 4 月 21・23 日 県立歴史民俗文化館（仮称）の所管及び管理運営等について県三役（知事・副知事・出納長）説明
- 平成 11 年度 6 月 7 日 館の正式名称を「新潟県立歴史博物館」に決定  
10 月 15 日 建築工事竣工  
10 月 29 日 「博物館だより」創刊号発行  
3 月 24 日 新潟県立歴史博物館条例議決  
3 月 31 日 「博物館だより」第 2 号・『新潟県立歴史博物館研究紀要』創刊号発行
- 平成 12 年度 4 月 1 日 館の所管を企画調整部から環境生活部に移管  
5 月 30 日 展示制作完了  
7 月 20 日 「博物館だより」第 3 号発行  
7 月 25 日 展示資料据え付け完了  
7 月 28 日 竣工式。報道機関に公開  
7 月 29・30 日 県民に対する内覧会（応募者約 2,000 名）  
7 月 29 日 開館記念協賛事業として野外スペシャルコンサート「土取利行縄文鼓の世界」開催（新潟県立歴史博物館野外エコ・サークル特設ステージにて）  
8 月 1 日 開館

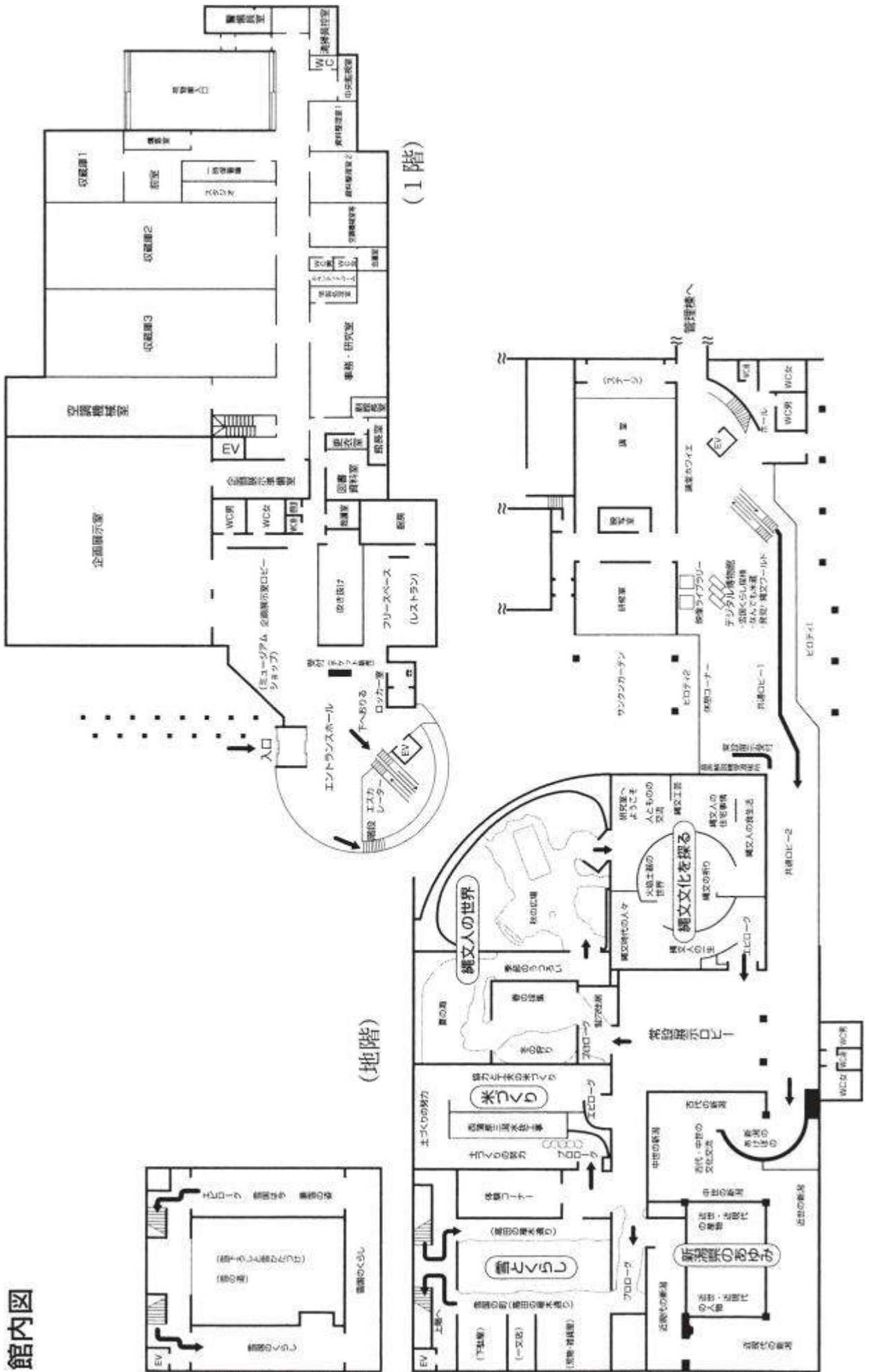
## 2 施設の状況等

- |           |          |   |       |
|-----------|----------|---|-------|
| (1) 施設概要  | 場 所      | 長岡市関原町1丁目字権現堂 2247 番 2  |       |
|           | 敷地面積     | 50,009.36 m <sup>2</sup>  |       |
|           | 建築面積     | 12,101.62 m <sup>2</sup>  |       |
|           | 延床面積     | 10,841.37 m <sup>2</sup>  |       |
|           | 構造・階数    | 鉄筋コンクリート造 地上1階 地下1階   |       |
|           | 駐 車 場    | 外来（一般）  | 184 台 |
|           |          | 大型バス  | 5 台   |
|           |          | 身体障害者   | 4 台   |
| 職員        |          | 48 台  |       |
| (2) 設 計 者 | 基本設計     | (株)日本設計   |       |
|           | 実施設計     | (株)日本設計・新潟県建築設計協同組合特定企業共同体  |       |
|           | 展示設計     | (株)ムラヤマ   |       |
| (3) 請負者   | 建 築      | 植木・大石・小杉特定協同企業体   |       |
|           | 電 気      | 近藤電気(株)   |       |
|           | 空 調      | 朝日・新潟施設特定企業共同体  |       |
|           | 衛 生      | (株)長岡総合設備   |       |
|           | ガ ス      | 北陸ガス(株)   |       |
|           | 昇 降 機    | (株)東芝新潟支店   |       |
|           | 外 構 建 築  | (株)植木組  |       |
|           | 外 構 電 気  | 近藤電機(株)   |       |
|           | 外 構 衛 生  | (株)長岡総合設備   |       |
|           | 植 栽      | (株)ニューガーデン、(株)芳樹園、(株)宮川苑、(株)日建緑地<br>吉茂造園(株)、北越緑化(株)、グリーン産業(株)、(株)鈴木造園 |       |
|           | サ イ ン    | 越後観光(株)   |       |
|           | 室 内 標 識  | (株)サン企画   |       |
|           | 展 示      | (株)トータル・メディア開発研究所   |       |
|           | (4) 総事業費 | 122 億円  |       |

# 館配置図



# 館内図



### 3 運営方針

令和5年3月31日、「新潟県立歴史博物館の運営方針（令和5年度～9年度）」を策定した。以下、当該運営方針の本文を掲載する。

#### 1 策定の趣旨

現在、当博物館は「新潟県立博物館の運営方針（平成29年度～令和3年度を新型コロナウイルス感染症拡大による館運営への影響を考慮して、1年延長し、令和4年度までの6年間に変更）」を定め、資料収集・保管、展示等の諸活動を行っているが、今後ともよりよい博物館づくりを目指すためには、博物館の諸活動の目的を明確化・共有化し、広く県民に提示して不断に活動の検証と改善を行っていくことが引き続き必要である。そのため、今後5年間（令和5年度～令和9年度）を計画期間とした博物館活動の指針となる新たな「運営方針」を定める。

#### 2 当博物館活動の基盤

##### (1) 博物館条例

当博物館は、歴史・民俗および縄文文化に関する県民の教養を高め、県民の学術・文化の振興に資する社会教育施設として平成12年8月に設置された。資料収集・保管、展示など様々な博物館活動を実施している。

##### (2) 上位計画

新潟県総合計画（令和4年4月改定）では、「住んでよし、訪れてよしの新潟県」を基本理念とし、「県民一人一人が学び、成長し、活躍できる新潟」を将来像に掲げ、「文化を通じた豊かな生活の実現」を目指している。

また、新潟県文化振興ビジョン（平成29年4月策定）では、総合計画を受け、基本目標として「文化で創る、心豊かな『ひと』、魅力ある『地域』・・・そして未来へ」掲げ、「ふれる」「つたえる」「つなぐ」の3つの施策の方向性を設定し、さまざまな施策に取り組むこととしている。また、県は専門的・広域的な推進役を果たすものと位置づけられている。

##### (3) 当博物館の運営体制

当館は、開館当初は県文化振興財団に管理運営委託された。平成18年度、指定管理者制度の導入に伴う管理運営形態の検討の結果、県の直営とすることとされたが、同時に「指定管理者制度と同様の創意工夫」も求められている。

平成20年度には、それまでの諸計画を統合して「博物館運営方針」を定めた。平成24年度からはこれを5か年の計画として整理した。

さらには、博物館が行う博物館の諸活動の検証・評価を行うため、平成18年度からは博物館評価委員会が設置されている。

#### 3 当博物館を取り巻く情勢

当博物館を取り巻く情勢として、主に次のものが挙げられる。

##### (1) 全般的な社会情勢

- ・人口減少や経済活動の停滞による税収の減少や社会保障費の増加などで、国・地方の財政状況は厳しさを増している。
- ・訪日外国人増加や県外からの移住などの促進による交流人口の拡大への期待が広がってきている。
- ・人々の生活様式、経済活動などの広範な影響を及ぼす新たな感染症への対策と社会経済活動のバランスを図っていくことが課題となっている。
- ・本県では、全国より早いペースで少子高齢化の進展により、地域社会の維持の困難性が増すなど、県民生活への大きな影響が懸念されている。

## (2) 博物館を取り巻く情勢

- ・新たな感染症拡大の影響により減少した入館者の回復が進まず、引き続き厳しい運営となっている。
- ・このような中、デジタル技術を活用した資料のアーカイブ化とインターネットを通じた鑑賞、教育活動に取り組むことが必要となってきた。
- ・博物館法の改正を踏まえ、地域の多様な主体との連携による文化観光の活動を図り、地域の活力向上に寄与することが求められている。
- ・持続可能な社会の実現（SDGs）を意識した館運営も必要となっている。
- ・本県においては、度重なる災害を経験するなかで、引き続き歴史資料を次世代へ引き継ぐ取組が求められている。

## 4 当博物館活動の現状

当館は、平成12年の開館以来、縄文を中心とした本県の歴史・民俗に関して、「収集・保管」、「展示」、「調査・研究」、「交流・普及」、「情報発信」の5つの機能を果たす活動を展開してきた。

具体的には、資料の収集・保存に努めるとともに、研究調査を館活動の根幹としつつ、常設展示や企画展（4回）を実施してきた。令和2年からは当館の収蔵品等を活用し、県内の歴史、民俗、出土品などに纏わる内容を紹介するテーマ展示を実施、現在は企画展とテーマ展示をそれぞれ2回ずつ実施している。また、館内での講座・体験活動や館外活動、きめ細かな団体案内・展示解説等の充実を図り、学校教育・生涯教育の一翼を担う場としても活用されている。

情報発信では、報道掲載やホームページに加え、積極的にフェイスブックやツイッターなどのSNSを活用し、当館の認知度向上に取り組んでいる。

これらの機能に加え、企画展及びテーマ展示における各種団体との共催や協力、地域史研究ネットワーク、博物館ボランティアの活発化をはじめ、様々な面で地域連携に取り組んでいる。さらには国の科学研究費等外部資金の獲得による研究等の一層の充実にも努めている。

利用者数については、これまで利用者総数（施設機能別（館内外）の利用者数合計）は年間10万人前後で推移し、また観覧者数（常設展・企画展の観覧券発行数）は近年やや漸減傾向にあり、年間5万人台から4万人台となっていた。しかしながら、令和2年度後半から新型コロナウイルス感染症の拡大による人々の行動制限や館活動の自粛の影響を受け、特に利用者総数では年間10万人前後から半分以下の4万人台まで落ち込み、いまだにその影響が継続しており回復していない状況にある。一方で来館者満足度は引き続き90%以上を確保している。

## 5 博物館に対する評価

外部評価委員会による直近の評価である令和5年度の館活動に対する評価報告書では、次のような評価を受けている。

~~~~~  
歴史博物館評価委員会 令和5年度評価報告書の概要  
~~~~~  
・利用者総数・観覧者数が約3割増加したことは、コロナ禍が落ち着き、これまで制限されてきた行動が緩和されたことにもよるが、創意や工夫といった当館職員の日々の尽力によるものと考えられ、高く評価できる。  
・館の基本理念にも掲げられている「新たな歴史像の県民との創造」には県民一人ひとりが本県の歴史に触れあうことが肝要であり、あらゆる世代の利用が望まれる。この点で、新型コロナの5類移行により県内修学旅行利用の学校団体来館者数が減少したことは、懸念される場所である。今後は、これらの利用者が再び来館するような仕掛けなど引き続きの恒常的な利用者の確保が重要であり、その意味で各方面への聞き取りや志向の動向把握などを通じた若年層のニーズの把握は契機になりえるものと思われる。  
・なお、新たな展開を図ろうとする場合、職員減少の中ではすべて従前と同じ行動を前提としていれば、

それは困難であり、社会経済の変化にも対応しながら新潟県の価値を発信し続けるためには、引き続き館内外の関係者一人ひとりの自覚と思考が求められる。

## 6 博物館の基本理念

### (1) 基本的な考え方

- 博物館の目的は「新潟県の歴史及び民俗並びに縄文文化に関する県民の教養を高め、県民の学術及び文化の発展に寄与する」ことにある。

この目的をよりよく達成するためには、これまで記載した現状・評価等を踏まえ、全職員が「博物館は利用者満足が起点」であることを常に意識し、博物館の基本的活動である資料収集・保存、展示、調査・研究等を着実に進める必要がある。そしてその成果を広く還元すべく、より多くの県民にご来館いただき、あるいは様々な博物館活動に触れていただくための創意工夫に努めることが不可欠である。

- また、地域の関係機関から頼られる拠点施設としての活動を充実するとともに、地域文化を発信する観光拠点としても認知されることにより、多面的機能を有し、かつ、県内外及び国際的にも開かれた博物館としての地位を確立することが必要である。
- これらの取組を着実に推進し、厳しい財政状況の中にあっても、県民から理解され支持される存在として発展していく必要がある。

### (2) 当博物館の基本理念

これらの基本的な考え方に基づき、博物館の基本理念を次のとおりとする。

○県民の営みの証である歴史資料を記録・整理・保存し、新たな歴史像\*を県民とともに創造していきます。  
 ○人々と連携しながら、現在から未来へ、地域から世界へと県の価値を発信していくことを使命とします。  
 こうした活動を通して  
 『より県民に愛され、利用され、“にぎわいのある博物館”』を実現します。

※「新たな歴史像の創造」 博物館の活動を通じて再発見される新潟県の価値や魅力が、新潟県の歴史についての新鮮なイメージとして、県民の皆さん一人一人の中で実を結んでいくこと

## 7 博物館活動の目標

この理念に基づいて活動を進めていくにあたっての成果指標として、博物館の利用者数、及び利用者の満足度を掲げる。

### 指 標

- 1 博物館利用者数
- 2 博物館利用者の満足度

指 標		現状値(令和4年度)	目 標
1 利用者数	① 利用者総数 (文化振興ビジョン)	(単年度) 46,649 人	各指標を増加させる
		(前計画期間平均) 83,353 人	
	② 観覧者数	(単年度) 39,836 人	
		(前計画期間平均) 47,239 人	
2 満足度 (単年度)	① 来館者満足度	95%	各指標を維持・向上させる
	② 企画展	91%	
	③ 講座等	講座・講演会 96% 体験コーナー 100%	
	③ 来館者対応	100%	

[各指標の数値について]

1-① 利用者総数

博物館が行う以下の活動・機能ごとの利用者を加算した数値

〔 常設展＋企画展＋講演会・講座＋体験コーナー＋その他イベント等＋  
館外活動（出前講座・授業、移動・巡回展） 〕

1-② 観覧者数

常設展及び企画展のチケット販売数＋無料観覧者・視察者

2-①～④ 満足度 利用者・参加者等のアンケート回答に基づく

## 8 博物館の活動方針

上の目標と併せて、博物館の使命達成と基本理念の実現に向けた活動を行っていくため、当博物館が有する機能や主な取組分野ごとに以下のとおり活動方針を定める。

### (1) 収集・保管

- ・本県の歴史を明らかにするために欠かすことのできない資料の収集・整理に努めると共に、そのデータ化を推し進める。
- ・良好な資料保存環境を維持する。

### (2) 展示

#### ◇ 常設展示

- ・設備・機器・資料の適切な管理に努め、良好な見学環境を維持する。
- ・常設展示の十分な活用を推し進める。

#### ◇ 企画展示

- ・調査研究の反映や収蔵資料の活用によって魅力ある企画展を実施する。
- ・集客を意識し、県民の関心を反映した企画展示に努める。

### (3) 調査・研究

- ・本県の歴史系博物館の拠点として、質の向上を目指す。
- ・館活動の根幹である調査研究の成果の県民への還元に努める。

### (4) 教育・普及

#### ◇ 学校教育

- ・学校教育に一層活用される博物館を目指す。
- ・新潟県民としての自覚と誇りを持つ教育に貢献する。
- ・館内及び館外活動の充実を図る。

#### ◇ 社会教育

- ・県民の知識・教養を高め、県民が豊かな社会生活を営むための機会や情報を提供する。
- ・館内及び館外での活動の充実を図る。

### (5) 連携

#### ◇ 学術面の連携

- ・県内各地の歴史・文化的価値の再発見と活用を支援する。
- ・幅広い団体とのネットワークを強化する。

#### ◇ 地域づくりに向けた連携

- ・歴史を通じた県内各地の地域づくりに貢献する。
- ・近隣の施設や様々な団体との連携を深める。

### (6) 情報発信

- ・当館の活動について、県民認知度を高める。
- ・本県の歴史・文化的魅力を県外・海外にアピールすることで、交流人口の増大への寄与を図る。

### (7) 管理運営

- ・運営方針を館職員で共有し、方針を意識しながら博物館活動を進める。
- ・目標の実現に向けた効率的な運営を行う。
- ・来館者への安全・安心の提供に努めるとともに、来館者などの関心や目線に常に注意を向ける。

## 9 活動方針に基づいた取組の実施・進捗管理

上記の活動方針の達成を目指した博物館活動が確実に行われるよう、取組分野ごとの今後5年間の「主な実現方策」、及び5年後の到達目標となる「評価指標」を定める。(別表)

また、各年度の具体的な取組については、今後の社会情勢の推移、県民や利用者のニーズの変化、現実の館運営体制などに応じたものとする必要があるため、本計画の「活動方針」・「主な実現方策」のもと、各年度において検討する。

こうした博物館活動の取組について、毎年度、館内での自己評価を行うとともに、評価委員会からの評価を受ける。これらを通じてPDCAサイクルによるマネジメントに取り組む。

活動の評価にあたっては、博物館の使命達成の観点から多面的に分析を行う。

## 10 更なる充実に向けての課題

当博物館が更なる充実した活動を行っていくには、上に掲げた活動方針の達成に併せて、次に記載するような課題に取り組んでいく必要がある。これらの課題は、外部要因に大きく依存するものや、博物館単独では解決が困難なものであるが、当館として可能な限りの進展を目指して取り組む。

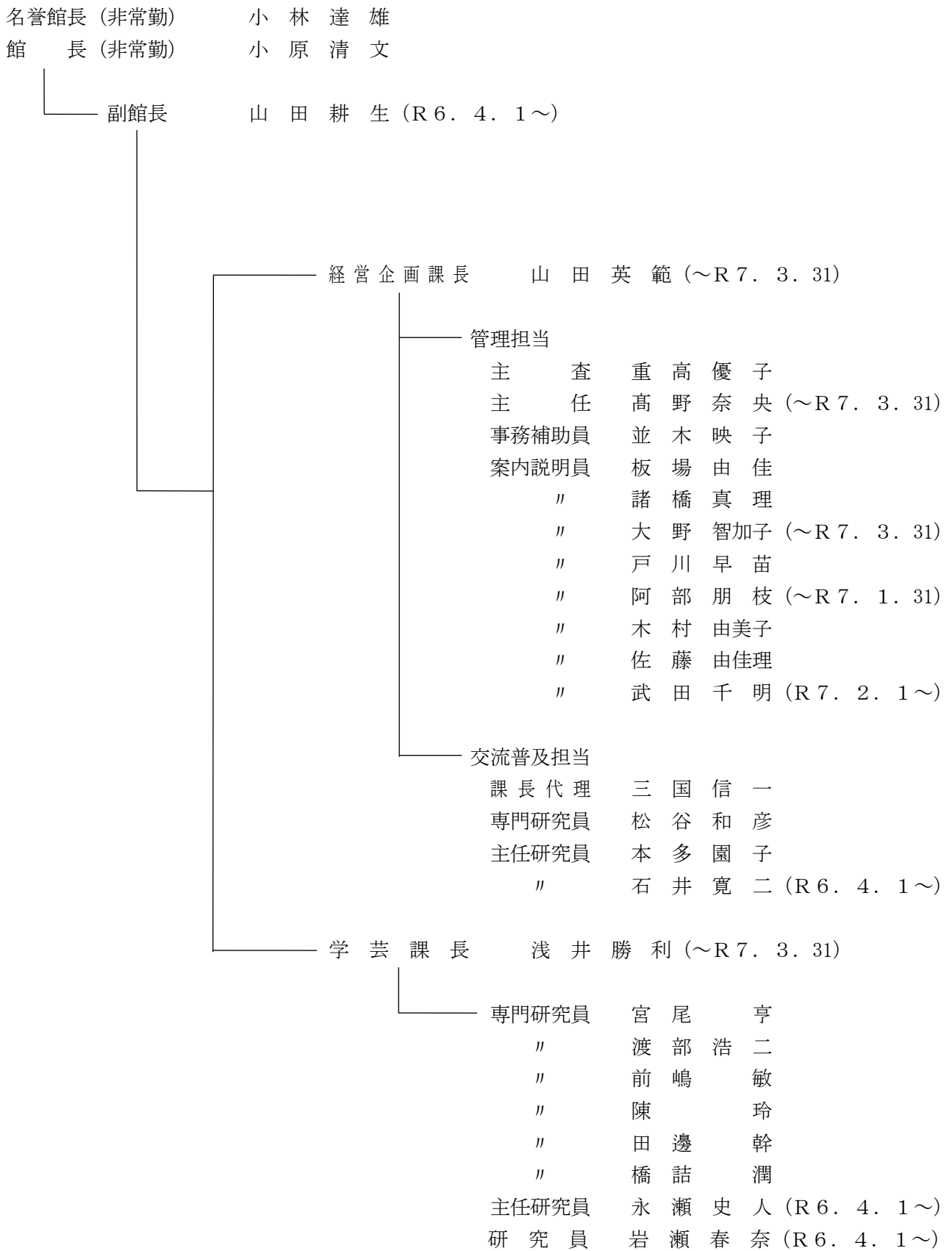
- ・博物館資料のデータベース化の推進
- ・施設・設備の大規模改修等による展示環境・資料収蔵環境の改善
- ・博物館の人事・組織体制の充実
- ・外部団体や支援者との協働推進
- ・来館者のサービス向上につながる取組の継続的な検討、実施
- ・SDGsの理念や背景を理解し、関連性を意識した館運営

新潟県立歴史博物館運営方針(令和5年度～令和9年度) 取組分野ごとの活動方針とその進捗管理

機能	取組分野	活動方針	主な実現方策	評価指標		
				項目	現状値 (R4)	目標値 (R9)
収集・保管	収集・保管	<ul style="list-style-type: none"> <li>本県の歴史を明らかにするために欠かすことのできない資料の収集・整理に努めるとともに、そのデータ化を推し進める。</li> <li>良好な資料保存環境を維持する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料の収集の継続と収集資料の整理を推進する。</li> <li>IPMによる環境管理を継続する。</li> </ul>	収集資料目録の刊行準備	1目録	1目録
				データベース公開数	112	300件以上
展示	常設展示	<ul style="list-style-type: none"> <li>設備・機器・資料の適切な管理に努め、良好な見学環境を維持する。</li> <li>常設展示の十分な活用を推し進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常の適切な維持管理と定期的な資料更新を継続する。</li> <li>より柔軟な展示と活用方法の工夫に努める。</li> </ul>	新規展示試行回数		1件
				ワンポイント解説	676	500人
調査・研究	企画展示	<ul style="list-style-type: none"> <li>調査研究の反映や収集資料の活用によって魅力ある企画展を実施する。</li> <li>集客を意識し、県民の関心を反映した企画展示に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年4回程度の企画展の実施を目標とする。</li> <li>入場者の満足度を高める。</li> </ul>	展示ジャンル数	3	3以上
				満足度	91%	90%以上
調査・研究	調査・研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>本県の歴史系博物館の拠点として、質の向上を目指す。</li> <li>館活動の根幹である調査研究の成果の県民への還元を努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合・個別研究費などを有効に活用した研究活動を推進し、その成果を県民に還元する。</li> <li>講座参加者の満足度を高める。</li> </ul>	外部研究費取得件数	12件(6)	6件
				学会発表等件数	15回	11回以上
教育・普及	学校教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校教育に一層活用される博物館を目指す。</li> <li>新潟県民としての自覚と誇りを持つ教育に貢献する。</li> <li>館内及び館外活動の充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県内小学校利用率</li> </ul>	論文等執筆件数	39件	55件以上
				体験活動の新プログラム導入件数	2件	1件以上
教育・普及	社会教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>県民の知識・教養を高め、県民が豊かな社会生活を営むための機会や情報を提供する。</li> <li>館内及び館外での活動の充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会教育機関との連携に努める。</li> <li>館内講座・出前講座を継続する。</li> <li>ボランティアの受入の推進。</li> </ul>	体験コーナー参加者満足度	100%	90%
				出前講座の参加者満足度	93%	90%
連携	学術面の連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>県内各地の歴史・文化的価値の再発見と活用を支援する。</li> <li>幅広い団体とのネットワークを強化する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新潟県の中核機関として、地域史研究や資料保存活動を推進する。</li> </ul>	館員の講座・講演会の参加者満足度	96%	90%
				ボランティアの活動延人数	258人	300人
情報発信	地域づくりに向けた連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>歴史を通じた県内各地の地域づくり貢献する。</li> <li>近隣の施設や様々な団体との連携を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種団体との事業共催等による連携を模索する。</li> </ul>	地域史研究ネットワーク事業数	2件	2件以上
				地域団体の活動への参画件数	9件	15件
情報発信	情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>当館の活動について、県民認知度を高める。</li> <li>本県の歴史・文化的魅力を県外・海外にアピールすること、交流人口の増大への寄与を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>リピーターや新規来館者の拡大に向けた広報の展開。</li> <li>ITやマスコミを活用した情報発信の充実を図る。</li> <li>県外客誘致のための広報に努める。</li> </ul>	新聞・雑誌・テレビ等に報道掲載された件数	211/110/200件	200/100/150件
				館ホームページへのアクセス件数	118,205件	100,000件
	管理運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>運営方針を館職員で共有し、方針を意識しながら博物館活動を進める。</li> <li>目標の実現に向けた効率的な運営を行う。</li> <li>来館者への安全・安心の提供に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己評価・外部評価の実施。</li> <li>評価結果の的確な反映によるPDCAサイクルの確立。</li> </ul>	全体収支比率	(3.5%)	(5%)
				(評価指標の達成率)	(65%)	(100%)

注1) 評価指標の目標値は、館活動に投入されている現在のリソース(予算・人員等)が、計画期間において維持されることを前提とする。  
 注2) 活動の評価にあたっては、その内容面を含めて、博物館の使命に照らして多面的に分析を行う。

## 4 組織図



## 5 事務分掌（令和6年4月1日現在）

名誉館長	小林 達 雄
館長	小原 清 文
副館長	山田 耕 生

### 経営企画課

	事務分掌	主任	副主任
1	課の総括に関する事	山田経営企画課長	三国課長代理 松谷専門研究員
2	各課との連絡調整に関する事	〃	重高主査 松谷専門研究員
3	人事・サービス・一般研修に関する事	〃	高野主任
4	文書主任に関する事	〃	重高主査
5	公印の管理に関する事	〃	高野主任
6	課内会議に関する事	〃	松谷専門研究員
7	監査に関する事	〃	重高主査
8	情報セキュリティに関する事	〃	高野主任
9	館の防災・安全、避難訓練に関する事	〃	重高主査
10	館運営に対する苦情処理に関する事	〃	高野主任
11	臨時職員の採用に関する事	〃	〃
12	観光関連産業等との連携・広報宣伝・誘客促進等に関する事	〃	三国課長代理 松谷専門研究員
13	外部評価委員器（運営、事務局）に関する事 ○委員長・委員との連絡・調整 ○委員会の進行管理 ○アンケートの実施・集計	〃	浅井学芸課長 三国課長代理 松谷専門研究員 重高主査

### 経営企画課 管理担当

	事務分掌	主任	副主任
14	職員の勤務割作成に関する事	重高主査	山田経営企画課長
15	予算編成に関する事	〃	高野主任
16	予算執行管理（施設・設備の維持管理を除く）に関する事	〃	〃
17	給与・報酬・報償費・旅費に関する事	〃	〃
18	事務用消耗品（切手管理を含む）の調達に関する事	〃	〃
19	科学研究費等外部資金の経理に関する事	〃	〃
20	文書管理に関する事（公文書管理システムを含む）	〃	〃
21	路線バス運行に関する事	〃	〃
22	観覧料等の減免に関する事	高野主任	重高主査
23	現金の出納・保管に関する事	〃	〃
24	案内説明員の研修に関する事	〃	〃
25	財産管理に関する事	〃	山田経営企画課長
26	施設・設備の維持管理に関する事	〃	〃
27	収入（観覧料・図録販売収入・土地建物使用料等）に関する事	〃	重高主査
28	観光券契約・精算徴収に関する事	〃	〃
29	観覧者統計に関する事	〃	〃
30	備品の管理に関する事	〃	〃
31	情報機器に関する事	〃	山田経営企画課長
32	公用車の運行に関する事	〃	重高主査
33	事務用消耗品の在庫管理に関する事	並木職員	重高主査
34	文書の收受、発送に関する事	〃	〃
35	拾得物の管理に関する事	〃	〃
36	救護室、授乳室、ロッカー室の日常点検、整理整頓に関する事	〃	高野主任
37	収入（観覧料収入等）の財務会計入力に関する事	〃	〃
38	その他の事務補助に関する事	〃	〃

	事務分掌	主任	副主任
39	観覧券・図録の販売、集計に関する事	板場案内説明員 諸橋案内説明員 大野案内説明員 戸川案内説明員 阿部案内説明員	高野主任 松谷専門研究員 高野主任 重高主査 渡部専門研究員
40	入館者の受付及び整理に関する事		
41	展示場における展示物等の説明及び監視に関する事		
42	展示物の操作及び体験活動に関する事		
43	案内及び広報に関する事		
44	その他博物館の展示場に関する事		
45	入館者の受付及び整理に関する事	木村案内説明員 佐藤案内説明員	高野主任 松谷専門研究員 重高主査 渡部専門研究員
46	展示場における展示物等の説明及び監視に関する事		
47	展示物の操作及び体験活動に関する事		
48	収蔵資料の分類・整理に関する事		
49	その他の事務補助に関する事		

経営企画課 交流普及担当

	事務分掌	主任	副主任
1	広報の総括に関する事	三国課長代理	松谷専門研究員 本多主任研究員
2	誘客促進の総括に関する事	〃	松谷専門研究員
3	博物館の支持・支援団体の育成に関する事	〃	重高主査
4	常設展示の利用・案内説明員研修に関する事	〃	松谷専門研究員
5	博物館協会（日本博物館協会、県博物館協議会、東北美術館会議等）等との連絡・調整に関する事	〃	石井主任研究員
6	年報発行の計画・調整に関する事	〃	松谷専門研究員
7	他館、社会教育関係機関、団体等との連携・企画及び調整に関する事	〃	本多主任研究員
8	企画展における開場式に関する事	松谷専門研究員	三国課長代理
9	学校教育との連携・企画及び出前授業の計画・調整に関する事	〃	本多主任研究員 石井主任研究員
10	ボランティアの受入れ及び育成に関する事	〃	石井主任研究員 橋詰専門研究員
11	館内ガイド発行の計画・調整に関する事	〃	三国課長代理
12	刊行物の管理に関する事	石井主任研究員	本多主任研究員
13	発送業務（企画展後援依頼を含む。）に関する事	〃	本多主任研究員
14	館内又は館外講座・教室等の企画及び調整に関する事	〃	松谷専門研究員
15	サイノカミ等地区活動に関する事	〃	三国課長代理
16	体験プログラムの運営に関する事	〃	本多主任研究員
17	教育プログラムの企画・開発に関する事	〃	三国課長代理 松谷専門研究員
18	Web情報発信（館ホームページ）に関する事	本多主任研究員 三国課長代理	松谷専門研究員
19	Web情報発信（SNS、メールニュース等）に関する事	本多主任研究員	松谷専門研究員 石井主任研究員
20	企画展関連広報（マスコミ対応）に関する事	本多主任研究員	山田経営企画課長 石井主任研究員
21	広報結果の集約に関する事	〃	松谷専門研究員
22	その他の情報発信（高校等）に関する事	〃	重高主査 三国課長代理 石井主任研究員

# 学 芸 課

	事 務 分 掌	主 任	副 任
1	課の総括に関すること	浅井学芸課長	宮尾専門研究員
2	課の予算編成及び執行管理に関すること	〃	〃
3	館内の各課との連絡調整に関すること	〃	〃
4	課員の勤務割作成に関すること	〃	〃
5	リニューアルに関すること	宮尾専門研究員	前嶋専門研究員 山田経営企画課長 三国課長代理 高野 主任
6	外部評価委員会（評価内容）に関すること ○評価報告書のとりまとめ ○評価項目・指標の設定・見直し	浅井学芸課長	山田経営企画課長 三国課長代理 松谷専門研究員 重高 主査
7	資料収集（購入・寄託・寄贈）に関すること	田邊専門研究員	岩瀬 研究員
8	資料の整理及び保管に関すること	〃	〃
9	資料の貸借に関すること	前嶋専門研究員	〃
10	資料保存環境に関すること	橋詰専門研究員	〃
11	資料管理システムの管理・運用に関すること	宮尾専門研究員	田邊専門研究員 浅井学芸課長
12	写真・フィルム資料の整理及び保管に関すること	陳 専門研究員	永瀬主任研究員
13	加入学会・共同図書購入に関すること	〃	〃
14	図書の整理及び保管に関すること	〃	〃
15	常設展示室に関すること	渡部専門研究員	永瀬主任研究員 宮尾専門研究員
16	常設展示ロビー・講堂研修室・映像情報コーナー・図書閲覧コーナーに関すること	〃	永瀬主任研究員 宮尾専門研究員
17	常設展示室の展示替え計画に関すること	渡部専門研究員	陳 専門研究員
18	常設展示室の活用に関すること	陳 専門研究員	渡部専門研究員
19	個別研究・総合研究の調整に関すること	前嶋専門研究員	橋詰専門研究員
20	研究活動評価に関すること	〃	〃
21	研究紀要の編集・刊行に関すること	宮尾専門研究員	前嶋専門研究員
22	科研費等外部資金による研究事業に関すること	〃	〃
23	新潟県地域史研究ネットワークに関すること	岩瀬 研究員	前嶋専門研究員
24	博物館実習の企画及び調整に関すること	永瀬主任研究員	〃
25	企画展・巡回展の開催計画に関すること	田邊専門研究員	橋詰専門研究員
26	企画展示室の運用と管理に関すること	〃	〃

## 企画展・テーマ展示担当

	事 務 分 掌	主 任	副 任
27	【令和6年度】 （春・企画展）動物たちの浮世絵	田邊専門研究員	宮尾専門研究員 松谷専門研究員
28	（夏・企画展）大・佐渡島	渡部専門研究員	前嶋専門研究員 橋詰専門研究員 三国課長代理 本多主任研究員
29	（秋・テーマ展）珠玉の国新潟—ヒスイ、青玉、赤玉—	橋詰専門研究員	永瀬主任研究員 石井主任研究員
30	（冬・テーマ展）山口賢俊と民具コレクション	宮尾専門研究員	陳 専門研究員 岩瀬 研究員 三国課長代理
31	【令和7年度】 （春・企画展）大飴展	渡部専門研究員	宮尾専門研究員
32	（夏・テーマ展）戦後80年	田邊専門研究員	岩瀬 研究員
33	（秋・企画展・甲信越連携）川中島	前嶋専門研究員	渡部専門研究員
34	（冬・テーマ展）2つの洞窟と縄文のはじまり	橋詰専門研究員	永瀬主任研究員

## 6 予算（令和6年度当初）

### 1 収入の部

（単位：千円）

項 目	金 額	備 考
事業収入	16,310	
歴史博物館維持管理費	180	
建物使用料	21	自動販売機建物使用料
雑入	159	自動販売機光熱水費
歴史博物館事業活動費	16,130	
歴史博物館使用料	14,971	観覧料
物品売払収入	1,159	図録等売払収入

### 2 支出の部

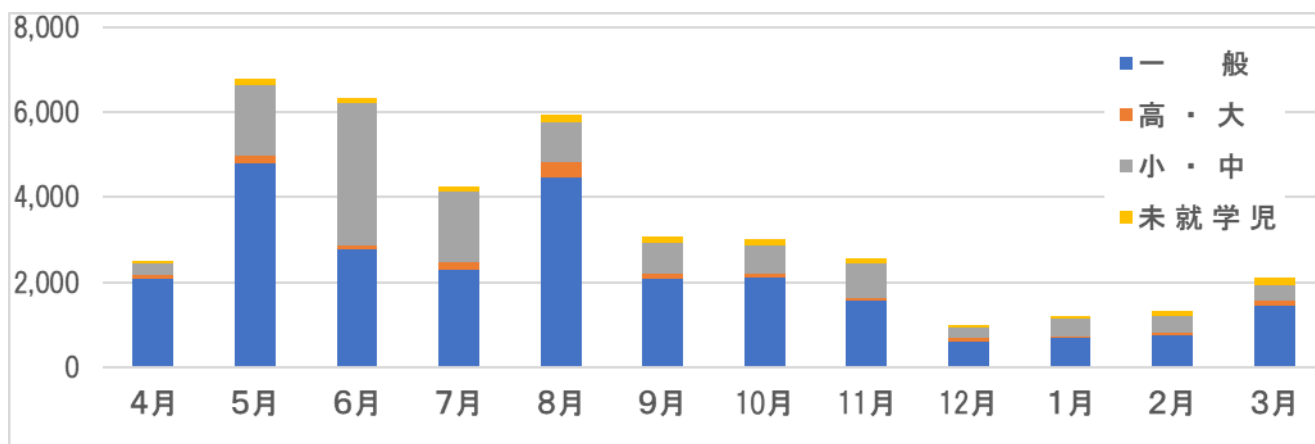
（単位：千円）

項 目（事業名）	金 額	備 考
歴史博物館事業費	175,296	
歴史博物館運営費	141,511	
人件費	25,902	館長・非常勤職員等給与費等
管理運営費	3,841	消耗品費・館リーフレット等印刷費・通信運搬費等
情報システム管理費	776	機器リース・保守料・消耗品費
維持管理費	96,798	施設設備保守管理委託・光熱水費等
資料保存管理費	7,381	資料くん蒸・環境調整
維持補修費	6,813	施設修繕費
歴史博物館事業活動費	31,411	
資料収集・保存事業	55	資料収集諸経費
調査研究事業	4,686	総合・個別調査研究費・基本文献整備費
常設展示事業	9,710	展示物展示替・保守点検費
企画展等展覧会開催費	16,960	企画展開催費（2回）・開催準備費
インバウンド対策充実事業	0	
歴史博物館交流普及事業費	2,374	
諸講座開催費	191	講師（謝金、旅費）・消耗品等
交流普及事業費	2,183	広告費・研究成果普及費等
歴史博物館施設設備整備費	7,230	集合監視盤更新

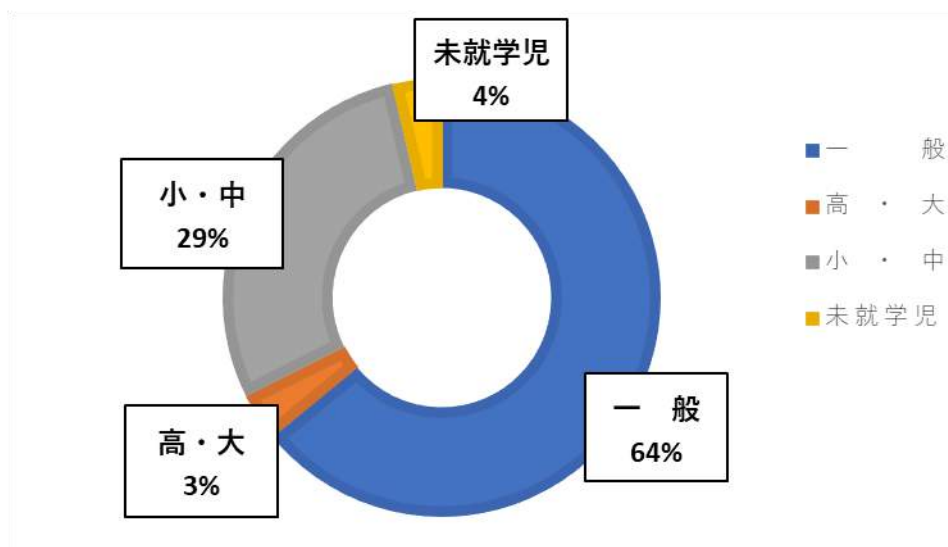
## 7 令和6年度観覧者の状況

### (1) 月別・利用者別観覧者

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
一般	2,080	4,796	2,772	2,283	4,476	2,084	2,103	1,567	611	695	761	1,450	25,678
高・大	91	190	101	175	347	128	81	60	68	30	38	113	1,422
小・中	279	1,638	3,331	1,677	949	713	693	810	261	406	400	365	11,522
未就学児	62	166	141	114	178	155	125	113	53	83	121	166	1,477
合計	2,512	6,790	6,345	4,249	5,950	3,080	3,002	2,550	993	1,214	1,320	2,094	40,099



### (2) 年間利用者別観覧者割合



### (3) 企画展の状況

#### ■春季企画展

「動物たちの浮世絵」 4月20日(土)～6月9日(日) 観覧者数 6,357人 (144人/日)

#### ■夏季企画展

「大・佐渡島」 7月13日(土)～8月25日(日) 観覧者数 7,032人 (180人/日)

#### ■山の洲文化財交流事業

「珠玉の国 新潟 ヒスイ, 青玉, 赤玉,」

9月14日(土)～11月10日(日) 観覧者数 4,183人(83人/日)

#### ■新潟県立歴史博物館友の会展

「新潟県中越大震災20年ーそれでもわが大地を愛し続けるー」

<同時開催>

「kid's 考古学新聞コンクール全国巡回展」「キッズ歴史研究作品展」

12月3日(火)～1月13日(月・祝) 期間中総観覧者数 911人(29人/日)

#### ■冬季テーマ展示

「生活の証拠品が民具であるー山口賢俊がもったコレクションー」

2月8日(土)～3月23日(日) 観覧者数 1,984人(52人/日)

## 8 ボランティア

平成21年4月から募集、活動を開始した。令和6年度の登録数は39人。

【活動実績】(延べ人数)

- ・研修等(80人)
- ・展示替え、ケース移動(11人)
- ・民俗資料整理(101人)
- ・図書資料整理(68人)
- ・案内監視業務(28人)
- ・講座受付(64人)
- ・体験活動補助(81人)
- ・アンケート調査補助(1人)
- ・文書発送作業(25人)
- ・防災訓練参加(4人)

また、8月に中学生ボランティア2人により、常設展・縄文展示の案内解説を実施した。

## 9 情報管理システム

クラウドによる資料管理システムをインターネットを通じて利用し収蔵資料のデータベースを整備している。同システムにはインターネット上に情報を公開する機能が備えられているため、これを利用して収蔵資料検索サービスを館ホームページ及び館内の映像情報コーナー設置端末で提供している。

## 10 ホームページ

館の公式Webサイトについては、従来は館内にWebサーバを設置して公開していたが、外部にレンタルサーバを借り、ドメインについては、既に各所で周知されていることなどを考慮しこれまでと同じものを引き続き使用することとした。平成25年度にホームページをリニューアルしている。

令和6年度のアクセス数の多いコンテンツは、1企画展示、2ご利用案内、3館内のご案内、4常設展示、5歴史博物館とは、などとなっている。

なお、ホームページへの訪問数はグーグルのカウント方法の変更より3割減ほどでカウントされるため数値は減少しているが、昨年度と同等の訪問数があったと推定される。

令和6年度ホームページのアクセス集計

令和6年度	訪問数	ユーザー数	閲覧者 1日平均
2024年4月	7,579	8,198	273
2024年5月	8,448	9,658	312
2024年6月	7,504	8,700	290
2024年7月	9,210	10,460	337
2024年8月	10,446	12,305	397
2024年9月	7,501	8,654	288
2024年10月	6,331	7,600	245
2024年11月	5,162	6,455	215
2024年12月	4,306	5,298	171
2025年1月	6,119	7,823	252
2025年2月	5,397	6,087	217
2025年3月	5,592	6,613	213
計	83,595	97,851	267.7

## 11 メールニュース・SNS

平成12年度より、インターネットのメールシステムを利用して希望者に館の情報などを提供するメールニュースを送付している。現在、メールニュースの登録アドレス数は160件であり、令和6年度中に送信したメール数は19(+1)件であった。(※( )は前年度比、以下同じ)

また平成26年度から公式Facebook、平成27年度から公式Twitterを開設。さらに、平成29年11月の試験運用を経て、平成30年3月からInstagramの本運用を開始した。令和6年度の1ヶ月平均の各投稿数はX(旧Twitter)38件(±0)、Facebook:36件(±0)、Instagram:36件(±0)である。また、令和7年3月末時点での各フォロワー数は、X:14,419(+524)、Facebook:1,939(+15)、Instagram:2,301(+176)である。

令和2年度から広報担当(専任)が削減され、研究員の兼任により運営せざるを得なくなったが、1日平均1回は投稿し、定期的な情報配信に努めている。

## 12 評価委員会

令和6年度内においては、令和5年度の評価報告書作成の作業と提出、令和6年度の中途段階までの評価が実施された。

委員会構成は以下のとおり

(令和5年度評価)

- ・委員長 宍戸邦久氏(新潟大学副学長)
- ・副委員長 山本未知雄氏(南魚沼市立中之島小学校 校長)
- ・委員 内藤一恵氏(内藤一恵建築設計事務所)
- ・委員 小林啓之氏(新潟日報 長岡支社長)
- ・委員 金山宏行氏((一社)長岡観光コンベンション協会 会長)
- ・委員 湯浅健次郎氏(新潟市會津八一記念館 学芸員)

(令和6年度評価)

同 上

※委員の交替、体制の変更はありませんでした。

開催した評価委員会、検討会は以下のとおりである。

6月10日(月) 令和5年度第2回評価委員会

内容：令和5年度評価について

7月19日(金) 令和5年度第2回検討会

内容：令和5年度評価報告書について

12月19日(木) 令和6年度第1回評価委員会

内容：令和6年度評価委員会スケジュールについて、

令和6年度事業中間報告について

2月27日(木) 令和6年度第1回検討会

内容：令和6年度自己評価(中間)について

なお、8月29日(木)、県庁において、宍戸邦久委員長より観光文化スポーツ部長、文化課長および歴史博物館長に「令和5年度における館の自己点検に対する二次点検評価報告書」が提出された。

## II 事業概要

### 1 学芸事業概要

#### (1) 常設展示

##### ア 事業主旨

新潟県の歴史及び民俗並びに縄文文化に関する県民の教養を高め、県民の文化的・学術的活動を支援するため、これらについての展示を行う施設を公開して維持・管理すると共に、新たな知識の増進と資料の保護を目的として、展示更新・展示替えを随時行う。常設展示を維持・管理すると共に、資料の保護を主目的として、資料展示替えを行う。

##### イ 展示構成

常設展示は、歴史展示と縄文展示から構成されている。前者には「新潟県のあゆみ」「雪と暮らし」「米づくり」、後者には「縄文人の世界」「縄文文化を探る」の各展示室がある。

#### ① 新潟県のあゆみ

古い時代から新しい時代へと時間に沿って、より良い未来をめざして努力した、新潟県の先人たちの姿を紹介する。以下の8つの項目で展示を展開している。

新潟のあけぼの	移動生活から定住へ
	米作りのはじまりと権力者の登場
古代の新潟	文字によるまつりごと
古代・中世の文化ステージ	(原則半年1回展示替)
中世の新潟	中世の新潟
	地頭と荘園
	戦国大名上杉謙信
近世の新潟	近世の越後と佐渡
近世・近現代の産物	交流する産物
	越後・佐渡産物くらべ
	現代に生きる越後・佐渡の産物
近世・近現代の人物	良寛と牧之
	新潟県が生んだ人々
近現代の新潟	近代の新潟
	新潟県的女性
	交通網の整備と大河津分水工事
	花開く文化
	戦争と県民
	地主王国新潟県
	新潟、今・未来

#### ② 雪と暮らし

「自然との共生と克服」を視点に、雪による多大な影響を受けつつも、除雪方法・衣食住に独特の工夫をし、よりよい暮らしを確保しようと努力を続けた先人たちの姿を紹介する。1階部では、昭和30年代初頭の冬の高田（現上越市）の雁木通りと、荒物・雑貨屋と一文店、下駄屋の3軒の商店を復元している。2階部では、雪国の工夫を凝らした民具などを中心に、暮らしの様子を紹介している。

プロローグ	雪国へのいざない
雪国の町 高田の雁木通り	荒物・雑貨屋
	一文店
	下駄屋
雪国のくらし	町のくらし
	雪と民具
	雪国 点描
豪雪の姿	豪雪の町・村
	36・38 豪雪記録
雪国は今	冬の交通革新
	雪は邪魔？
エピローグ	昔の雪国と現代の雪国

### ③ 米づくり

「雪とくらし」展示室と同様に、「自然との共生と克服」を視点に、本来米作りに適さなかった自然条件を克服し、また1年を通して自然との共生を図りながら全国有数の米どころを実現させた人々の努力の様子を紹介している。

プロローグ	越後平野とはさ木
土づくりの努力	西蒲原三潟水抜き
	江戸時代の新田開発
	美田の誕生
協力と工夫の米づくり	米づくりの1年と祈り
	描かれた米づくり
	品種の改良
	米づくりとその周辺
	米づくりの道具
エピローグ	世界の食事風景

### ④ 縄文展示

世界的にも稀な、豊かな食料採集経済を営んでいた縄文人の暮らしについて、全国的・世界的な視野から紹介する。2つの展示室から構成される。「縄文人の世界」では、縄文人が四季の移り変わりに対応して、さまざまな技術を開発しながら暮らしていた様子を、実物大で復元、再現している。「縄文文化を探る」では、最新の考古学研究成果に基づき、実物資料などを用いながら縄文人の実像、その暮らしを紹介する。

プロローグ	縄文土器の文様世界
縄文人の世界	聖なる空間：竪穴住居
	冬の狩り
	春の採集
	夏の海
	秋の広場
縄文文化を探る	研究室へようこそ
	人とももの交流
	縄文工芸
	縄文人の住宅事情
	縄文人の食生活

	縄文の祈り
	火焰土器の世界
	縄文時代の人々
	縄文人の一生
	新潟県の遺跡
エピソード	自然との共生

#### ウ 音声解説器・ろう者用ガイド冊子

常設展示の観覧に供する音声解説器を用意し、無料で貸し出している。開館当初の総数 300 台。日本語・英語・ロシア語・中国語・韓国語の 5 カ国語があり、日本語は全台数で対応、英語・ロシア語は 180 台（A タイプ）、中国語・韓国語は 120 台（B タイプ）が対応。

令和 6 年度の音声解説器貸出件数は、5,314 件（個人利用 4,590 件、団体利用 724 件）、観覧者数 40,099 人中約 13.3%の利用率であった。

また、音声解説器の利用が困難な、ろう者を主な対象とする冊子『《音声解説器・映像の音声などを文字で読む》新潟県立歴史博物館常設展示 展示解説』を平成 25 年度末に作成（150 冊）。無料で貸し出している。令和 6 年度の貸出は 2 件であった。

#### エ 常設展解説アプリ「新潟レキハク」

来館者個人のスマートフォン（Android、iOS）で常設展示解説が可能になるアプリ、「新潟レキハク」を整備し令和 2 年 4 月から運用を開始した。

貸し出しを行っている音声解説器と内容は同じで、来館者の位置に応じて、音声に加え、テキストと写真が画面に表示される。

また、従来の日本語、中国語、韓国語、英語、ロシア語に加えて、スペイン語の解説を追加した。

#### オ 常設展示の保守点検・補修

新潟県の歴史及び民俗並びに縄文文化に関する県民の教養を高め、県民の文化的・学術的活動を支援するに足る正確性や美観等を維持し、来館者の安全を確保するため、常設展示室（常設展示ロビー、講堂、映像情報コーナーを含む）の保守点検・軽微補修、音声解説器や照明機器の補修・補充等を行っている。

常設展示室は、来館者が展示物と至近で接触できるように設計され、展示内容を体感できることを特色としている。そのため、露出展示や通路を兼ねた実物大環境復元展示などが多数あり、消耗と破損が不可避となっている。

令和 6 年度は、7 月、2 月に総合的な点検を行い、露出展示や通路を兼ねた実物大環境復元展示などの清掃及び軽微補修を実施し、展示効果の維持と安全の確保を達成した。照明器具については、月 2 回、定期的に点検し、機器の故障や消耗に対応した。

また、縄文展示「縄文人の世界」入口のレリーフ部分の一部剥離が平成 29 年度に確認されたため、打音検査を引き続き行うとともに、接着補修を行った。

なお、音声解説器の交換部品が入手困難となり、今後故障機器の修繕は不可能になった。現在使用可能台数は A タイプ 134 台、B タイプ 96 台である。今後も使用台数が減少する可能性がある。

#### カ 資料展示替え

博物館の基本的機能である資料保存の観点から、年 2 回（上半期：4～9 月・下半期：10～3 月）の定期的な資料展示替えを行っている。特に展示環境の影響で劣化の進む可能性のある文書や絵画などの資料を中心に、常設展示の構成を変更しない範囲で資料展示替えを行っている。なお、文書や絵画などの資料展示では、照度環境 150lx 以下に設定し、適正な温湿度にケース内が保たれるように調整している。

令和 6 年度は、以下のコーナーで展示替えを行った。

① 新潟県のあゆみ

a 「古代の新潟」

「文字によるまつりごと」を、上半期は下ノ西遺跡（長岡市）出土木簡（複製）などで、下半期は蔵ノ坪遺跡（胎内市）出土木簡や墨書土器（いずれも複製）などで構成した。

b 「古代・中世の文化・交流」

「柿崎古墓」（剥取／上越市教育委員会寄託）の他に、上半期には木崎山遺跡（上越市）出土地鎮具など（いずれも複製）で構成した。

c 「中世の新潟」

「戦国大名上杉謙信」を、紀州本川中島合戦図屏風（複製）と上杉謙信画像（複製）などで構成し、上半期・下半期とも入れ替えた。また、上半期には春日山古城図（実物）、下半期には新たに県指定文化財となった二田物部神社（柏崎市）の経櫃などを展示した。

d 「近世・近現代の人物・産物」

産物の展示では、佐渡金銀山絵巻（実物）の場面変更や村上木彫堆朱（実物）の入れ替えを行った。また、人物の展示では「良寛・牧之」に関して、解説グラフィックを含む展示資料を上半期と下半期に変更した。「海外を見る眼」では、上半期・下半期で北夷談（複製）や新訂坤輿略全図（実物）などの資料を入れ替えた。

e 「近現代の新潟」

北越戊辰戦争関連資料（複製）、銀行券（複製）、小作争議と農民運動関連資料（複製）、満州関連資料（実物）などを上半期・下半期とも入れ替えた。

② 雪とくらし

展示資料の入れ替えは実施しなかった。

③ 米づくり

「描かれた米づくり」では、上半期は新たに県指定文化財となった山崎光子民俗服飾コレクションの仕事着（実物）を展示した。下半期には山崎光子民俗服飾コレクションの仕事着のアンギン（実物）を展示した。「米づくりとその周辺」では、下半期に越後平野の低湿地で利用された三本鋤や草刈り鎌などの資料（いずれも実物）を展示した。

④ 縄文文化を探る

「新潟県の遺跡」では、令和4年度に実施したヒスイ「県の石」指定記念ミニ展示の一部を継続し、ヒスイの展示を行った（いずれも実物）。

⑤ 常設展示替における資料の交換点数

令和6年度年間交換資料点数	76点
うち、新規展示資料点数	1点

キ 常設展示ロビー

常設展示室の中央に位置し、ここを基点にして「新潟県のあゆみ」「雪とくらし」「米づくり」「縄文人の世界」の4つの展示室に入ることができる。なお、平成17年度より青田遺跡出土の丸木舟（実物）を展示している。

また、上部には大型の特殊照明（ロビー映像）があり、4面の大スクリーンで縄文時代をイメージした映像ソフト等を上映している。ただし、令和2年度以降、機器の故障のため上映中止となった。

ク 映像情報コーナー

映像ライブラリー、デジタル博物館、情報検索サービスから構成される。ただし、令和4年度においては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、9月8日まで使用を中止していたが、それ以降は利用を再開した。

① 映像ライブラリー

2台あったDVDが、平成28年度より機器の故障により1台となった。令和元年度に新機器にした。以下の映像情報を選んで見ることができる。

- a ふるさとの芸能
- b ふるさとの行事
- c ふるさとの昔話
- d 伝統の技
- e 縄文文化
- f 中越・中越沖地震
- g 展覧会

② デジタル博物館

5台のパソコンで縄文・雪・米に関わるソフトを見ることができる。

- a 発見！縄文ワールド
- b 雪国くらし体験
- c なんでも米蔵

③ 情報検索サービス

平成28年度より、新規の館収蔵資料検索用パソコン1台を導入した。

ケ 講堂映像

以下の3本の映像を講堂で上映している。令和3年度以降通年利用可としているが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、換気時間確保のため利用があった後1時間の利用中止時間を設けて運用した。

① 「新潟県の歴史」

原始から現代にいたる新潟県のあゆみを、CGを交えた映像で紹介。 (上映時間約25分)

② 「ジオラマ縄文人の世界ができるまで」

新潟県立歴史博物館の縄文時代に関わる展示製作がどのように進められたのかをドキュメンタリー風に紹介。 (上映時間約22分)

③ 「奥三面 縄文の暮らし」

新潟県立歴史博物館縄文展示の製作に多くの指針を与えてくれた奥三面遺跡群。遺跡の様子とともに、奥三面に生きる人々の姿、豊かな自然を紹介。 (上映時間約23分)

上記3本の映像は定期上映を行っていたが、平成20年度より申し込み制に変更し、令和6年度は①「新潟県の歴史」104人、②「ジオラマ縄文人の世界ができるまで」36人、③「奥三面 縄文の暮らし」33人、延べ173人の観覧があった。

コ 常設展ワンポイント解説

常設展示室という「場」を活用し、その展示資料をきっかけに、研究員の調査研究活動による専門的知識・最新の情報をわかりやすく公開しながら、来館者との交流や新たな発見を引き出すとともに、来館者のニーズを把握して今後の展示運営に生かすために実施している(毎週土・日曜日の午後1時から)。平成28年度からは、中学生ボランティア活動及びサイノカミ活動重視の博物館としての姿勢を示すため、それぞれの活動日の解説は休止することとした。

令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から実施時間を15分以内に制限し、参加者の連絡先の提出を原則としていたが、令和4年9月中旬から連絡先の提出を中止した。また令和5年5月から実施時間を従来の15分～30分程度に戻した。5月14日は、講演会開催のため休止とした。

以上のもと、令和6年度は96回実施した。参加者数は805人(平均8.4人)。

【ゲスト解説】

平成27年度より、常設展示ワンポイント解説において、他館からの学芸員など専門家によるゲスト解説を導入した。これは、利用者の興味をさらに惹く方策としての性格を与えるとともに、他館の学芸員などによる解説で、より多くの専門的知識が公開され利用者の便に資するものである。令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から休止していたが、令和5年度から再開した(詳細は以下の一覧参照)。令和6年度は、9月29日(土)に、田中真理氏(見附市まちづくり課)から「国史跡耳取遺跡の見どころ」と題して解説いただいた。

実施日	担当	場所		タイトル	人数
4月6日(土)	宮尾	縄文人の世界	入口	縄文時代・縄文文化	6
4月7日(日)	前嶋	新潟県のあゆみ	中世の新潟	春日山古城図	1
4月13日(土)	陳	米づくり	協力と工夫の米づくり	新潟の衣生活資料が県指定となりました!	6
4月14日(日)	宮尾	縄文文化を探る	出口	縄文人	8
4月20日(土)	田邊	新潟県のあゆみ	近代・現代の新潟	高田城下絵図を読む	4
4月21日(日)	橋詰	縄文文化を探る	出口	縄文時代のヒスイ製アクセサリ	6
4月27日(土)	浅井	新潟県のあゆみ	古代の新潟	平安時代の地方の暮らし	8
4月28日(日)	渡部	新潟県のあゆみ	近世・近現代の産物	佐渡金銀山絵巻	15
5月4日(土)	宮尾	縄文文化を探る	出口	縄文文化の特色	18
5月5日(日)	渡部	新潟県のあゆみ	近世・近現代の産物	佐渡島の金山	20
5月11日(土)	橋詰	縄文文化を探る	入口	「春の採集」の環境復元を読み解く	14
5月12日(日)	橋詰	縄文文化を探る	入口	「春の採集」の登場人物を読み解く	20
5月18日(土)	田邊	新潟県のあゆみ	近代・現代の新潟	北征將軍仁和寺宮御凱陣越後御通過図	17
5月19日(日)	浅井	新潟県のあゆみ	近世・近現代の産物	日本における金の産出	2
5月25日(土)	陳	縄文文化を探る	出口	アンギンという布	9
5月26日(日)	前嶋	新潟県のあゆみ	中世の新潟	名高百勇伝	3
6月1日(土)	宮尾	縄文文化を探る	出口	縄文人の数	6
6月2日(日)	橋詰	新潟県のあゆみ	入口	ゾウと日本列島の人びと	16
6月8日(土)	田邊	新潟県のあゆみ	近代・現代の新潟	長岡の石油産業と女株券師	8
6月9日(日)	岩瀬	雪と暮らし	雪中の暮らしと民具	民俗資料と民俗学	10
6月15日(土)	前嶋	新潟県のあゆみ	中世の新潟	木崎山遺跡出土地鎮具	3
6月16日(日)	永瀬	縄文人の世界	出口	縄文集落はなぜ円いのか?	7
6月22日(土)	陳	縄文文化を探る	出口	アンギンという布②	9
6月23日(日)	岩瀬	米づくり	協力と工夫の米づくり	稲作と予祝	9
6月29日(土)	浅井	縄文人の世界	入口	カモシカの角	4
6月30日(日)	永瀬	縄文文化を探る	入口	縄文の漆工技術	6
7月6日(土)	永瀬	縄文文化を探る	出口	縄文時代の再葬墓	9
7月7日(日)	宮尾	縄文文化を探る	出口	縄文人の左右	3
7月13日(土)	田邊	米づくり	土づくりの努力	三瀨水抜工事地主起請文	10
7月14日(日)	橋詰	縄文文化を探る	出口	縄文の展示で見る世界遺産	10
7月20日(土)	中学生ボランティア				
7月21日(日)	中学生ボランティア				
7月27日(土)	中学生ボランティア				
7月28日(日)	中学生ボランティア				

8月3日(土)	中学生ボランティア				
8月4日(日)	前嶋	新潟県のあゆみ	中世の新潟	謙信・信玄の一騎打ち	15
8月10日(土)	田邊	新潟県のあゆみ	近代・現代の新潟	四斤山砲	9
8月11日(日)	橋詰	縄文文化を探る	出口	国宝になった縄文時代遺物	10
8月17日(土)	岩瀬	米づくり	協力と工夫の米づくり	お盆と精霊	8
8月18日(日)	渡部	新潟県のあゆみ	近世の新潟	佐渡国絵図	20
8月24日(土)	陳	縄文文化を探る	出口	アンギンという布③	10
8月25日(日)	浅井	新潟県のあゆみ	古代の新潟	七重の塔について	5
8月31日(土)	宮尾	縄文文化を探る	出口	縄文人の上下	8
9月1日(日)	渡部	新潟県のあゆみ	近世・近現代の産物	越後・佐渡の塩づくり	4
9月7日(土)	田邊	新潟県のあゆみ	中世の新潟	予言する妖怪	7
9月8日(日)	前嶋	新潟県のあゆみ	中世の新潟	鎌倉時代の越後を描いた絵図	5
9月14日(土)	橋詰		企画展示室入口	ヒスイ、青玉、赤玉、	16
9月15日(日)	渡部	新潟県のあゆみ	近世・近現代の産物	佐渡奉行所	20
9月21日(土)	宮尾		企画展示室入口	珠玉のチカラ	13
9月22日(日)	岩瀬	米づくり	協力と工夫の米づくり	稲作の道具	11
9月28日(土)	陳	米づくり	協力と工夫の米づくり	民俗資料の危機について	8
9月29日(日)	田中真理氏【ゲスト解説】		企画展示室入口	国史跡耳取遺跡のみどころ	16
10月5日(土)	永瀬		企画展示室入口	珠玉の加工	5
10月6日(日)	岩瀬	雪とくらし	雪国の町	方言と民俗学	7
10月12日(土)	浅井	新潟県のあゆみ	近世・近現代の産物	古代の人形遣いについて	5
10月13日(日)	橋詰		企画展示室入口	珠玉の誕生と人とのかわり	15
10月19日(土)	田邊	新潟県のあゆみ	入口	中越地震から20年	3
10月20日(日)	宮尾		企画展示室入口	珠玉のココロ	24
10月26日(土)	陳	米づくり	協力と工夫の米づくり	仕事着のアンギン	3
10月27日(日)	前嶋	新潟県のあゆみ	中世の新潟	経櫃	3
11月2日(土)	永瀬		企画展示室入口	珠玉のアクセサリ	13
11月3日(日)	橋詰		企画展示室入口	珠玉の加工	13
11月9日(土)	岩瀬	雪とくらし	雪国の町	下駄屋の道具	10
11月10日(日)	永瀬		企画展示室入口	珠玉の流通	10
11月16日(土)	宮尾	縄文文化を探る	出口	新潟県の石ヒスイ	3
11月17日(日)	渡部	米づくり	土づくりの努力	越後を旅した十返舎一九	3
11月23日(土)	陳	米づくり	協力と工夫の米づくり	描かれたアンギン	6
11月24日(日)	浅井	縄文文化を探る	縄文人の食生活	呪具としての弓について	3
11月30日(土)	田邊	新潟県のあゆみ	近代・現代の新潟	長岡城攻防絵図	6
12月1日(日)	渡部	新潟県のあゆみ	近世・近現代の産物	佐渡小判	12
12月7日(土)	前嶋	新潟県のあゆみ	中世の新潟	紀州本川中島合戦図屏風	7
12月8日(日)	宮尾	縄文文化を探る	出口	縄文人の年観念	14
12月14日(土)	田邊	雪とくらし	雪国のくらし	雪の絵葉書	2
12月15日(日)	浅井	新潟県のあゆみ	古代の新潟	官人のかぶりもの	5
12月21日(土)	岩瀬	雪とくらし	雪国のくらし	雪国の正月	3
12月22日(日)	橋詰	縄文文化を探る	出口	鍬(やじり)と縄文人	7
1月4日(土)	前嶋	新潟県のあゆみ	中世の新潟	黒川氏の系譜	4

1月5日(日)	浅井	米づくり	協力と工夫の米づくり	小正月?	4
1月11日(土)	渡部	雪とくらし	入口	高田の雁木通り	6
1月12日(日)	サイノカミ				
1月18日(土)	田邊	新潟県のあゆみ	近世・近現代の産物	御金荷の行列と江戸時代の交通	5
1月19日(日)	宮尾	縄文文化を探る	出口	縄文カレンダー	11
1月25日(土)	陳	雪とくらし	雪国のくらし	雪之図	3
1月26日(日)	永瀬	縄文文化を探る	出口	骨考古学の最前線	9
2月1日(土)	岩瀬	米づくり	協力と工夫の米づくり	日用品と生活資料	4
2月2日(日)	橋詰	縄文人の世界	入口	考古資料に見られるヘビ	14
2月8日(土)	陳	雪とくらし	雪国のくらし	雪之図を読み解く②	5
2月9日(日)	永瀬	縄文文化を探る	出口	3D 考古学の世界	5
2月15日(土)	浅井	新潟県のあゆみ	古代の新潟	日本における漢字利用の始まり	4
2月16日(日)	前嶋	新潟県のあゆみ	中世の新潟	室町時代初頭の三浦和田氏	3
2月22日(土)	渡部	新潟県のあゆみ	近世・近現代の産物	江戸時代の佐渡金銀山と海外交流	5
2月23日(日)	田邊	新潟県のあゆみ	近代・現代の新潟	川汽船	3
3月1日(土)	浅井		企画展示室入口	『高志路』の古図論争	6
3月2日(日)	渡部	新潟県のあゆみ	近世・近現代の人物	良寛とお菓子	6
3月8日(土)	岩瀬		企画展示室入口	「おめでたい」かたち	13
3月9日(日)	宮尾		企画展示室入口	『高志路』の中の馬高遺跡	9
3月15日(土)	前嶋	新潟県のあゆみ	中世の新潟	上杉景勝と武田勝頼	6
3月16日(日)	三国		企画展示室入口	山口賢俊と民具コレクション	12
3月22日(土)	田邊	新潟県のあゆみ	近世の新潟	高田城下絵図と桜	6
3月23日(日)	永瀬	縄文文化を探る	出口	縄文時代の髪飾り	11
3月29日(土)	陳	米づくり	協力と工夫の米づくり	山口賢俊が撮影した写真	9
3月30日(日)	橋詰	縄文文化を探る	出口	人と天然ガラスとのかかわり	8

## (2) 企画展示

### ア 事業趣旨

新潟県の歴史及び民俗並びに縄文文化に関する県民の教養を高め、県民の文化的・学術的活動を支援するために、研究員による調査研究活動に基づく成果等をあらわす企画展を開催している。また、リピーターを含め多数の人々に来館してもらうため、魅力ある展覧会等を積極的、継続的に開催している。

### イ 主催事業

主催事業には、当館の企画による自主企画、他機関と共同で企画し主催する共同企画、及び他機関が企画する巡回企画がある。令和6年度は以下のとおり行った。

#### ① 春季企画展 「動物たちの浮世絵」巡回企画

会 期：令和6年4月20日(土)～6月9日(日) 44日間

主 催：新潟県立歴史博物館、新潟日報社、NST新潟総合テレビ

企画制作：イー・エム・アイ・ネットワーク

監 修：中右瑛

観覧者数：6,357人

内 容：江戸時代の庶民に親しまれた浮世絵には、しばしば動物たちが登場する。江戸の三大ペット、猫、犬、金魚をはじめ、人と共にはたらく馬、猿、舶来の象、孔雀、オウム、そして空想上の珍獣や化け物などである。歌麿、広重、国芳、国貞ら人気絵師たちによって描かれた動物たちの姿を紹介するとともに、江戸時代の動物と人との関わりを紹介した。

関連事業：関連講座 「浮世絵の楽しみ方」

講師：田邊 幹（当館専門研究員）

日時：5月11日(土) 13:30～15:00

会場：講堂

参加者数：71人

「ゾウの来た・ゾウのいた日本列島」

講師：橋詰 潤（当館専門研究員）

日時：5月18日(土)

会場：研修室

参加者数：28人



② 夏季企画展 「大・佐渡島」展

会 期：令和6年7月13日(土)～8月25日(日) 39日間

主 催：新潟県立歴史博物館、新潟日報社、NST新潟総合テレビ

特別協力：相川郷土博物館、佐渡国小木民俗博物館、佐渡博物館、新穂歴史民俗博物館、両津郷土博物館

観覧者数：7,032人

内 容：佐渡は離島として、かつては一島一国で独特の歴史を紡いできた。同じ新潟県といっても、本土とは異なる独特な文化を持っている。また佐渡は、金の島として知られ、「佐渡島の金山」の世界文化遺産の登録が待ち望まれている。しかしながら、佐渡に直接赴くには渡海というハードルがあり、県民でもなかなか足を運ぶ機会がないともいえる。本展は、このような佐渡の歴史や人々の暮らしについて、考古学、歴史学、民俗学など多様な視点から紹介した。

関連事業：講演会 「佐渡島の金山」

講師：澤田 敦氏（新潟県観光文化スポーツ部文化課世界遺産登録推進室長）

日時：8月18日(土) 13:30～15:00

会場：講堂

参加者数：61人

講 座「佐渡に流された人々」

講師：浅井 勝利（当館学芸課長）

日時：8月10日(土) 13:30～15:00

会場：講堂

参加者数：88人



ウ テーマ展示

令和元年度より、「拡大常設展」という位置づけによって企画展示室を活用した展覧会活動を行っている。令和6年度は以下の2件を実施。

① 山の洲(くに)文化財交流展「珠玉の国 新潟 ヒスイ、青玉、赤玉、」展

会 期：令和6年9月14日(土)～11月10日(日) 50日間

主 催：静岡県、山梨県、長野県、新潟県

共 催：信濃川火焰街道連携協議会

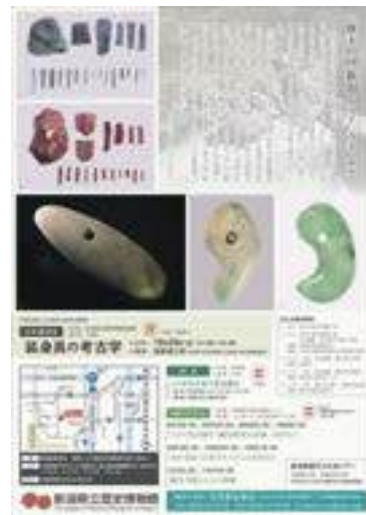
期間中常設展示総観覧者数：4,183人

内 容：新潟県には、縄文時代～古墳時代に広域で珍重されたアクセサリ素材であるヒスイが糸魚川

に、碧玉が佐渡の産地に存在する。令和4年に新潟県の石に指定されたヒスイに碧玉も加え、遺跡出土品を通じて紹介し、新潟の産品のルーツと広がりを知ってもらう試みとする。さらに、山の洲文化財交流事業として、静岡県、山梨県、長野県の装飾品についても紹介し、装飾品を通じた先史時代の交流について考える機会を提供した。

関連事業：シンポジウム「珠玉の国 新潟 ヒスイ、青玉、赤玉」  
基調講演「ヒスイから見た縄文世界と地域交流」  
栗島 義明氏（明治大学黒耀石研究センター）、  
静岡県、山梨県、長野県、新潟県による報告  
各県埋蔵文化財担当者  
日時：9月16日（月・祝）13:00～16:50  
会場：新潟日報メディアシップ2F 日報ホール  
参加者数：178名

記念講演会「縄文社会における装身具」  
講師：高橋 龍三郎氏（早稲田大学名誉教授・山梨県立考古博物館長）  
日時：10月20日（日）13:30～15:00  
会場：講堂  
参加者数：70名



② 冬季テーマ展示『生活の証拠品が民具である—山口賢俊がまとめたコレクション—』

会 期：令和7年2月8日(土)～3月23日(日) 38日間  
会 場：新潟県立歴史博物館 企画展示室  
主 催：新潟県立歴史博物館  
協 力：新潟市北区郷土博物館、新潟県民俗学会、新潟県民具学会  
期間中常設展示総観覧者数：1,984人

内 容：昭和30年～50年代に新潟県民俗学会の会員が収集した民具は、新潟県の民俗を知るうえで欠かせないコレクションを形成し、後に新潟県へ寄贈され、当館が所蔵する「新潟県民俗学会旧蔵民具コレクション」となった。『高志路』（現県民俗学会会誌）創刊90年の節目に、コレクション形成に深く関わった二代会長の山口賢俊の調査ノート・スケッチとともに、民具コレクションを紹介し、それらが博物館に収蔵される意義を改めて紹介した。

関連事業：関連講座「山口賢俊と民具コレクション」  
講師：三国 信一（当館経営企画課長代理）

エッセイの解説：外川 悦子氏(山口賢俊の長女)

エッセイ朗読：加藤 博久氏(朗読家)

日時：3月8日(土) 13:30～15:00

会場：講堂

参加者数：74名



## エ 移動展覧会

移動展覧会は、館外にて当館の館蔵資料等を公開すべく開催先等とともに企画するもの。令和6年度は以下の展覧会を行った。

### ①アカデミック・インターンシップ研修成果展示「江戸後期の疫病と『光り物』」

会場・会期：新潟県立高田北城高等学校 11月6日(水)～11月20日(水)

新潟県立国際情報高等学校 11月21日(木)～12月4日(水)

主催：新潟県立歴史博物館

内容：新潟県教育委員会の主催事業「高校生アカデミック・インターンシップ研修」として3人の高校生が参加。当館所蔵の江戸時代後期の刷り物「光り物」を題材に、資料の読み取りや解説文の作成、展示作業までを行った成果を、研修生の通学校でも公開した。



各学校での展示の様子

## オ 共催事業

他機関が主催する展覧会に当館が共催するものである。令和6年度は以下のとおり行った。

### ① 新潟県立歴史博物館 友の会展「新潟県中越大震災 20年—それでもわが大地を愛し続ける—」

会 期：12月3日（火）～1月13日（月・祝） 31日間

会 場：新潟県立歴史博物館 企画展示室

主 催：新潟県立歴史博物館友の会

観覧者数：911人

内 容：2005年の新潟県中越大震災復興支援展覧会「震度7 それでもわが大地を愛す」の際に諏訪市より新潟県に寄贈された画家・原田泰治の作品の高精細複製画（ピエゾグラフ）14点は、その後もさまざまな機会に活用されてきた。震災20年の節目に、これらの高精細複製画や、山古志を撮影し続けてきた写真家・片桐恒平さんの作品を改めて紹介した。



### ② kid's 考古学新聞コンクール全国巡回展

会 期：12月3日（火）～1月13日（月・祝） 31日間

会 場：新潟県立歴史博物館 企画展示室

主 催：kid's 考古学研究所

共 催：NPO 法人むきばんだ応援団

観覧者数：911人

内 容：WEBサイト【全国子ども考古学教室】の実施する「kid's考古学新聞コンクール」の入賞作品を展覧。

### (3) 収集保管事業

#### ア 寄贈資料

寄贈者	件数	分野	資料名	点数
伊藤正	1	歴史	銀線ガラス (旧村松小学校)	6
宮川政和	1	民俗	田植定規	1
勝沼守	1	民俗	勝沼家資料 一式	1
岩野笙子	1	民俗	しんげん袋	2
			見本帳	1
八百枝正樹	1	歴史	故八百枝康三氏撮影ガラス乾板	293
阿部孝一	1	歴史	長巻	1
目黒傳	1	歴史	旭日旗(海軍中将山本五十六署名入り 金津村在郷軍人会海軍部の旗)	1
高橋春栄・小林弘	1	考古	関川村表面採集資料 一式	1
柳田ひさ	1	歴史	故貝瀬正男氏従軍関係資料	8
小倉直樹	1	民俗	竿秤	1
			竿秤(手持ち)	1
			錘	1
近藤信夫	1	歴史	三六式山砲砲弾ほか故近藤正之助氏従軍関係資料	6
山本哲也	1	歴史	新潟関係博覧会関係資料 一式	1
			新潟国体関係資料 一式	1
			上越新幹線開通関係資料 一式	1
副島賢二	1	歴史	山内保次 手帳	1
島田典子	1	民俗	島田謹介氏撮影『紬』写真集収録の写真ネガ、アルバム	3
青木恒雄	1	歴史	鐔	3
			縁頭	1
浅井勝利	1	歴史	訂正古訓古事記	1
			呪詛調法記秘伝	1
			秘符 弘法大師御作	1
			南都暦	1
			伊勢暦	1
			御呪詛大全目録	1
			人形	1
			茅の輪	1
晴明神社暦	1			
矢部忠秋	1	民俗	嫁入り道具のかんざし	1
			角隠しの写真(実際に資料のかんざしを使用)	1
高見英子	1	民俗	下駄制作道具	33
			看板	12
			下駄	29
			印鑑類	1
			写真アルバム	1
島田ラファエル美菜子ドミニク	1	民俗	島田謹介氏撮影『雪国』写真集収録の写真アザーネガ、	3

			ネガキャリア	
伊與部正志	1	民俗	衣服の雛形	1
川野名孝雄	1	歴史	のろま人形、文弥人形関係資料	4
山田恒裕	1	歴史	菓子関係資料	68
志田知隆	1	民俗	農耕用具	5
片桐恒平	1	歴史	片桐恒平 撮影写真(木製パネル)	1
村越長一	1	歴史	刀剣	2
			庚午九月戊辰之役戦争を遂げ金二五両下賜につき達書	1
			明治十一年九月廿二日御発輦へ出頭につき達書	1
合計	25			508

#### イ 寄託資料

寄託者	件数	分野	資料名	点数
金峯神社	1	歴史	玉簾(大)	1
			玉簾(小)	1
新川浩・新川貴浩	1	歴史	人体解剖図	2
合計	2			4

#### ウ 購入資料

資料名	点数
佐渡国名所産物寿具録	1
佐州陣屋并役所向絵図	1
善知鳥神社祭礼絵巻	1
好色修行諸国ものがたり	1
合計	4

#### エ 資料貸出

貸出先	件数	資料名	点数	目的
新潟市文化財センター	1	津南町沖ノ原遺跡出土火焰型土器(レプリカ)	1	令和6年度 史跡古津八幡山遺跡 弥生の丘展示館 企画展1『日本遺産「なんだ、コレは!」信濃川流域の火焰型土器』にて展示
		三条市吉野屋遺跡出土王冠型土器(レプリカ)	1	
		津南町道尻手遺跡出土王冠型土器(レプリカ)	1	
米沢市上杉博物館	1	重要文化財 「越後文書宝翰集 色部氏文書 第10巻 (天正18年)10月20日 大谷吉継書状	1	特別展「上杉氏と鷹と馬」への出展および図録等への掲載
新潟市文化財センター	1	矢津遺跡出土 縄文土器(『研究紀要』第10号所収「矢津遺跡出土土器の再検討」掲載資料)	9	令和6年新潟市文化財センター企画展2「水田下に沈んだ縄文遺跡」における展示
十日町市博物館	1	矢津遺跡出土縄文土器	5	「北の縄文遺産ー雪降る縄文と世界遺産ー」における展示

長岡市立科学博物館	1	図書『柄鏡大観』	1	長岡市立科学博物館企画展「考古学者・小林達雄コレクション展」展示
長野県立歴史館	1	上杉政虎感状（色部修理進宛・安田治部少輔）	2	令和6年度秋季企画展「描かれた川中島合戦～屏風・錦絵にみる戦の世界～」に展示する。あわせて同展示での図録・チラシ・ポスター、ホームページ・SNSなどの広報媒体に利用する
柏崎市立博物館	1	高札 延宝9年銘	1	令和6年度夏季企画展「江戸時代の村を伝える」に展示する
		高札 慶応4年銘	1	
合計	7		23	

オ 資料特別利用

利用者名	件数	資料名	点数	目的
魚沼市教育委員会	1	馬高遺跡出土 火焰土器 写真	1	魚沼市芝桜まつり内で行う火焰型土器写真パネル展の展示解説パネルとして使用する
阿部哲人	1	越後文書宝翰集毛利安田氏文書のうち（慶長5年）6月10日付け 上杉景勝書状	1	令和6年4月21日に開催される岐阜関ヶ原古戦場記念館における講演「東北の関ヶ原」際して、会場でのスライドとして上記資料画像をスライドに利用する
株式会社むしか	1	上杉政虎感状	1	月刊誌『歴史人』6月号にて上記資料画像を掲載する
加藤憲吾	1	尺八	1	尺八の研究調査
		尺八	1	
		御寿影（堀直寄公寿像）	1	
株式会社スプール	1	絵はがき：日本石油株式会社 柏崎製油所	1	東京電力の「柏崎刈羽原子力発電所」のパンフレットに掲載
橋本勝雄	1	星野洋治コレクション 出土石器	3	学術研究（東日本における縄文時代石器研究の一環）
一般社団法人社会応援ネットワーク	1	新刻改正論語	1	書籍への掲載（太田出版『14歳から身につける国際マナー（仮）』）
株式会社スパークル	1	巻袖藤布衣	1	TBSのテレビ番組「四季折々の贈り物」藤がテーマの回で、藤が古来より生活に欠かせない植物だったことを紹介する中で使用
		藤布衣	1	
前嶋敏	1	越後文書宝翰集のうち長尾為景書状	1	前嶋敏『戦国期地域権力の形成』（同成社）所収論文の挿図として上記資料画像を掲載する。画像は前嶋敏「戦国期越後における堅切紙の文書発給について」湯山賢一主編『古文書料紙論叢』勉誠出版、
		越後文書宝翰集のうち長尾為景書状	1	
		越後文書宝翰集のうち長尾為景書状	1	

		越後文書宝翰集のうち山吉政応書状	1	2017年に掲載の画像より転載する
長野県立歴史館	1	上杉政虎感状	1	長野県立歴史館秋季企画展開催準備のための調査として、上記資料を熟覧する
		上杉政虎感状	1	
ミネルヴァ書房	1	関東下知状	1	(やわらかアカデミズム・〈わかる〉シリーズ) 岩谷十郎・松園潤一郎・高田久美編『よくわかる日本法制史』の挿図として、上記資料の画像を掲載する
渡辺雅範	1	長尾為景安堵状	1	節黒城開山祭50周年記念誌作成に際して、文中に資料として掲載する
		大熊朝秀書状	1	
		本庄実乃書状	1	
		景資名字状	1	
		上杉景勝宛行状	1	
片桐昭彦	1	村山氏文書	1	大学教育の一環として、講義受講生13名とともに上記資料を熟覧する
		越後文書宝翰集のうち中条氏文書	1	
		越後文書宝翰集のうち齋藤氏文書	2	
原直史	1	元治元年(1864)越後土産初編	1	科研費「近世日本における単身女性の地域間移動—ジェンダー・家・周縁・媒介者—」(基盤研究(B)、研究番号:24K03191)のニュースレターに掲載
株式会社ABCアーク	1	天正4年5月19日付武田勝頼軍役定書	1	月刊誌『歴史人』7月号「武田家の崩壊」特集の挿図として上記資料画像を掲載する
堀越巖	1	高橋竹之介 八十里越絵図	1	高橋竹之介資料研究
村井祐樹	1	越後文書宝翰集	44	東京大学史料編纂所編『大日本史料』編纂の一環として、上記資料の記録撮影を行う
日本BS放送株式会社	1	直江状写	1	BS11「偉人・素顔の履歴書」直江兼続編(2022年7月23日放送)のオンデマンド配信を行い、そのなかで上記資料画像を放映する
村井祐樹	1	村山氏文書	1	東京大学史料編纂所編『大日本史料』編纂の一環として、上記資料の記録撮影を行う
		遍照心院文書	1	
		東大寺文書	1	
		市川文書	1	
		酒井氏文書	1	
		富所文書	1	
		上杉三先公御書	1	

		佐野文書	1	
		上杉早虎書状	1	
		長尾景虎書状(天文21年)ほか	1	
		上杉景勝書状(天正17年)	1	
		本庄繁長書状ほか	1	
		越後上杉氏鷹書	2	
		垂水文書	1	
		泉澤文書	1	
米沢市上杉博物館	1	越後文書宝翰集 色部氏文書 第10巻	1	米沢市上杉博物館特別展「上杉氏と鷹と馬」借用希望資料の事前調査として、史料熟覧を行う
株式会社勉誠社	1	南部信直書状	1	江田郁夫編『秀吉の天下統一-奥羽再仕置』の口絵として上記資料画像を掲載する
株式会社育鵬社	1	常設展示 縄文人の世界 画像	6	文部科学省検定中学歴史教科書『新しい日本の歴史』に解説資料として掲載する
株式会社 icoro	1	佐州全図	1	新潟県立歴史博物館令和6年度夏季企画展「大・佐渡展」関連グッズ作成
		諸国六十八景 佐渡金やま(二代歌川広重)	1	
島根県教育庁文化財課(世界遺産室)	1	佐渡国金銀山図	2	石見銀山と佐渡金銀山の歴史的つながりを紹介する巡回パネル展「石見銀山と佐渡金銀山」用のパネルに印刷する
		佐渡金銀山絵巻	1	
NHK解説委員室	1	西三川砂金山稼方図	1	「佐渡島の金山」について解説する放送で使用、放送内容を紹介するWEBでも使用予定
		金銀山間切絵図	1	
佐渡博物館	1	佐州金銀山之図のうち西三川砂金山稼方図	1	佐渡博物館企画展「江戸時代の歴史資料が語る『佐渡島の金山』」で資料画像を利用する
株式会社吉川弘文館	1	上杉謙信像(上越市林泉寺所蔵資料)	1	池享『上杉謙信の本音-関東支配の理想と現実-』のカバー画像として上記資料画像を掲載する
株式会社シナップス	1	佐渡国金銀山敷岡稼方図(部分)	1	『2025年中学受験用 サピックス重大ニュース』(代々木ライブラリー)に掲載
東京大学史料編纂所	1	越後文書宝翰集のうち小田切氏文書	1	東京大学史料編纂所編『大日本史料』編纂の一環として、上記資料の記録撮影を行う
		渡邊正英氏所蔵文書	22	

株式会社オクタゴン	1	後漢書	1	「中学校の教科書が今と昔で内容が変わっている」ところに焦点を当てた社会の教員免許を持ったあばれる君様メインのコーナー内で、金印について紹介します。その中で、「後漢に貢物を持ってあいさつに来た倭奴国に対して皇帝が印を与えた」という内容の記載がある部分を使用する
十日町市博物館	1	矢津遺跡出土資料	1	十日町市博物館令和6年度秋季特別展「北の縄文遺産―雪降る縄文と世界遺産―」に伴う資料調査
新潟日報社 魚沼総局	1	故戸田恭平氏従軍関係資料	1	新潟日報 特集「戦後79年」に掲載する
株式会社エディキューブ	1	直江状	1	『歴史人』増刊号(2024年9月発行/印刷版・デジタル版)に上記資料画像を掲載する
朝日新聞出版	1	佐州金銀山之図のうち西三川砂金山稼方図	1	『日本の世界遺産』に使用する
第一法規株式会社	1	佐州金銀山之図のうち西三川砂金山稼方図	1	『月刊文化財』(文化庁監修、第一法規株式会社発行)令和6年12月号(特集「世界遺産 佐渡島の金山」)の口絵として掲載する
Aerospace News Agency Sapporo	1	ほうだろう	1	アイヌ民族イナウと全国の削りかけ・削り花の研究の為、団体内機関誌(Aerospace UFO News)・Aerospace News Agency Sapporo ホームページ内での使用
株式会社コミュニティネット	1	上杉謙信像	1	読むクリアファイル『真田 BATTLE (仮称)』(監修:小和田泰経氏)の解説部分に上記資料画像を挿図として利用する
副島賢二	1	山内保次 日露戦争従軍スケッチ	1	『雪原の騎兵隊』(路創社より発行予定)にて挿絵として活用するための調査
株式会社朝日新聞出版	1	佐渡国金銀山図敷岡稼方図	1	朝日新聞出版発行「ジュニアエラ11月号」(10月12日発売)世界遺産特集にて使用
日本放送協会	1	足利尊氏袖判下文	1	NHK番組『歴史探偵』(テーマ:足利尊氏)のなかで、尊氏の執事である高師直が政務に深くかかわっていたこと、また、師直と直義の政務の違いを示す文書として撮影、高画質画像データを使用する
		室町幕府執事(高師直)奉書	1	
		足利直義袖判下文	1	

余湖明彦	1	佐州金銀山之図のうち西三川砂金山稼方図	1	国際情報大学開放講座 「黄金の島」佐渡一世界に誇る文化遺産のパワーポイントデータ及び配付資料として利用
島根県教育庁文化財課（世界遺産室）	1	佐渡国金銀山図	2	石見銀山と佐渡金銀山の歴史的つながりを紹介する石見銀山世界遺産センター秋季企画展「石見銀山と佐渡金銀山」の来場者等に無償配布するパンフレットに掲載する
		佐渡金銀山絵巻	1	
公益財団法人横浜市ふるさと歴史財団埋蔵文化財センター	1	第三京浜道路工事時に見つかった小机城空堀断面写真（奥田直栄氏所蔵資料のうち）	1	令和6年度横浜の遺跡展「発掘された小机城」の展示パネル・講話資料に利用
学校法人河合塾	1	北越雪譜	1	大学受験用テキストに掲載 2025年度（高校・高卒生対象）「日本史写真資料集」
株式会社 MBS 企画	1	二代広重画諸国六十八景 佐渡金やま	1	BS フジの「日本遺産物語」というテレビ番組で、佐渡金山をわかりやすく説明する際に使用する
		佐渡金銀山稼方之図から西三川砂金山之図	1	
		佐州金銀山之図	1	
魚沼市教育委員会	1	常設展示 縄文人の世界 冬の狩り	1	食まち うおぬま「秋の陣」内「縄文フェス」パネル展示資料
		常設展示 縄文人の世界 春の採集	1	
		常設展示 縄文人の世界 夏の海	1	
		常設展示 縄文人の世界 秋の広場	1	
一般社団法人日本甲冑武具研究保存会	1	鉄黒漆塗紺糸威異製最上胴具足	1	加須市埋蔵文化財調査報告書15集 P155～167（第四章「兜考察」（豊田勝彦著））掲載の画像について、日本甲冑武具研究保存会海外支部発行『JAS YEARBOOK KATCHU』No.8 に転載する
株式会社 NHK エデュケーショナル	1	被衣（マネキンに着せている写真）	1	京都芸術大学 芸術学部共通専門教育科目『芸術共用講義』に使用 ※令和13年3月31日まで継続利用
		被衣（平置きの写真）	1	
		カンザシ	1	
新潟食糧農業大学	1	常設展示室 雪とくらし 写真（高田の雁木通り、雪下ろしの全景、トンネル）	1	『月刊ニューライフ』連載「しなやかに災害と付き合う知恵」（令和6年1月発刊予定号）に掲載
第一法規株式会社	1	佐州金銀山之図のうち西三川砂金山稼方図	1	『月刊文化財』（文化庁監修、第一法規株式会社発行）令和6年12月号（特集「世界遺産 佐渡島の金
		佐渡国金銀山敷岡稼方図	1	

				山) の構成資産紹介①西三川砂金川、②相川鶴子金銀山において掲載するため
株式会社三栄	1	色部勝長宛 上杉政虎感状	1	時空旅人別冊『戦国合戦のすべて』の企画「戦国時代の戦術と陣形」にて、上記資料画像を掲載する
株式会社ノブサーズ	1	新潟県立歴史博物館 館内風景	8	ノブサーズHP・予約サイトの観光先案内として上記資料画像を掲載する
溝口政子	1	安政2年(1855) 『東講商人鑑』	1	県内三条市にあった菓子店「吉文字屋老舗」の木型を中心とした報告書(A4・190頁・デジタルデータでの配布)の、三条の菓子「常盤餅」などについて紹介するページに掲載する
		元治元年(1864) 『越後土産初編』	1	
日本BS放送株式会社	1	上杉政虎感状	1	BS11「偉人・素顔の履歴書」武田信繁編(2022年12月24日放送)のオンデマンド配信
米沢市上杉博物館	1	上杉謙信并二臣像(新潟県指定文化財・常安寺所蔵)	1	令和7年度米沢市上杉博物館特別展「上杉家の祈りと信仰(仮)」の事前調査
		上杉謙信像(三宝荒神形兜)	1	
株式会社オクタゴン	1	西三川砂金山稼方図	1	フジテレビ「世界の何だコレ!? ミステリー」という番組で、「佐渡島の金山」について紹介する
角南聡一郎	1	笹川勇吉氏旧蔵絵はがきコレクションのうち台湾関係一式	1	科学研究費助成による国内所在台湾関係資料調査
田中宏志	1	上野家成書状	1	平山優編著『シリーズ・中世関東武士の研究39 武田勝頼』(戎光祥出版)所収予定の田中宏志論文(「越甲同盟再考」、再録)の補注において、上記資料の花押部分の画像を掲載する
鶴林正史	1	常設展示 縄文人の世界 写真	9	You Tubeチャンネル“History of Japan”(英語版)の縄文時代編の挿入画像として
新発田市立歴史図書館	1	六十余州名所図会 越後親しらず	1	新発田市デジタルアーカイブでの画像公開(正保越後国絵図から)
新発田市立歴史図書館	1	笹川勇吉氏旧蔵絵はがきコレクション	4	令和6年度新発田市立歴史図書館通常展「戊辰戦争と新発田」のポスター・チラシに掲載する
株式会社興山舎	1	常設展示 縄文人の世界 秋の広場(土器作りを学ぶ)	1	特集記事「日本人のルーツ」の参考図版として
株式会社かみゆ	1	常設展示 縄文人の世界(冬の狩り、春の採集、夏の海、秋の広場)	4	『ポプラディアプラス 日本史1巻 古代～中世(仮)』への掲載

株式会社コミュニティネット	1	上杉謙信像	1	読むクリアファイル『中日本 BATTLE (仮称)』 (監修:小和田泰経氏) の解説部分に上記資料画像を挿図として利用する
NHKエデュケーショナル教育グループ	1	佐渡国金銀山図	1	テレビ番組「木村多江の、いまさらですが…」放送素材として
		佐渡国金銀山敷岡稼方図	1	
松園潤一郎	1	正中二年七月七日付関東下知状	1	2025年刊行予定 岩谷十郎・松園潤一郎・高田久実編『よくわかる日本法制史』(ミネルヴァ書房)に上記資料画像を挿図として利用する
知事政策局広報広聴課	1	越後国奥山荘与荒川保堺相論和与絵図	1	「新潟県のすがた 2025」に上記資料画像を挿図として利用する
		上杉謙信像	1	
		越後文書宝翰集	1	
一般財団法人長野県文化振興事業団 長野県埋蔵文化財センター	1	新潟県埋蔵文化財調査報告書第98集『平田遺跡』掲載 弥生時代玉つくり関連遺物 図版 187-194: No. 1-377	377	長野県中野市南大原遺跡弥生時代中期後半の「玉つくり関連遺物・遺構」の発掘調査、および発掘調査報告書執筆のための参考資料とする
株式会社帝国書院	1	常設展示 縄文人の世界 秋の広場 土器による食品加工(煮炊き)画像	1	HP掲載画像を高校生向け教科書に掲載しその学習に利用
株式会社朝日新聞出版	1	常設展示 縄文人の世界 画像	1	朝日新聞出版『歴史道』vol.38の誌面に掲載
井澤英二	1	佐渡国金銀山図	1	「資源・素材学会 2025年度春季大会」(令和7年3月14日(金)、千葉工業大学)での講演:井澤英二「金と銀を分ける鉱業技術:中世~近世の日本」でパワーポイントの画像として利用するとともに、資源・素材学会のWEB講演集ページに掲載する
佐渡博物館	1	日野資朝筆「細字法華経」画像	1	佐渡博物館常設展示パネルに上記資料画像を挿図として利用する
株式会社朝日新聞出版	1	常設展示 縄文文化を探る 縄文カレンダー 画像	1	朝日新聞出版『歴史道』vol.38の誌面に掲載
斎藤憲	1	佐渡国金銀山図	1	海外に所在する佐渡金銀山絵巻との比較研究
		佐渡国金銀山敷岡稼方図	1	
小松澄子	1	J. イングリッシュ氏撮影戦後期の新潟県内の写真	2	郷土史(自費出版)
株式会社日本入試センター	1	佐渡国金銀山敷岡稼方図	1	株式会社 日本入試センターが運営する小学生対象学習塾「SAPIX 小学部」で使用する社会テキスト

				(小学4年生対象)に、画像資料として掲載するため
スタジオグリフォン株式会社	1	常設展示 雪とくらし 出演者を交えての撮影	1	NHK World「Journeys in Japan 雪国の暮らし」での一場面として
内山佳子	1	縄文土器	1	縄文土器づくり
		王冠型土器	1	
株式会社日企	1	縄文人の世界 秋の広場	1	日本テレビ「キントレ」(※関東ローカル)番組における縄文時代の料理の再現中、縄文時代の暮らしのイメージ画像としての使用
日本郵便株式会社	1	諸国六十八景 佐渡金やま	1	郵便切手のデザインに利用する
		六十余州名所図会 佐渡金やま	1	
佐藤祐輔・馬場伸一郎	1	新潟県埋蔵文化財調査報告書第98集『平田遺跡』掲載資料	123	JSPS 科研費 24K2253「東北系弥生土器の「搬入」・「模倣」にみる地域間関係」(研究代表者:佐藤祐輔)による出土遺物の比較検討
株式会社 ABC アーク	1	常設展示 縄文人の世界 画像	4	歴史人5月号 『縄文時代のライフスタイルとは?』 掲載予定
呉座勇一	1	鮎川清長血判起請文	1	論文執筆のための研究調査として、古文書原本を熟覧・撮影を行う
		本庄房長血判起請文	1	
		小川長基血判起請文	1	
NHK大阪放送局	1	常設展示「縄文文化を探る」火焰土器の世界	1	NHK大阪放送局コンテンツ制作
株式会社 ABC アーク	1	常設展示 縄文人の世界 画像	5	月刊『歴史人』2025年5月号(4月5日発売)内に掲載する
		常設展示 縄文文化を探る 画像	1	
福島県立博物館	1	山本五十六関係資料	1	福島県立博物館の令和7年度夏の企画展「私たちの戦争体験ーアジア・太平洋戦争終戦80年ー」(会期:令和7年7月19日~9月15日、会場:福島県立博物館企画展示室)準備のための閲覧・調査
佐渡市	1	佐州金銀山之図(部分)	1	小学校・中学校副読本『再発見 佐渡金銀山』に掲載する
合計	87		742	

## カ 資料保管環境

### ① 生物調査

館内での文化財害虫の生息、館内への侵入状況を調べるため、館内各所に粘着トラップを 250 箇所、フェロモントラップを計 17 箇所（タバコシバンムシ用「ニューセリコ」10 箇所、ジンサンシバンムシ用「パシニウム」3 箇所、ヒメマルカツオブシムシ用「ヒメマルカツオブシムシルアー」3 箇所、ノシメマダラメイガ用「ガチョン」1 箇所）、ライトトラップを 5 箇所設置し、毎月調査を行った。通年での調査結果は下記の通りである。

発見月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
昆虫目	シミ目	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ゴキブリ目	0	0	0	0	3	4	4	6	1	1	0	0	19
	シロアリ目	0	0	51	0	0	0	0	0	0	0	0	0	51
	バッタ目	0	11	1	12	24	55	178	32	17	2	1	0	333
	チャタテムシ目	3	41	10	10	105	87	72	48	106	15	10	35	542
	甲虫目 カツオブシムシ	0	5	0	1	8	5	0	2	2	0	0	1	24
	甲虫目 キクイムシ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	甲虫目 ヒョウホンムシ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	甲虫目 シバンムシ	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	3
	甲虫目 その他	0	5	8	15	5	5	14	8	2	2	0	1	65
	ハチ目	1	8	17	73	41	11	2	3	3	0	0	0	159
	ハエ目 ユスリカ・蚊等	129	139	73	86	95	29	61	53	69	30	10	10	784
	ハエ目 コバエ等	0	105	34	29	46	26	74	49	57	21	6	9	456
	チョウ目	0	0	0	8	13	8	10	11	2	1	1	0	54
昆虫網その他	2	0	1	9	14	2	1	0	14	0	0	0	43	
唇脚網	オオムカデ目	0	1	0	2	2	2	0	0	0	0	0	0	7
	ゲジ目	3	14	14	12	6	4	7	19	19	8	0	0	106
	唇脚網その他	2	1	0	0	0	0	1	11	42	16	0	4	77
蜘蛛型網	クモ目	46	51	36	34	28	20	49	27	16	30	18	12	367
	ダニ目	0	5	27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	32
	クモ型網その他	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
ほか	その他ダンゴムシなど	0	17	100	35	16	4	3	0	1	0	3	1	180
		186	403	373	327	408	262	476	269	351	126	49	73	3303

令和 6 年度の調査結果を下記のとおり総括する。

通年捕獲実績の害虫種別に見ると、文化財加害害虫としては、(1) チャタテムシ目、(2) コウチュウ目カツオブシムシ、(3) ゴキブリ目、(4) シロアリ目が主要種としてあげられる。その他の不快害虫としては、(1) ハエ目、(2) バッタ目（カマドウマ・コオロギ）、(3) クモ目、(4) ゲジ目が主要種としてあげられる。捕獲数で最も多いグループは、ハエ目、次いでクモ目、バッタ目と続く。

本年度は昨年度に比べ総数で 186 匹減の 3303 匹の捕獲数となった。令和 4 年度と比べると、846 匹の減となった。令和 4 年度には収蔵庫 2 で 1,488 匹捕獲されたチャタテムシの捕獲数減が影響していると考えられる。収蔵庫 2 でのチャタテムシの捕獲数は、令和 5 年度には 44 匹と大きく減少し、令和 6 年度には通年で 1 匹の捕獲のみとなった。現在も収蔵庫 2 でのチャタテムシ捕獲数の変動や、収蔵庫内の状況の監視を続けているが、現在までに文化財への影響も確認されていない。一方で、収蔵庫 2 以外では本年度は 541 匹捕獲されている。これは、体長 1mm 程度と非常に小さいため、見逃されてしまうことの

多いチャタテムシへの注意が令和4年度以降高まったことも影響した可能性がある。ただし、令和5年度の収蔵庫2以外でのチャタテムシ捕獲数は653匹であり、令和6年度の捕獲数はそれより112匹減少している。今後も経過を観察し、状況に応じ適切に対応する予定である。

カツオブシムシについては、出入り口付近などで捕獲され、日常の目視点検においては成虫が主に出入り口付近の窓の下で発見されている。ただし、いずれも外部からの影響を受けやすい場所における発見であり、成虫出現時期にほぼ限定され、外部からの侵入と考えられる。目視点検で発見される度、閉館後に殺虫剤の散布を行った。

ゴキブリ目については、出入り口付近などで捕獲されており、施設や文化財への影響は確認されなかった。

シロアリ目については、有翅虫発生時期に屋外で発生した有翅虫が出入り口周辺に侵入している状況であり、6月に回収したモニタリングトラップでのみ捕獲が確認されている。当館では毎年確認されている季節的な侵入であり、本年度も施設や文化財への影響はなかった。

バッタ目については、主にカマドウマであり、例年秋・冬の寒冷時期に越冬のために館内に侵入し、捕獲が増加する季節性の害虫であった。そのため、それらの害虫駆除を主な目的として、12月末に館内殺虫作業を行った。

ゲジ目・ハエ目・ハチ目（オオクロアリ・ヒメアリなど）・クモ目・その他（ダンゴムシ、ゴミムシなど）は、捕獲されるポイントが出入り口周辺にほぼ限定されていて、大きな問題とはならなかった。

なお、ノシメマダラメイガについては、令和1年度頃まで常設展示室内で成虫が捕獲されるなどしてきたため、文化財に影響を与えうる害虫としてフェロモントラップを用いたモニタリングを継続している。結果として、昨年度に続き本年度も館内での捕獲は確認されなかった。

## ② 空中浮遊菌（真菌）調査・付着菌調査

### ②-1 空中浮遊菌調査

特別収蔵庫及び収蔵庫2・3の空中浮遊菌（真菌）を調査するため、ピンホールサンプラーで各室内空気を200L吸引し、PDA培地・M40Y培地で培養して真菌数を調査した。M40Y培地は乾燥を好むカビに適した培地である。PDA培地・M40Y培地ともに、5月・8月・12月の調査において特別収蔵庫前室の菌数がやや多かった。また、8月の調査での菌数が最も多い。いずれも扉の開閉時に廊下から空気が流入したためと考えられ、人や物の出入りや、庫外での季節的な菌数の増減による影響がうかがわれる。

### ②-2 付着菌調査

特別収蔵庫および収蔵庫2・3の付着菌を調査するため、100 cm<sup>2</sup>の床面を綿棒で拭き取り、それをPDA培地・M40Y培地で培養して真菌数を調査した。PDA培地・M40Y培地ともに、特別収蔵庫および収蔵庫2・3のいずれにおいても確認されないか、発見されても極わずかな菌数であった。季節による大きな変動も確認されなかった。

以上のように、特別収蔵庫前室の空中浮遊菌調査の結果以外は、年間を通じて少ない菌数である。また、付着菌の調査結果を見る限り、特別収蔵庫前室においても浮遊菌が落下し床に定着するような状況にはないと推定できる。こうした点から比較的良好な収蔵環境が維持されていると言える。調査結果は下記の通りである。

令和6年度 空中浮遊菌（真菌）調査・付着菌調査結果

PDA培地

測定箇所	5月13日		8月5日		12月9日	
	200L 吸引培地	1㎡あたりの真菌数	200L 吸引培地	1㎡あたりの真菌数	200L 吸引培地	1㎡あたりの真菌数
特別収蔵庫前室	11	55	13	65	3	15
特別収蔵庫	0	0	1	5	0	0
収蔵庫2	3	15	0	0	0	0
収蔵庫3	0	0	0	0	0	0

M40Y培地

測定箇所	5月13日		8月5日		12月9日	
	200L 吸引培地	1㎡あたりの真菌数	200L 吸引培地	1㎡あたりの真菌数	200L 吸引培地	1㎡あたりの真菌数
特別収蔵庫前室	8	40	56	280	7	35
特別収蔵庫	0	0	3	15	0	0
収蔵庫2	1	5	5	25	0	0
収蔵庫3	0	0	1	5	0	0

付着菌

採取箇所	5月13日		8月5日		12月9日	
	PDA培地	M40Y培地	PDA培地	M40Y培地	PDA培地	M40Y培地
特別収蔵庫前室	0	2	1	0	0	0
特別収蔵庫	0	0	0	0	0	0
収蔵庫2（1階右側）	0	0	0	0	0	0
収蔵庫2（1階左側）	0	0	0	0	0	1
収蔵庫2（2階）	0	1	0	0	0	0

③ 薬剤使用状況、館内殺虫、資料殺虫殺菌処理状況

館内及び資料から文化財害虫・菌を除去するため、以下のとおり館内殺虫および資料の殺虫殺菌処理を行った。

処理作業名	作業日	使用薬剤等	目的等
燻蒸室内燻蒸処理	4月15～18日	酸化エチレン・フルオロカーボン製剤（エキヒュームS）	新規収蔵資料および一時外に出していた資料を収蔵庫に収蔵するに際して、資料自体の虫害の防止、収蔵庫の環境維持のため殺虫・殺カビ処理を行う。
展示室殺虫作業	6月10日	ピレスロイド炭酸製剤（ブンガノン）	展示室の什器・備品・環境復元展示の殺虫のため
燻蒸室内燻蒸処理	7月1～3日	酸化エチレン・フルオロカーボン製剤（エキヒュームS）	新規収蔵資料および一時外に出していた資料を収蔵庫に収蔵するに際して、資料自体の虫害の防止、収蔵庫の環境維持のため殺虫・殺カビ処理を行う。
燻蒸室内燻蒸処理	10月15～18日	酸化エチレン・フルオロカーボン製剤（エキヒュームS）	新規収蔵資料および一時外に出していた資料を収蔵庫に収蔵するに際して、資料自体の虫害の防止、収蔵庫の環境維持のため殺虫・殺カビ処理を行う。
館内殺虫作業	12月28日	ピレスロイド炭酸製剤（ミラクンGX）	共用部の什器・備品の殺虫のため

③ 温湿度管理

館内の収蔵庫および企画展示室の温湿度について、各室の収蔵品や使用目的にあわせ、適正になるように努めた。とりわけ特別収蔵庫は年間を通して温度 21～23 度前後に制御し、湿度は 60%になるように留意した。企画展示室は、調湿剤を使用しながら展示資料によって適正な設定温湿度に調整した。

⑤ 館内の空気環境管理

a イオンクロマトグラフ法空気環境測定

10月24日に収蔵庫1・収蔵庫2のイオンクロマトグラフ法(IC法)による測定分析を行った。その結果、文化財に影響を与える酢酸、アンモニウムのイオン成分については問題なかった。一方でギ酸については、東京文化財研究所の推奨値(10ppb以下、 $19\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下)を越えている箇所があることが判明した。そのため、今後も経過を観察し、状況に応じ適切に対応する予定である。

令和6年度 イオンクロマトグラフ測定結果一覧(10月24日)

測定箇所	酢酸		ギ酸		アンモニア	
	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	ppb	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	ppb	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	ppb
特別収蔵庫 1階中央	344	142	24.4	13.2	9.17	8.55
特別収蔵庫 1階左奥	283	117	31.1	16.8	10.41	9.87
特別収蔵庫 1階吸込口	352	145	22.8	12.4	10.23	8.35
特別収蔵庫 2階吹出口	147	60.7	13.6	7.39	10.26	9.65
収蔵庫 2	283	117	23.3	12.6	16.90	15.70

b 活性炭フィルター交換

特別収蔵庫、収蔵庫2、収蔵庫3および企画展示室の適切な空気環境を維持するため、9月に活性炭フィルターを交換した。

## (4) 調査研究事業

### ア 事業主旨

新潟県の歴史及び民俗並びに縄文文化に関する県民の教養を高め、県民の文化的・学術的活動を支援するため、全国的・世界的視野から総合的に、資料に関する技術的及び専門的な研究を行っている。

なお、本事業は他事業と関連し、博物館事業全体を支えるものである。他事業に結実した成果は各項目を参照していただきたい。

### イ 総合研究

博物館の事業活動に寄与するため、博物館内外の人材を集め、総合的な研究目的を掲げて行う研究である。令和6年度には、以下のとおり行った。

#### ① 佐渡島文化の総合研究（3年計画の1年目）

代表者：渡部浩二

佐渡については、「佐渡島の金山」の世界文化遺産の登録準備が大詰めを迎えているなか（2024年7月登録実現）、農業、地質、鉱山を軸に各分野で新たな研究がなされている。本研究は、近年の研究動向を踏まえ、考古学・歴史学・民俗学など多様な視点から検討を行う。今年度は、佐渡の歴史文化の特徴として語られることの多い8つのテーマを設定し、具体的な「モノ」資料を素材に、分野を超えた視点から統合的に検討を加えることで、新たな佐渡文化の側面を明らかにした。

#### ② 越後文書宝翰集の総合的研究（3年計画の2年目）

代表者：前嶋 敏

本研究は、新潟県の中世史を研究する上できわめて重要な資料である当館所蔵「越後文書宝翰集」（全44巻727通、国指定重要文化財）の再検討を行うものである。3年計画の2年目にあたる今年度は、主に越後文書宝翰集のうち黒川氏文書5巻92通を題材として、各巻の性格および所収文書の再検討、また文書群の伝来と各武家の系譜意識との関わりなどについて考察を加えた。『越後文書宝翰集 黒川氏文書I』（矢田俊文・片桐昭彦・新潟県立歴史博物館編）を刊行した。

### ウ 個別研究

専門的業務に従事する研究員が日常的に研鑽を積み、また、博物館の事業活動に寄与するため、個別の研究目的を掲げて行う研究である。令和6年度には、各自の日常的な研鑽・調査とともに、以下のテーマ研究を行った。

#### ① 式内社からみた古代越後佐渡の諸相（浅井勝利）

『延喜式』に記載された越後国の式内社について、現存する社との関係を確定することのできない、いわゆる「論社」を中心に考察した。また、式内社と奈良平安時代の集落遺跡との関係についても検討を加えた。

#### ② 縄文土器の造形に関する印象の検討（宮尾亨）

現代社会のなかで考古資料が用いられる場面や状況にみられる一定の傾向を考慮して、考古資料の選択的利用における造形的特色について、3D-RGBデータを利用し、心理学的背景を検討した。3D-RGBデータを取得した縄文土器の3Dモデリングを用いて、造形的特色に関する印象の調査を実施した。

③ 県内資料館・博物館の所蔵する布関係資料のアーカイブ化と活用法についての研究―県北地域を中心に―（陳玲）

今年度は、とくに下越の資料館・博物館の所蔵する綿織物の「縞帳」関連資料を中心としてデータベース化した。また、岩室民俗史料館の所蔵する「袖なし」及び関連資料群から、民俗資料の実際と地ことばの不一致という現象を把握した。

④ 越後の飴文化の研究（渡部浩二）

江戸時代における越後城下町の飴商人の形成、農村における飴商人（百姓）の活動などを具体的に分析した。越後では零細ながらも百姓による飴売りが広範に展開したこと、飴が比較的安価に手軽に作れるものであったこと、19世紀頃には公家の土御門家が越後に進出していたこと、江戸時代後期以降、越後にも砂糖の普及が顕著となり、多様な菓子文化が普及したことなどを明らかにした。

⑤ 黒川氏文書の研究（前嶋敏）

新潟県中世史研究の深化を推し進めるために、イ②「越後文書宝翰集の総合的研究」とも連動して、「越後文書宝翰集」のうち、とくに黒川氏文書（5巻92通）について検討を行った。戦国時代以前の黒川氏に伝来していた古文書の多くは、江戸時代においては別家に伝来していたこと、近代以後にこれらが「越後文書宝翰集黒川氏文書」として再整理されたことなどを明らかにした。

⑥ 地域における戦争の記憶・記録―銃後を中心に―（田邊幹）

県内各地の銃後の記録、とくに日記類から情報を蓄積した。ある雑穀商が物資の不足により商売が苦しくなり、食料の配給制度の導入に伴い配給組合の社員となる様子や、食料不足の中、少しでも食糧を自給するために農園で野菜を作る様子など、地域社会を形成する個人の動向などについて新たな知見を得た。

⑦ 山口賢俊と民具コレクションに関する基礎的研究（三国信一）

当館所蔵「新潟県民俗学会旧蔵民具コレクション」について、同資料収集・整理の中心となった山口賢俊の資料ノート・資料綴（新潟市北区郷土博物館蔵）などに記述された同資料の民具番号と情報カード番号を抽出し、データベースを作成した。

⑧ 先史時代における岩石資源利用の研究（3）（橋詰潤）

ヒスイや碧玉を用いた人の歴史に対して、地学的背景にまで踏み込んだストーリーの構築を目指して、ヒスイ、碧玉を対象に、考古学的な文脈だけでなく、地質学的な文脈から調査を行った。そして、ヒスイと碧玉の生成、人が利用可能になるまでの地学的なプロセス、ヒスイ利用の考古学的データなどを整理した。

⑨ 縄文時代後期の再葬墓データベースの構築（永瀬史人）

新潟県内の再葬墓とほぼ同時期に出現した東北地方北部と関東地方の再葬墓のデータベースを構築するため、二戸市荒谷遺跡、青森市山野峠遺跡の土器棺再葬墓出土人骨、及び土器棺再葬墓が出現する以前の墓制である八戸市松ヶ崎遺跡の廃屋墓出土人骨のサンプリングを行った。また八戸市薬師前遺跡より出土した土器棺の3次元計測を実施した。

⑩ 佐渡における憑物伝承の研究（岩瀬春奈）

憑物伝承の地域差を霊的な動物への信仰の伝播とその受容の差と想定し、佐渡のムジナ信仰を主な題材として、信仰される霊的な動物と憑物の動物霊について比較検討を行った。佐渡のムジナ信仰では霊的な動物への信仰である十二様信仰と憑物信仰とが重なっていること、また近隣地域では十二様とムジ

ナとは異なる特定の動物とが結び付く伝承があることなどを確認した。

エ 科学研究費補助金等による研究

研究者それぞれの自由かつ柔軟な発想に基づく学術研究を、科学研究費補助金（以下、科研費と記す）等を得て公務として行っている。令和6年度に採択された研究課題は、以下のとおりである。

- ① 縄文時代後期土器棺再葬墓に関する考古学と分析科学を融合した研究  
科研費 研究活動スタート支援 (24K22547) 令和6-7年度  
研究代表者：永瀬史人
- ② 佐渡金銀山技術書群の分析に基づく鉱山資料の集成と鉱山社会史の解明  
科研費 基盤研究 C1 (22K00886) 令和4-7年度  
研究代表者：渡部浩二
- ③ 史資料原本調査を中心とした中世文書群の伝来に関する研究  
科研費 基盤研究 C (20K00953) 令和2-5年度 令和6年度まで延長  
研究代表者：前嶋敏
- ④ 「越佐徴古館」構想の復元を通じた「横田切れ」水害被災地の復興  
科研費 基盤研究 C (20K01133) 令和2-5年度 令和6年度まで延長  
研究代表者：田邊幹
- ⑤ 本州中央部の大規模遺跡の再検証に基づく更新世終末の動物資源利用行動の評価  
科研費 基盤研究 C (20K01101) 令和2-5年度 令和6年度まで延長  
研究代表者：橋詰潤
- ⑥ 近世日本における単身女性の地域間移動—ジェンダー・家・周縁・媒介者—  
科研費 基盤研究 B (24K03191) 令和6-9年度  
研究分担者：渡部浩二  
(研究代表者：原直史 新潟大学)
- ⑦ 更新世末から完新世初頭における先史狩猟採集民の生態資源利用をめぐる研究  
科研費 基盤研究 B (23K25410) 令和5-9年度  
研究分担者：橋詰潤  
(研究代表者：山岡拓也 静岡大学)
- ⑧ 更新世末の北海道における尖頭器製作・使用行動に関する総合的研究  
科研費 基盤研究 B (23K25385) 令和5-9年度  
研究分担者：橋詰潤  
(研究代表者：高倉純 北海道大学)
- ⑨ 須恵器 3D-RGB データの深層学習クラスター解析による型式・年代分類基準の検証  
科研費 基盤研究 B (23K22016) 令和4-6年度  
研究分担者：宮尾亨  
(研究代表者：藤田晴啓 新潟国際情報大学)

- ⑩ 型式学と AI を融合したデータ駆動型研究基盤への挑戦  
 科研費 挑戦的研究(萌芽)(23K17520) 令和5-7年度  
 研究分担者：宮尾亨  
 (研究代表者：藤田晴啓 新潟国際情報大学)

オ 自主企画の学術研究出版物(図録・紀要・報告書等)

- ① 『新潟県立歴史博物館研究紀要』第26号(令和7年3月25日) A4判140頁 モノクロ1,300部  
 編集 新潟県立歴史博物館  
 発行 新潟県立歴史博物館  
 [目次]

【研究ノート】

新潟県内近世近代窯業址について5	(西田 泰民)	1～8頁
民俗資料の名称にかかわる問題		
—岩室民俗資料館所蔵群の「袖なし」及び関連資料の研究—	(陳 玲)	9～30頁
越後における縞帳	(陳 玲)	31～38頁
新潟県立歴史博物館における IPM(総合的有害生物管理)について4	(橋詰 潤)	39～52頁
村尻遺跡の再埋葬	(宮尾 亨)	53～64頁
越佐微古館のコレクション形成過程	(田邊 幹)	108～118頁

【報告】

令和6年度山の洲文化財交流展 「珠玉の国 新潟 ヒスイ, 青玉, 赤玉,」	(橋詰 潤)	65～80頁
--	--------	--------

【資料紹介】

円筒上層式土器	(永瀬 史人)	81～92頁
『佐渡金銀山圖志』	(渡部 浩二)	119～136頁

【文献目録】

2024年新潟県地域史関係文献目録	(新潟県地域史研究ネットワーク事務局)	93～107頁
-------------------	---------------------	---------

- ② 『越後文書宝翰集 黒川氏文書 I』(令和7年3月)  
 A4判100頁 カラー 750部  
 編集 矢田俊文・片桐昭彦・新潟県立歴史博物館(前嶋敏)  
 発行 新潟県立歴史博物館  
 [目次]

はじめに		
目次		
凡例		
図版編		
黒川氏文書 第一巻		8～21頁
黒川氏文書 第二巻		22～34頁
解説編		
黒川氏の系譜と黒川氏伝来文書	(前嶋 敏)	36～45頁
各文書翻刻・解説		46～96頁
主要参考文献一覧		97～99頁
執筆・編集者一覧		100頁

③ 令和6年度夏季企画展『大・佐渡島』展 図録（令和6年7月13日）

A4判 126頁 カラー 1,200部（渡部 浩二）

〔目次〕

ごあいさつ	1頁
目次	2頁
凡例	4頁
「佐渡島の歴史と暮らし」	(浅井 勝利) 5頁
第1章 先史時代の佐渡島	11頁
第1節 佐渡島が生み出した大地の資源	12頁
第2節 先史時代の佐渡島での暮らし	14頁
第2章 佐渡島のあゆみ	23頁
第1節 古代の佐渡島	24頁
第2節 中世の佐渡島	26頁
第3節 近世の佐渡島	28頁
第4節 近現代の佐渡島	31頁
第3章 佐渡島に流された人びとと文化	33頁
第1節 古代に流された人びと	34頁
第2節 中世に流された人びと	36頁
第3節 近世に流された人びと	45頁
第4章 佐渡の金山	49頁
第1節 西三川砂金山	50頁
第2節 相川鶴子金銀山	52頁
第5章 佐渡島と日本海交流	59頁
第1節 航海	60頁
第2節 文化の流入	62頁
第6章 佐渡島の磯漁とイカ漁	65頁
第1節 磯漁	66頁
第2節 イカ漁	70頁
第7節 佐渡島の芸能	75頁
第1節 能楽	76頁
第2節 人形芝居	79頁
第3節 さまざまな芸能	84頁
第8章 佐渡島の美術工芸	89頁
資料編	93頁
展示資料解説	94頁
「大・佐渡島」展 関連年表	114頁
「大・佐渡島」展 関連地図	118頁
主な参考文献	119頁
謝辞・協力者一覧	125頁

④ 令和6年度 山の洲文化財交流事業

『珠玉の国 新潟 ヒスイ、青玉、赤玉、2024』（令和6年9月13日）

A4判 128頁 カラー 3,000部（橋詰 潤、永瀬史人、宮尾 亨）

〔目次〕

緒言	1頁
例言	2頁

シンポジウム

シンポジウムプログラム	3 頁
シンポジウム予稿集	
基調講演「ヒスイから見た縄文社会と地域交流」	4 頁
報告 1 「新潟県の石で身を飾る」	12 頁
報告 2 「ビーズがつなぐ弥生時代の新潟と長野」	18 頁
報告 3 「東日本に伝播した弥生時代のガラス製勾玉の生産と流通」	24 頁
報告 4 「古墳時代前期における水晶製玉類の流通」	30 頁
新潟県立歴史博物館 令和 6 年度秋季テーマ展	
展示解説	36 頁
1 新潟の珠玉	38 頁
2 身を飾る、装う	46 頁
3 翠の石で身を飾る	62 頁
4 青玉石、赤玉石で身を飾る	84 頁
5 組み合わせる珠玉	96 頁
6 珠玉たちの競演 長野県、山梨県、静岡県	104 頁
記念講演会 装身具の考古学	
「縄文社会における装身具」高橋龍三郎（早稲田大学名誉教授）	112 頁
信濃川火焰街道連携協議会	
日本遺産「なんだ、コレは！」信濃川流域の火焰型土器と雪国の文化	117 頁
引用参考文献	121 頁
謝辞	125 頁

カ 専門書・専門誌への論文等その他年間執筆一覧

氏名	タイトル	出典	発行	発行日	頁
浅井勝利	新潟県地方史研究の動向	『信濃』第 76 巻第 7 号	信濃史学会	令和 6 年 7 月 20 日	65-71
浅井勝利	文献史学から未発見城柵を考える	新潟県考古学会秋季シンポジウム発表要旨	新潟県考古学会	令和 6 年 11 月 2 日	41-50
宮尾 亨	縄文土器 3D 深層学習クラスタ解析の展望—部位分割 Voxel 解析の試行—	日本情報考古学会講演論文集 Vol. 29 (通巻 49 号)	日本情報考古学会	令和 7 年 3 月	
宮尾 亨	村尻遺跡の再葬墓	『新潟県立歴史博物館研究紀要』26	新潟県立歴史博物館	令和 7 年 3 月 25 日	53-64
陳 玲	民俗資料の名称にかかわる問題—岩室民俗史料館所蔵資料群の「袖なし」及び関連資料の研究—	『新潟県立歴史博物館研究紀要』26	新潟県立歴史博物館	令和 7 年 3 月 25 日	9-30
陳 玲	越後における綿織物の縞帳	『新潟県立歴史博物館研究紀要』26	新潟県立歴史博物館	令和 7 年 3 月 25 日	31-38
渡部浩二	(口絵解説)世界文化遺産「佐渡島の金山」—真実性を裏付ける歴史資料—	『月刊文化財』735	第一法規	令和 6 年 12 月 1 日	2
渡部浩二	江戸時代における佐渡相川金銀山の鉱脈と鉱石の認識について	資源・素材学会 2025 年度 春季大会 WEB 講演集	資源・素材学会	令和 7 年 2 月 5 日	6
渡部浩二	鉱山絵巻からみる佐渡金銀山の技術と社会	『甲斐黄金村・湯之奥金山博物館 研究紀要 17 金山史研究』	甲斐黄金村・湯之奥金山博物館	令和 7 年 3 月	7-16
渡部浩二	『佐渡金銀山図志』	『新潟県立歴史博物館研究紀要』26	新潟県立歴史博物館	令和 7 年 3 月 25 日	119-136
渡部浩二	絵巻物からみた佐渡金銀山	令和 6 年度多田銀銅山悠久の館企画展『海を渡った多田銀銅山・生野銀山の技術者たち～金銀の島・佐渡金銀山との関係に迫る～』講演会記録集	猪名川町教育委員会	令和 7 年 3 月	23-34
前嶋 敏	戦国期地域権力の形成		同成社	令和 6 年 6 月 7 日	1-306
前嶋 敏	奥羽仕置と色部氏伝来文書	江田郁夫編『秀吉の天下統一 奥羽再仕置』(アジア遊学 294)	勉誠社	令和 6 年 6 月 25 日	276-291
前嶋 敏	上杉謙信とその一族		戎光祥出版	令和 6 年 9 月 10 日	1-330
前嶋 敏	長尾晴景	黒田基樹・前嶋敏編『上杉謙信とその一族』	戎光祥出版	令和 6 年 9 月 10 日	52-66
前嶋 敏	上杉謙信の養子・養女について—中条景資室についての検討	黒田基樹・前嶋敏編『上杉謙信とその一族』	戎光祥出版	令和 6 年 9 月 10 日	213-219
前嶋 敏	府内長尾家の人びと	黒田基樹・前嶋敏編『上杉謙信とその一族』	戎光祥出版	令和 6 年 9 月 10 日	222-239
前嶋 敏	(書評)西川広平著『中近世の資源と災害』	『中央史学』48	中央史学会	令和 7 年 3 月 25 日	99-106

前嶋 敏	矢田俊文・片桐昭彦・新潟県立歴史博物館編『越後文書宝翰集 黒川氏文書Ⅰ』		新潟県立歴史博物館	令和7年3月	1-100
前嶋 敏	黒川氏の系譜と黒川氏伝来文書	矢田俊文・片桐昭彦・新潟県立歴史博物館編『越後文書宝翰集 黒川氏文書Ⅰ』	新潟県立歴史博物館	令和7年3月	36-45
田邊 幹	越佐復古館のコレクション形成過程	『新潟県立歴史博物館研究紀要』26	新潟県立歴史博物館	令和7年3月25日	108-118
橋詰 潤	小瀬ヶ沢、室谷洞窟と新潟県の縄文文化のはじまり	『阿賀路』第62集	阿賀路の会	令和6年6月9日	15-34
橋詰 潤	長野県木曾町西又Ⅱ 遺跡出土の有茎尖頭器を伴う石器群の再検討	『日本旧石器学会第22回大会研究発表・シンポジウム予稿集』	日本旧石器学会	令和6年6月22日	42
橋詰 潤	静岡県浜松市行者穴遺跡の発掘調査	『日本旧石器学会第22回大会研究発表・シンポジウム予稿集』	日本旧石器学会	令和6年6月22日	46
橋詰 潤	新潟県立歴史博物館におけるIPM(総合的有害生物管理)について4	『新潟県立歴史博物館研究紀要』26	新潟県立歴史博物館	令和7年3月25日	39-52
橋詰 潤	令和6年度山の洲文化財交流展「珠玉の国新潟 ヒスイ、青玉、赤玉、」	『新潟県立歴史博物館研究紀要』26	新潟県立歴史博物館	令和7年3月25日	65-80
永瀬史人	円筒上層式土器	『新潟県立歴史博物館研究紀要』26	新潟県立歴史博物館	令和7年3月25日	81-92
永瀬史人	八戸市松ヶ崎遺跡における廃屋墓出土人骨の鑑定と自然科学分析	『八戸市博物館研究紀要』38	八戸市博物館	令和7年3月27日	7-22
永瀬史人	円筒土器文化圏における集落形態と変遷に関する比較考古学的研究	『特別史跡三内丸山遺跡研究紀要』6	三内丸山遺跡センター	令和7年3月27日	52-75

### キ 調査報告書・辞典・参考書等への年間執筆一覧

氏名	タイトル	出典	発行	発行日	頁
浅井勝利	佐渡島の歴史と暮らし	新潟県立歴史博物館『大・佐渡嶋』展示図録	新潟県立歴史博物館	令和6年7月13日	5-10
浅井勝利	(コラム佐渡への漂着二題、資料解説、章・節解説)	新潟県立歴史博物館『大・佐渡嶋』展示図録	新潟県立歴史博物館	令和6年7月13日	
宮尾 亨	令和6年度中央日本4県山の洲文化財交流事業『珠玉の国 新潟 ヒスイ、青玉、赤玉、』(資料解説)		新潟県立歴史博物館	令和6年9月13日	1-128
陳 玲	(資料解説)	新潟県立歴史博物館『大・佐渡嶋』展示図録	新潟県立歴史博物館	令和6年7月13日	
渡部浩二	新潟県立歴史博物館『大・佐渡嶋』展示図録		新潟県立歴史博物館	令和6年7月13日	1-126
渡部浩二	(資料解説、章・節解説)	新潟県立歴史博物館『大・佐渡嶋』展示図録	新潟県立歴史博物館	令和6年7月13日	
前嶋 敏	新潟県立歴史博物館『大・佐渡嶋』展示図録		新潟県立歴史博物館	令和6年7月13日	1-126
前嶋 敏	(資料解説、章・節解説)	新潟県立歴史博物館『大・佐渡嶋』展示図録	新潟県立歴史博物館	令和6年7月13日	
前嶋 敏	上杉謙信と川中島合戦	長野県立歴史館『描かれた川中島合戦』展示図録	長野県立歴史館	令和6年10月12日	67-70
前嶋 敏	御館の乱と武田勝頼	山梨県立博物館『武田勝頼』	山梨県立博物館	令和6年3月15日	68-69
田邊 幹	(資料解説)	新潟県立歴史博物館『大・佐渡嶋』展示図録	新潟県立歴史博物館	令和6年7月13日	
三国信一	(資料解説、章・節解説)	新潟県立歴史博物館『大・佐渡嶋』展示図録	新潟県立歴史博物館	令和6年7月13日	
橋詰 潤	(資料解説、章・節解説)	新潟県立歴史博物館『大・佐渡嶋』展示図録	新潟県立歴史博物館	令和6年7月13日	
橋詰 潤	令和6年度中央日本4県山の洲文化財交流事業『珠玉の国 新潟 ヒスイ、青玉、赤玉、』		新潟県立歴史博物館	令和6年9月13日	全128頁
橋詰 潤	三次元データに基づく矢柄研磨器(有溝砥石)の検討	『矢柄研磨器の研究 岡谷丸山遺跡西区発掘調査報告書—縄文時代草創期の様相—』郷土の文化財 36	岡谷市教育委員会	令和7年3月	21-28頁
橋詰 潤	縄文時代草創期の石器	『矢柄研磨器の研究 岡谷丸山遺跡西区発掘調査報告書—縄文時代草創期の様相—』郷土の文化財 36	岡谷市教育委員会	令和7年3月	29-87頁
橋詰 潤	岡谷丸山遺跡抽出石器の特徴と位置付けの検討	『矢柄研磨器の研究 岡谷丸山遺跡西区発掘調査報告書—縄文時代草創期の様相—』郷土の文化財 36	岡谷市教育委員会	令和7年3月	109-119頁
永瀬史人	令和6年度中央日本4県山の洲文化財交流事業『珠玉の国 新潟 ヒスイ、青玉、赤玉、』		新潟県立歴史博物館	令和6年9月13日	全128頁
永瀬史人	三次元データに基づく矢柄研磨器(有溝砥石)の検討	『矢柄研磨器の研究 岡谷丸山遺跡西区発掘調査報告書—縄文時代草創期の様相—』郷土の文化財 36	岡谷市教育委員会	令和7年3月	21-28頁

### ク 一般書・一般雑誌・新聞等への年間寄稿一覧

氏名	タイトル	出典	発行	発行日	頁
浅井勝利	大・佐渡島 独自の歴史、文化を形成(展覧会へようこそ)		新潟日報	令和6年7月23日	23面
宮尾 亨	山下遺跡	山下通信 創刊号	山通お宝再発見プロジェクト	令和6年6月1日	1頁
宮尾 亨	山下遺跡紹介	山下通信 第3号	山通お宝再発見プロジェクト	令和6年11月1日	1頁
田邊 幹	動物たちの浮世絵展 人とペットめぐる世相(展覧会へようこそ)		新潟日報	令和6年5月7日	23面
浅井勝利	大河ドラマになった古代	れきはく通信1	新潟県立歴史博物館	令和6年12月15日	
宮尾 亨	長者ヶ平遺跡の土器口縁破片	れきはく通信1	新潟県立歴史博物館	令和6年12月15日	
交流普及	サイノカミ	れきはく通信1	新潟県立歴史博物館	令和6年12月15日	
三国信一	山口賢俊と「虎に翼」	れきはく通信2	新潟県立歴史博物館	令和7年1月15日	
渡部浩二	香取神社(柏崎市権谷)の跳ね足狛犬	れきはく通信2	新潟県立歴史博物館	令和7年1月15日	

田邊 幹	婦山雲涯画「新潟湊図」「明訓学校図」	れきはく通信 2	新潟県立歴史博物館	令和 7 年 1 月 15 日	
宮尾 亨	『高志路』掲載の馬高遺跡	れきはく通信 3	新潟県立歴史博物館	令和 7 年 2 月 15 日	
岩瀬春奈	八十里・六十里を越えてー仕事着からみえる地域のつながりー	れきはく通信 3	新潟県立歴史博物館	令和 7 年 2 月 15 日	
橋詰 潤	館内で外来カメラを発見!?	れきはく通信 3	新潟県立歴史博物館	令和 7 年 2 月 15 日	
前嶋 敏	『越後文書宝翰集 黒川氏文書 I』が刊行されます	れきはく通信 4	新潟県立歴史博物館	令和 7 年 3 月 15 日	
永瀬史人	博物館実習担当のひとつこと	れきはく通信 4	新潟県立歴史博物館	令和 7 年 3 月 15 日	
陳 玲	祖母の裁縫雛形	れきはく通信 4	新潟県立歴史博物館	令和 7 年 3 月 15 日	

## ケ 学会発表等一覧

氏名	タイトル	学会・講演会名	会場	期日	備考
浅井勝利	文献史学から未発見城柵を考える	新潟県考古学会秋季シンポジウム	新潟市万代市民会館	令和 6 年 11 月 2 日	
宮尾 亨	"Image Restorations of Sundial-shaped stones of Oyu Stone Circle Site by CycleGANs"	51st Computer Applications and Quantitative Methods in Archaeology International Conference	Auckland Tamaki Makaurau Aotearoa New Zealand	8-12 April 2024	Haruhiro Fujita; Kazutaka Kawano; Primitiva Ramirez; Masatoshi Itagaki; Toru Miyao; Ryo Yamamoto; Yoshito Hanami; Tomomi Akasaka; Ryo Kinouchi
宮尾 亨	"Analysis of Sensory Impression Factor Structures of Jomon Kaen Potteries through a Semantic Differential Method Experiment Utilizing 3D Models on Microsoft HoloLens"	51st Computer Applications and Quantitative Methods in Archaeology International Conference	Auckland Tamaki Makaurau Aotearoa New Zealand	8-12 April 2024	Haruhiro Fujita; Toru Miyao; Simon Kaner; Hiroyuki Sasaki; Yew Kuwang Hooi
宮尾 亨	Image Conversion of Oyu Stone Circles using CycleGAN	ESTCON2024	"Sabah International Cnvention Center Sabah International Cnvention Center Kota Kinabalu Sabah, Malaysia"	10-11 September 2024	Masatoshi Itagaki, Haruhiro Fujita, Toru Miyao, Yoshito Hanami, Tomomi Akasaka and Ryo Kinouchi
宮尾 亨	MaskedCycleGAN for Image Transformation of Oyu Stone Circles: A Comparison between U-Net and ResNet	ESTCON2024	"Sabah International Cnvention Center Sabah International Cnvention Center Kota Kinabalu Sabah, Malaysia"	10-11 September 2024	Masatoshi Itagaki, Haruhiro Fujita, Toru Miyao, and Kazutaka Kawano
宮尾 亨	Prototype of Point cloud-Captioning Model for Jomon Pottery	ESTCON2024	"Sabah International Cnvention Center Sabah International Cnvention Center Kota Kinabalu Sabah, Malaysia"	10-11 September 2024	Eisuke Chikayama, Haruhiro Fujita, Toyohisa Nakada and Toru Miyao
宮尾 亨	SimCLR 法による土器部品と個体の可視化	考古文化財ディープラーニング研究会 (第 7 回)	新潟国際情報大学	令和 7 年 3 月 29 日	
宮尾 亨	縄文土器分類の複雑さ-型式分類の難しさ	考古文化財ディープラーニング研究会 (第 7 回)	新潟国際情報大学	令和 7 年 3 月 29 日	
宮尾 亨	縄文土器点群-キャプション生成 AI モデルの開発-試作モデル文章生成結果および高解像度モデルの開発経過-	日本情報考古学会第 50 回大会	高千穂大学 (杉並キャンパス)	令和 7 年 3 月 30 日	
宮尾 亨	縄文土器 3D データを用いた型式分類モデルの開発	日本情報考古学会第 50 回大会	高千穂大学 (杉並キャンパス)	令和 7 年 3 月 30 日	
渡部浩二	八十里越を通過した越後の人々	「近世日本における単身女性の地域間移動 - ジェンダー・家・周縁・媒介者 -」研究会	クロスバール新潟	令和 6 年 9 月 14 日	
渡部浩二	江戸時代における佐渡相川金銀山の鉱脈と鉱石の認識について	資源・素材学会 2025 年度春季大会	千葉工業大学	令和 7 年 3 月 14 日	
前嶋 敏	戦国期越後における堺相論と権力	第 74 回新潟史学会大会	新潟大学	令和 6 年 11 月 2 日	
田邊 幹	災害時に地域博物館が期待されることー新潟県中越大地震と文化財レスキューー	ミュージアムマネージメント学会第 29 回大会	新潟県立歴史博物館	令和 6 年 6 月 1 日	
橋詰 潤	長野県木曾町西又 II 遺跡出土の有茎尖頭器を伴う石器群の再検討	第 22 回日本旧石器学会 2024 年度総会・研究発表・シンポジウム	岡山理科大学	令和 6 年 6 月 22 日・23 日	橋詰潤, 会田進, ポスター発表
橋詰 潤	静岡県浜松市行者穴遺跡の発掘調査	第 22 回日本旧石器学会 2024 年度総会・研究発表・シンポジウム	岡山理科大学	令和 6 年 6 月 22 日・23 日	山岡拓也, 新美倫子, 石原与四郎, 橋詰潤, 井口智博, 高倉純, ポスター発表
岩瀬春奈	民間信仰と宗教組織	柳田國男記念伊奈民俗学研究所研究発表会『上郷飯沼の民俗』刊行報告会 2	飯田市美術博物館	令和 6 年 5 月 26 日	
岩瀬春奈	歴史と民俗からみる憑物習俗	日本民俗学会第 76 回年会	國學院大學	令和 6 年 10 月 27 日	

コ 高等教育機関（大学等）への年間講師派遣一覧

氏名	科目名	出講先
浅井勝利	博物館情報・メディア論	長岡造形大学
浅井勝利	地域から文化を考える	新潟大学
浅井勝利	歴史と文化	長岡崇徳大学
浅井勝利	新潟の風土と歴史	新潟薬科大学
渡部浩二	技術からみた歴史探究	長岡技術科学大学
渡部浩二	近世越後諸地域の歴史と社会	新潟大学
渡部浩二	新潟の風土と歴史	新潟薬科大学
前嶋 敏	技術からみた歴史探究	長岡技術科学大学
前嶋 敏	文化財学概論	長岡造形大学
前嶋 敏	新潟の風土と歴史	新潟薬科大学
田邊 幹	長岡学	長岡造形大学
田邊 幹	歴史と文化	長岡崇徳大学
田邊 幹	新潟の風土と歴史	新潟薬科大学
三国信一	日本の伝統芸能	新潟産業大学
三国信一	新潟の風土と歴史	新潟薬科大学
三国信一	文化財学概論	長岡造形大学
三国信一	博物館資料論	長岡造形大学
橋詰 潤	新潟の風土と歴史	新潟薬科大学
橋詰 潤	文化財学概論	長岡造形大学

サ ホームページによる研究内容の公開

宮尾 亨：文部科学省科学研究費補助金 基盤研究C「博物館における縄文食プログラム策定の基礎資料収集及び新分析手法の開発」の成果を公開

<https://ameblo.jp/niigatarekihaku/>

<http://sites.google.com/site/torum01/jomon-foods>

シ 編集に参画した学術研究出版物（図録・紀要・報告書等）

特になし

ス 研究協力等一覧

協力者	協力事業	協力先
浅井勝利	佐藤田遺跡出土墨書土器調査	魚沼市教育委員会
浅井勝利	高札解読調査	柏崎市教育委員会
宮尾 亨	史跡沖ノ原遺跡調査整備指導委員会	津南町教育委員会
宮尾 亨	笹山縄文広場整備検討委員会	十日町市教育委員会
渡部浩二	歴史の道八十里越調査保存整備委員会	只見町教育委員会
渡部浩二	修復予定資料（佐渡金銀山絵巻）の調査協力	国立科学博物館
渡部浩二	日本鉱業史研究会理事	日本鉱業史研究会
前嶋 敏	中央史学会評議員	中央史学会
三国信一	新潟県民具学会事務局	新潟県民具学会
三国信一	新潟県民俗学会理事	新潟県民俗学会
三国信一	出雲崎大祭調査	出雲崎町教育委員会
橋詰 潤	新潟県考古学会役員	新潟県考古学会
橋詰 潤	日本ジオパーク委員会委員	日本ジオパーク委員会
橋詰 潤	糸魚川ジオパーク協議会アドバイザー	糸魚川ジオパーク協議会
橋詰 潤	日本旧石器学会役員	日本旧石器学会
永瀬史人	日本文化財科学会実行委員	日本文化財科学会
岩瀬春奈	出雲崎大祭調査	出雲崎町教育委員会

セ 展示等協力

田邊 幹	山本五十六記念館企画展示委員	山本元帥景仰会
田邊 幹	阪之上小学校伝統館運営委員	阪之上小学校
田邊 幹	長岡戦災資料館企画運営委員会アドバイザー	長岡市庶務課
田邊 幹	重要文化財五十嵐邸修理委員会	阿賀町教育委員会

ソ 講演等一覧

講演者	講演タイトル	講座名等	会場	期日
浅井勝利	『源氏物語』の基礎知識		田上町交流会館	令和6年9月5日
宮尾 亨	土偶	縄文学校	上越市片貝縄文館	令和6年8月17日
宮尾 亨	ジェンダー考古学（縄文編）		新潟県埋蔵文化財センター	令和6年10月27日
宮尾 亨	小林コレクションの世界へようこそ	小林達雄コレクション展	長岡市中央公民館3B教室（さいわいプラザ3階）	令和6年11月30日

陳 玲	越後の木綿		新潟市北区郷土博物館	令和6年6月1日
陳 玲	アングインと越後上布・小千谷縮の話	高齢者大学講座	アトリウム長岡	令和6年6月12日
渡部浩二	鉱山絵巻からみる佐渡金銀山の技術と社会		甲斐黄金村・湯之奥金山博物館	令和6年10月6日
渡部浩二	世界遺産「佐渡島の金山」と鉱山技術	令和6年度砂防講演会（県土木部砂防課）	万代シルバーホテル（新潟市）	令和6年11月22日
渡部浩二	絵巻物からみた佐渡金銀山	令和6年度多田銀銅山悠久の館企画展関連イベント講演会	兵庫県猪名川町生涯学習センター	令和7年2月2日
渡部浩二	お菓子と新潟	茶道裏千家淡交会新潟青年部講演会	新潟ユニゾンプラザ	令和7年3月9日
田邊 幹	長岡藩の一兵士の日記にみる北越戊辰戦争	歴史講座	柏崎市高田コミュニティセンター	令和6年6月14日
田邊 幹	北前船が運んだもの	企画展関連講演会	新潟市歴史博物館	令和6年8月24日
田邊 幹	新潟県における文化財レスキューー県立歴史博物館の活動を中心にー	新潟県文化財保存活用講習会	zoom	令和6年10月10日
田邊 幹	長岡藩銃卒の出陣日誌からみた長岡城攻防戦	長岡郷土史研究会・長岡市歴史文書館古文書解説講座「古文書に見る長岡のすがた」	長岡市歴史文書館	令和6年10月23日
三国信一	佐渡から見た先駆植物の霊力	博物館カフェ（第5回）	佐渡博物館	令和7年3月19日
永瀬史人	職業としての考古学	考古学概説	青山学院大学	令和7年1月27日
岩瀬春奈	地域の祭り・神社の祭り		金峯神社	令和6年8月7日

## (5) 被災文化財の救済活動

### ア 中越大震災・中越沖地震

平成16年10月23日の中越大震災以降、当館では地域貢献の一環として災害復興への一翼を担うべく、各市町村教育委員会や新潟歴史資料救済ネットワークと連携して、地域の資料の救済（一時預かり）を行っている。

#### 新潟県中越大震災

所蔵者	資料	状態
(個人)	屏風・軸装品・古文書・焼物・漆器	一時預かり継続中
薬師堂(野田)	薬師如来像、薬師堂関連写真(乾板含)、薬師堂建築部材等	一時預かり継続中

#### 新潟県中越沖地震

所蔵者	資料	状態
二田物部神社	狛犬、徳川朱印状ほか 約700点	一時預かり継続中
超願寺	古文書19通、什器13件	一時預かり継続中

### イ 令和6年能登半島地震

令和6年1月1日に発生した能登半島地震による被災文化財の救済活動である、文化庁「令和6年能登半島地震被災文化財等救援事業、被災建造物復旧支援事業の事業」(受託:国立文化財機構、事務局:文化財防災センター)に、7月15日から19日まで岩瀬春奈研究員が参加し、輪島市、能登町において文化財レスキュー活動を行った。

## (6) 新潟県地域史研究ネットワーク

県内歴史研究のセンター的役割を果たすため、県内の地域史関係者及び郷土史研究団体のネットワーク形成と、それに伴う関連情報の集約と発信を担う組織として、平成 22 年度末に「新潟県地域史研究ネットワーク」を立ち上げた。

令和 6 年度は、趣旨に賛同する 22 団体の協力を得て、以下の事業を事務局として実施した。

- ・ SNS (Facebook、Twitter 等) による情報の発信。
- ・ 「新潟県地域史研究ネットワークニュース」の発行 (毎月、新潟県地域史に関する研究情報等を集約し、会員各団体に送付。)
- ・ 「新潟県地域史関係文献目録」 (『研究紀要』に 1 年間の地域史研究に関する文献目録を掲載。)
- ・ IPM 研修会 (4 月、新潟県立歴史博物館)
- ・ 「れきはく通信」の配信 (令和 6 年 12 月より開始。学芸課を中心に研究情報等を記事とし、会員各団体に送付、刊行物としてホームページ公開。不定期刊行、令和 7 年 3 月時点で第 4 号まで配信。)
- ・ 各員団体への所属意向確認 (3 団体が辞退)

## 2 交流普及事業概要

### (1) 講座

当館研究員の「調査・研究」活動の成果を広く県民に普及する場として、また、県民の多様なニーズに即した生涯学習の場とするため、講座を開講している。

館内講座・出前講座を合わせ、合計で1,752人の参加を得た。

#### ① 館内講座

令和6年度は、講演会・講座・体験型講座を計29回開催した。内容及び担当者・参加人数は下表のとおりであり、合計で1,078人の参加を得た。

	月日	曜日	内容	担当者	人数
1	5月11日	土	浮世絵の楽しみ方	田邊 幹	71
2	5月18日	土	ゾウの来た・ゾウのいた日本列島	橋詰 潤	28
3	5月25日	土	はじめてのくずし字	本多 園子	21
4	6月15日	土	古文書講座「古文書読解のツボ」①	田邊 幹	33
5	6月22日	土	古文書講座「古文書読解のツボ」②	田邊 幹	27
6	6月29日	土	古文書講座「古文書読解のツボ」③	田邊 幹	34
7	7月6日	土	古文書講座「古文書読解のツボ」④	田邊 幹	31
8	7月6日	土	地域の資料館・博物館の現地見学ツアー1回目	陳 玲	8
9	7月20日	土	地域の資料館・博物館の現地見学ツアー2回目	陳 玲	10
10	7月21日	日	佐渡文弥人形上演会 第一部	学芸課	98
11	7月21日	日	佐渡文弥人形上演会 第二部	学芸課	122
12	7月27日	土	博物館のうらがわ探検ツアー	三国 信一	10
13	8月10日	土	佐渡に流された人々	浅井 勝利	88
14	8月18日	日	「佐渡島の金山」の世界遺産登録	澤田 敦氏 <small>(新潟県観光文化スポーツ部文化課世界遺産登録推進室長)</small>	61
15	9月28日	土	石器鑑賞入門4「ニイガタの石で身をかざる」	橋詰 潤	30
16	10月12日	土	縄文時代のムラと形 一馬高遺跡・三内丸山遺跡の集落を考える一	永瀬 史人	30
17	10月19日	土	江戸時代を探る～前編・後編～	渡部 浩二	25
18	10月26日	土	江戸時代を探る～前編・後編～	渡部 浩二	21
19	11月9日	土	古文書講座 源氏物語を読む	浅井 勝利	21
20	11月16日	土	古文書講座 源氏物語を読む	浅井 勝利	21
21	11月30日	土	古文書講座 「宝翰集を読み解く～前編・後編～」	前嶋 敏	29
22	12月7日	土	古文書講座 「宝翰集を読み解く～前編・後編～」	前嶋 敏	27
23	1月18日	土	火炎土器の突起をつくる	宮尾 亨	16
24	2月1日	土	縄をつくる・縄文をつくる	宮尾 亨	14
25	2月15日	土	研究の進展から見た「縄文人の世界」	宮尾 亨	40
26	2月22日	土	『遠野物語』を読む①～動物の伝承を考える～	岩瀬 春奈	21
27	3月1日	土	縄文時代の再葬墓と出土人骨	永瀬 史人	26
28	3月8日	土	山口賢俊と民具コレクション	三国 信一	82
29	3月15日	土	『遠野物語』を読む② ～ザシキワラシの伝承を考える～	岩瀬 春奈	33

② 出前講座

令和6年度の出前講座は、11の市町村で計23回にわたり開催した。内容及び担当者・参加人数は下表のとおりであり、合計で674人の参加を得た。

	月 日	曜	会場	内容	担当者	人数
1	5月14日	火	小千谷市民会館ホール	お菓子と新潟～江戸時代を中心に～	渡部浩二	87
2	5月26日	火	聖籠町町民会館	はにわとどごう ・オリンピックとバンパク	宮尾 亨	6
3	6月1日	土	見附市中央公民館	新潟県の石 ヒスイ	橋詰 潤	23
4	6月11日	火	上越市有田地区公民館	アンギンと越後上布・小千谷縮の話	陳 玲	20
5	6月19日	水	山通コミュニティセンター	氷河期の新潟県と人の暮らし	橋詰 潤	10
6	6月29日	土	西川地区公民館	飛び道具と人類	橋詰 潤	23
7	7月5日	金	神田コミセン	井上円了の妖怪学	田邊 幹	40
8	7月6日	土	三和地区公民館	土偶をつくろう	宮尾 亨	5
9	7月16日	火	米山コミセン	『源氏物語』の基礎知識	浅井勝利	15
10	7月18日	木	新潟市生涯学習センター	お菓子と新潟～江戸時代を中心に～	渡部浩二	57
11	7月20日	土	阿賀町公民館	『源氏物語』の基礎知識	浅井勝利	34
12	7月24日	水	三条市中央公民館	『源氏物語』の基礎知識	浅井勝利	58
13	8月7日	水	見附市中央公民館	火焰土器の鶏頭冠をつくる	宮尾 亨	9
14	9月19日	木	三条東公民館	年中行事と食の民俗	三国信一	33
15	9月21日	土	見附市今町公民館	北前船が運んだもの	田邊 幹	31
16	9月25日	水	燕市中央公民館	直江兼続とその時代	前嶋 敏	71
17	10月5日	土	下条コミュニティセンター	『酒井氏文書』から 戦国時代を考える	前嶋 敏	37
18	10月11日	金	三条市大崎会館	江戸時代の旅と越後の観光名所	渡部浩二	14
19	10月22日	火	アミューズメント佐渡	新潟の裂き織と刺子の話	陳 玲	45
20	11月6日	水	出雲崎町中央公民館	交流による集落維持の可能性 ～山古志木籠ふるさと会の模索～	三国信一	16
21	11月9日	土	見附市葛巻公民館	戦国時代の女	前嶋 敏	14
22	2月8日	土	新発田市立歴史図書館	近代日本におけるメディアと絵葉書 (荒天により中止)	田邊 幹	
23	3月1日	土	胎内市美術館	新潟県下の布づくりをめぐる 生活文化	陳 玲	14
24	3月22日	土	見附市北谷公民館	おふだと呪物崇拜	三国信一	12

③ サイノカミ

開館した平成12年度より、関原町サイノカミ有志の会と協働で、毎年小正月の時期の日曜日に新潟県の冬の民俗行事「サイノカミ」を実施している。これまでの実施期日、参加者数は以下のとおりである。

年度	期日	参加者数	年度	期日	参加者数
H12年度	H13年1月14日	230人	H25年度	H26年1月12日	500人
H13年度	H14年1月13日	750人	H26年度	H27年1月11日	500人
H14年度	H15年1月12日	620人	H27年度	H28年1月17日	650人
H15年度	H16年1月11日	520人	H28年度	H29年1月15日	500人
H16年度	H17年1月16日	800人	H29年度	H30年1月14日	600人
H17年度	H18年1月15日	760人	H30年度	H31年1月13日	700人
H18年度	H19年1月14日	780人	R1年度	R2年1月12日	800人
H19年度	H20年1月13日	800人	R2年度	R3年2月28日	200人
H20年度	H21年1月11日	500人	R3年度	R4年1月16日	240人
H21年度	H22年1月17日	700人	R4年度	R5年1月15日	380人
H22年度	H23年1月16日	500人	R5年度	R6年1月14日	600人
H23年度	H24年1月15日	750人	R6年度	R7年1月12日	800人
H24年度	H25年1月13日	750人			



令和7年1月12日のサイノカミ

## (2) 体験プログラム

令和6年度、実施した体験プログラムの内容・日時等は下記のとおりである。59回実施し、総計で1,872人の参加を得た。

- ① まが玉を作ろう（2回、計17人）  
滑石を削り、縄文時代～古墳時代の人々が身につけていたまが玉を作る体験。
- ② 「動物絵」缶バッジを作ろう（4回、225人）  
企画展「動物たちの浮世絵」展にあわせ、展示資料の画像を使用して缶バッジを作る体験。
- ③ 「動物絵屏風」を作ろう（4回、158人）  
屏風の構造を学びながら、展示資料の画像を使用してミニ屏風を作る体験。
- ④ 昔の遊び道具を体験しよう！（2回、計161人）  
けん玉、コマ、お手玉など、昔の遊び道具を体験。
- ⑤ ミニ灯籠作りに挑戦（2回、計34人）  
灯籠流しで使用するサイズよりも小さめの灯籠を作る体験。
- ⑥ 小判を作ろう（2回、計221人）  
オープン粘土をシリコンの型に入れて小判の形を作り、当時の技法を取り入れて模様をつける体験。
- ⑦ プラ板で縄文キーホルダーを作ろう（1回30人）  
火焰型土器などの縄文イラストを透明のプラ板に書き写し、キーホルダーを作る体験。
- ⑧ 紙芝居読み聞かせ（1回、23人）  
企画展「大・佐渡島」にあわせて紙芝居「こがねの山」や、長岡空襲に関連させ「長岡空襲 みちこのいのち 長岡空襲体験者・七里アイさんの証言より」と「かわいそうなぞう」の読み聞かせ。
- ⑨ さき織りでコースター作りに挑戦（3回、計67人）  
古い布を裂き、新たに糸とし、新しい布を織るという伝統文化のさき織りの体験。
- ⑩ 謙信・兼続に変身（3回、計124人）  
上杉謙信や直江兼続の鎧（※模造品）を身に付けて、戦国武将に変身する体験。
- ⑪ ヒスイ色の飾り—縄文時代の「大珠」を作ろう（4回、計130人）  
シリコン型に、4色のオープン粘土を混ぜ合わせヒスイ色を再現して縄文時代の「大珠」を作る体験。
- ⑫ まが玉&くだ玉でネックレスを作ろう（3回109人）  
滑石をけずってまが玉を作り、管玉（くだたま）に見たてたストローで飾ってネックレスを作る体験。
- ⑬ 縄文模様コロコロ体験！（3回、計59人）  
縄文文様をオープン粘土につけて加熱し、土器のミニチュアを作る体験。
- ⑭ 切り紙で正月飾り（2回、計43人）  
切り紙で干支などが描かれた型紙を切り抜き、正月飾りを作る体験。
- ⑮ 平安貴族に変身（3回、計57人）  
桂・狩衣を着る体験。
- ⑯ 投扇興をやってみよう（3回、計86人）  
扇子で蝶（的）に当て、その落ちた形などで点数を付けて競う、いにしへの遊びの体験。
- ⑰ 織物模様ストラップ作り（3回、計52人）  
織物などに使われた伝統的な模様をプラスチックの板に写し、ストラップを作る体験。
- ⑱ 雪道具体験（3回、計118人）  
ミノやユキボウを身に着けたり、コスキやカンジキを実際に使ってみる体験。
- ⑲ アンギンでコースター作り（3回、計67人）  
縄文時代の布作りに用いたと考えられるアンギン台で、コースターを作る体験。
- ⑳ 夏休み特別体験（5回、計120人）  
「まが玉を作ろう」2回49人、「火花玉貯金箱作り」1回20人、「魔鏡」1回34人、「刺し子に挑戦」1回17人だった。なお「刺し子に挑戦」と「魔鏡」は、歴博ボランティア企画として実施した。

月 日	曜日	体験プログラム	参加人数
4月 7日	日	まが玉を作ろう	14
4月 14日	日	まが玉を作ろう	3
4月 21日	日	動物絵缶バッジを作ろう	30
4月 28日	日	動物絵缶バッジを作ろう	51
5月 5日	日	動物絵缶バッジを作ろう	104
5月 12日	日	動物絵缶バッジを作ろう	40
5月 19日	日	動物絵屏風を作ろう	31
5月 26日	日	動物絵屏風を作ろう	34
6月 2日	日	動物絵屏風を作ろう	53
6月 9日	日	動物絵屏風を作ろう	40
6月 16日	日	昔の遊び道具を 体験しよう！	18
6月 23日	日	昔の遊び道具を 体験しよう！	55
6月 30日	日	ミニ灯籠作りに挑戦	19
7月 7日	日	ミニ灯籠作りに挑戦	15
7月 14日	日	小判をつくろう	66
7月 21日	日	小判をつくろう	65
7月 23日	火	夏休み特別体験「勾玉」	10
7月 24日	水	夏休み特別体験 「花火玉貯金箱作り」	20
7月 25日	木	夏休み特別体験「魔鏡」	34
7月 26日	金	夏休み特別体験 「刺し子に挑戦！」	17
7月 27日	土	夏休み特別体験「勾玉」	39
7月 28日	日	プラ板で 縄文キーホルダーを作ろう	30
7月 28日	日	小判をつくろう	90
8月 4日	日	紙芝居読み聞かせ	12
8月 11日	日	紙芝居読み聞かせ	19
8月 18日	日	さき織で コースターを作ろう	35
8月 25日	日	さき織で コースターを作ろう	36
9月 1日	日	「謙信・兼続に変身」	23
9月 8日	日	「謙信・兼続に変身」	28

月 日	曜日	体験プログラム	参加人数
9月 15日	日	ヒスイ色の飾り 「縄文時代の大きな珠」を作ろう	46
9月 22日	日	ヒスイ色の飾り 「縄文時代の大きな珠」を作ろう	52
9月 29日	日	ヒスイ色の飾り 「縄文時代の大きな珠」を作ろう	32
10月 6日	日	ヒスイ色の飾り 「縄文時代の大きな珠」を作ろう	36
10月 13日	日	まが玉&管玉で ネックレス作り	30
10月 20日	日	まが玉&管玉で ネックレス作り	22
10月 27日	日	まが玉&管玉で ネックレス作り	57
11月 3日	日	縄文文様コロコロ体験	26
11月 10日	日	縄文文様コロコロ体験	9
11月 17日	日	平安貴族に変身	29
11月 23日	土	切り紙で正月飾りを作ろう	36
11月 24日	日	切り紙で正月飾りを作ろう	36
12月 1日	日	平安貴族に変身	30
12月 8日	日	平安貴族に変身	39
12月 15日	日	投扇興をやってみよう	15
12月 22日	日	投扇興をやってみよう	5
1月 5日	日	投扇興をやってみよう	16
1月 12日	日	サイノカミ	
1月 19日	日	織物模様ストラップ作り	24
1月 26日	日	織物模様ストラップ作り	15
2月 2日	日	織物模様ストラップ作り	13
2月 9日	日	雪道具体験	47
2月 16日	日	雪道具体験	34
2月 23日	日	雪道具体験	37
3月 2日	日	アングインでコースター作り	15
3月 9日	日	アングインでコースター作り	37
3月 16日	日	アングインでコースター作り	15
3月 23日	日	昔の遊び道具を体験しよう	53
3月 30日	日	昔の遊び道具を体験しよう	35

(3) 視察・団体受け入れ状況

観覧料等免除申請書（新潟県立歴史博物館規則第9条第1項に基づく第4号様式）や視察依頼書等、または電話により受け入れた視察・団体について、小学校（延べ117校5,964人）中学校（延べ25校1,439人）高校（延べ5校74人）特別支援学校（延べ9校81人）大学等（延べ11校152人）、幼稚園・保育園（延べ7園205人）その他（延べ169団体1,959人）に分けて表に示す。人数はできる限り実際の数値としたが、実数が確認できず、申請書等の記載によるものも含まれる。なお、職場体験で館内見学・作業等を実施した学校団体を含む。

令和6年度分  
（小学校）

No	月	日	曜	団体	人数	案内	質問	解器	鑑蔵	体験	備考
1	4	25	木	文京区立学校職員実地調査	35						下見
2	5	17	金	伊勢崎市教育委員会	26						視察
3	5	19	日	佐渡・赤泊小職員	2						下見
4	5	22	水	長岡・四郎丸小6年	63	○	○				
5	5	30	木	刈羽・刈羽小6年	40	○	○			○	まが玉
6	5	31	金	長岡・川崎東小6年	46	○	○			○	まが玉
7	6	4	火	長岡・枳尾南小6年	41	○	○			○	火起こし
8	6	4	火	柏崎・荒浜小6年	36	○	○			○	まが玉
9	6	4	火	魚沼・伊米ヶ崎小6年	15	○	○			○	火起こし
10	6	5	水	見附・葛巻小6年①	40	○	○			○	まが玉
11	6	5	水	三条・飯田小6年	15	○	○			○	まが玉
12	6	5	水	長岡・前川小6年	45	○	○			○	まが玉
13	6	6	木	長岡・豊田小6年	102	○	○			○	まが玉
14	6	7	金	見附・葛巻小6年②	39	○	○			○	まが玉
15	6	12	水	柏崎・北条小6年	16	○	○			○	まが玉
16	6	12	水	小千谷・和泉小6年	19	○	○			○	まが玉
17	6	12	水	長岡・新組小3・6年	21	○	○				
18	6	12	水	文京区立昭和の小6年	152	○	○			○	まが玉
19	6	12	水	文京区立誠之小6年	151	○	○				
20	6	13	木	佐渡・赤泊小6年	15	○	○			○	まが玉
21	6	13	木	柏崎・北鯖石小6年	22	○	○			○	まが玉
22	6	14	金	長岡・信条小	52					○	まが玉
23	6	14	金	柏崎・田尻小6年	70	○	○			○	まが玉
24	6	18	火	柏崎・枇杷島小6年	55	○	○			○	まが玉
25	6	18	火	長岡・和島小6年	33	○	○			○	まが玉
26	6	19	水	燕・燕南小6年	56	○	○				
27	6	19	水	文京区立駕籠町小6年	71	○	○			○	まが玉
28	6	20	木	長岡・日越小6年	77	○	○			○	まが玉
29	6	20	木	文京区立汐見小6年	76	○	○			○	まが玉
30	6	21	金	佐渡・七浦小6年	6	○	○			○	まが玉
31	6	21	金	柏崎・二田小6年	20	○	○			○	まが玉
32	6	21	金	柏崎・横原小6年	35	○	○			○	まが玉
33	6	25	火	長岡・浦瀬小6年	19	○	○			○	まが玉
34	6	25	火	長岡・栖吉小6年	58	○	○			○	火起こし
35	6	25	火	長岡・関原小6年	70	○	○			○	火起こし
36	6	26	水	長岡・才津小6年	25	○	○			○	まが玉
37	6	26	水	文京区立千駄木小6年	158	○	○			○	まが玉
38	6	27	木	長岡・桂小5・6年	12	○	○			○	まが玉
39	6	27	木	柏崎・日吉小6年	21	○	○				
40	6	28	金	佐渡・加茂小6年	36	○	○			○	まが玉
41	6	28	金	柏崎・中通小5・6年	23	○	○			○	まが玉
42	7	2	火	文京区立関口台町小6年	92	○	○			○	まが玉
43	7	2	火	長岡・日吉小5・6年	15	○	○			○	まが玉
44	7	3	水	長岡・中島小6年	24	○	○			○	まが玉
45	7	3	水	文京区立明化小6年	51	○	○			○	まが玉
46	7	4	木	柏崎・米山小5・6年	11	○	○			○	まが玉
47	7	4	木	長岡・下川西小6年	13	○	○			○	まが玉
48	7	5	金	長岡・川崎小3年	61	○	○			○	昔遊び
49	7	5	金	長岡・大積小6年	3	○	○				
50	7	5	金	見附・上北谷小5・6年	15	○	○		○		
51	7	9	火	文京区立青柳小6年	81	○	○			○	まが玉
52	7	9	火	南魚沼・城内小6年	47	○	○			○	まが玉
53	7	10	水	文京区立駒本小6年	81	○	○			○	まが玉
54	7	10	水	文京区立大塚小6年	56	○	○			○	まが玉
55	7	11	木	三条・長沢小6年	18	○	○			○	まが玉
56	7	11	木	文京区立小日向台町小6年	107	○	○			○	まが玉
57	7	12	金	長岡・神田小6年	30	○	○			○	まが玉
58	7	17	水	魚沼・湯之谷小6年	38	○	○			○	まが玉
59	7	17	水	柏崎・大洲小6年	12	○	○			○	まが玉

60	7	17	水	群馬県・玉村小5年	71	○	○				
61	7	18	木	柏崎・柏崎小6年	65	○	○			○	まが玉
62	7	18	木	長岡・越路小6年	101	○	○				
63	7	18	木	群馬県玉村町立南小5年	52						
64	7	18	木	長岡・越路西小職員	1						下見
65	7	19	金	長岡・越路西小6年	28	○	○			○	まが玉
66	7	19	金	群馬県上陽小5年	43	○	○			○	雪道具
67	7	20	土	伊勢崎市立名和小5年	79						
68	7	23	火	武蔵野市立第三小職員	5						下見
69	7	24	水	伊勢崎市立宮郷第二小5年	98						
70	7	30	火	伊勢崎市立茂呂小5年	136						
71	8	25	日	南魚沼・城内小職員	3						下見
72	8	27	火	三条・大崎学園6年	101	○	○			○	まが玉
73	9	11	水	文京区立金富小6年	98	○	○				
74	9	11	水	長岡・川崎東小3年	58	○				○	昔遊び
75	9	19	木	新潟・葛塚小6年	98	○	○				
76	9	22	日	武蔵野市立第一小5年	20						
77	9	25	水	文京区立指ヶ谷小6年	67	○	○			○	まが玉
78	9	28	土	武蔵野市立第三小5年	79	○	○			○	まが玉
79	10	9	水	文京区立林町小6年	112	○					
80	10	9	水	文京区立本郷小6年	134	○				○	まが玉
81	10	24	木	三条・嵐南小6年①	91	○				○	まが玉
82	10	25	金	三条・嵐南小6年②	64	○				○	まが玉
83	10	29	火	南魚沼・城内小3年	36	○					
84	11	1	金	長岡・黒条小3年	83	○				○	雪道具
85	11	1	金	長岡・宮内小1年	76	○				○	昔遊び
86	11	8	金	長岡・十日町小6年	15	○	○			○	まが玉
87	11	13	水	柏崎・鯖石小5・6年	16	○	○			○	火起こし
88	11	14	木	長岡・大島小3年	111	○	○			○	雪道具
89	11	15	金	長岡・希望ヶ丘小3年	52	○	○			○	雪道具
90	11	19	火	長岡・柿小	13	○	○				
91	11	19	火	湯沢小1年	46					○	昔遊び
92	11	21	木	長岡・宮内小3年	81	○	○			○	雪道具
93	11	26	火	長岡・千手小3年	59	○	○			○	雪道具
94	11	26	火	魚沼・広神西小6年	24	○	○			○	まが玉
95	11	27	水	魚沼・宇賀地小6年	11	○				○	
96	11	28	木	長岡・越路小2年	79	○				○	まが玉
97	11	28	木	南魚沼・大崎小1年	13						
98	12	3	火	長岡・中島小3年	38	○	○			○	雪道具
99	12	3	火	長岡・表町小3年	18	○	○			○	雪道具
100	12	5	木	上越・大町小5年	37	○	○				
101	12	12	木	見附・今町小6年	31	○	○				
102	12	13	金	南魚沼・石打小6年	23	○	○			○	まが玉
103	12	19	木	見附・今町小6年	29	○	○				
104	1	17	金	長岡・栖吉小3年	69	○	○			○	雪道具
105	1	21	火	長岡・日越小3年	89	○	○			○	昔遊び
106	1	24	金	江戸川区立西葛西小5年	124						
107	1	29	水	小千谷・吉谷小3・4年	17	○	○			○	雪道具
108	2	2	日	出雲崎小職員	1						下見
109	2	4	火	出雲崎小3年	33	○	○			○	雪道具
110	2	6	木	長岡・才津小3年	14	○	○			○	雪道具
111	2	7	金	長岡・和島小3年	25	○	○			○	昔遊び
112	2	18	火	長岡・上川西小3年	98	○	○			○	雪道具
113	2	20	木	長岡・東谷小1・3・4年	16	○	○			○	雪道具
114	2	20	木	長岡・東谷小6年	9	○	○				まが玉
115	2	21	金	長岡・附属小3年	71	○	○			○	雪道具
116	2	27	木	長岡・岡南小3年	17	○	○			○	昔遊び
117	3	4	火	長岡・豊田小3年	129	○	○			○	雪道具
合 計					5964	102	91				84

(中学校)

Table with 11 columns: No, 月日, 曜, 団体, 人数, 案内, 質問, 解器, 聴機, 体験, 備考. Rows include activities like '越路中職員', '足立区立第四中1年', etc.

(高等学校)

Table with 11 columns: No, 月日, 曜, 団体, 人数, 案内, 質問, 解器, 聴機, 体験, 備考. Rows include '高文連新聞専門部', '新潟中央高校新聞部', etc.

(特別支援学校等)

Table with 11 columns: No, 月日, 曜, 団体, 人数, 案内, 質問, 解器, 聴機, 体験, 備考. Rows include '長岡聾学校職員', '長岡聾学校中学部', etc.

(大学等)

Table with 11 columns: No, 月日, 曜, 団体, 人数, 案内, 質問, 解器, 聴機, 体験, 備考. Rows include '新潟大学片桐ゼミ', '長岡技術科学大学', etc.

(幼稚園・保育園)

Table with 11 columns: No, 月日, 曜, 団体, 人数, 案内, 質問, 解器, 聴機, 体験, 備考. Rows include '長峰幼稚園', '希望が丘保育園', etc.

Summary table with 11 columns: No, 月日, 曜, 団体, 人数, 案内, 質問, 解器, 聴機, 体験, 備考. Total counts: 205, 1, 1.

(その他)

Table with 11 columns: No, 月日, 曜, 団体, 人数, 案内, 質問, 解器, 聴機, 体験, 備考. Rows include '全銀連合関東地区', 'ミティラー美術館', etc.

73	9月3日	火	NHK	1					○	取材
74	9月4日	水	関原子ども園	3						下見
75	9月6日	金	上越市身体障害者連合協議会	41						
76	9月7日	土	縄文と信濃の地元グルメツアー	39	○					
77	9月7日	土	トラベルマスターズ	12	○					まが玉
78	9月10日	火	阿賀町ふるさとカレッジ	25	○					
79	9月12日	木	グループホームなでしこ	4						
80	9月13日	金	越路子ども園職員	3						下見
81	9月19日	木	富山県福岡観光旅行社	34						
82	9月19日	木	居いブレイス	11						
83	9月19日	木	やいろの里	20						
84	9月19日	木	群馬県少年友の会職員	11	○					
85	9月21日	土	長野県下諏訪観光振興局	7	○					
86	9月21日	土	毎日新聞	1						取材
87	9月25日	水	かつぼ園	13						
88	9月26日	木	新潟日報	1						取材
89	10月5日	土	大学南が丘自治会	26	○					
90	10月6日	日	阪急交通社	12						
91	10月8日	火	松本食品衛生協会	14						
92	10月8日	火	FMながおか	1					○	取材
93	10月10日	木	聖教新聞	1						取材
94	10月14日	月	関原商工会	3					○	
95	10月17日	木	団体	3						下見
96	10月19日	土	団体	2						下見
97	10月20日	日	燕市野中才自治会	20						
98	10月20日	日	大島本町5丁目子ども会	18						
99	10月20日	日	団体	3						下見
100	10月22日	火	福祉事務所トムソーヤ	37						まが玉
101	10月23日	水	関原こども園	71						まが玉
102	10月23日	水	国土交通省職員	18						
103	10月23日	水	ハロー観光	21	○					
104	10月24日	木	新潟県警察学校	9	○					
105	10月24日	木	国際交流サービス	26	○					
106	10月24日	木	台湾教育旅行視察団	9	○					まが玉
107	10月25日	金	五十嵐小文治館跡保存会	8						下見
108	10月27日	日	富島子ども会	17	○					火起こし
109	10月27日	日	能生地区公民館	28						
110	10月27日	日	新潟カルチャーツーリズム	6						
111	10月29日	火	すみよし若葉会	12						
112	10月30日	水	五十嵐小文治館跡保存会	15						
113	11月1日	金	下条地区振興会	12	○				○	
114	11月2日	土	団体	15						
115	11月6日	水	佐渡浦島旅行友の会	24					○	
116	11月10日	日	ソラヒト日和	37	○					
117	11月12日	火	長野県山之内中央公民館	16						
118	11月13日	水	まちなかキャンパス	1						取材
119	11月14日	木	富田サービスハウス道芝	25						
120	11月15日	金	創造工房コスモス	11						
121	11月17日	日	ハビネス古正寺	15						
122	11月19日	火	やまどおりコミセン	7	○					
123	11月19日	火	広報広聴課	5						
124	11月24日	日	希望が丘5丁目子ども会	23	○					まが玉
125	11月26日	火	ソラヒト日和	10	○					
126	11月26日	火	デイサービスセンターいいた	12						
127	11月27日	水	デイサービスセンターいいた	11	○					
128	11月28日	木	デイサービスセンターいいた	5	○					
129	11月29日	金	デイサービスセンターいいた	11	○					
130	11月30日	土	パラシュート	9						
131	12月3日	火	長岡市庶務課	3						
132	12月5日	木	朝日新聞	1						取材
133	12月6日	金	クラブツーリズム	16	○					
134	12月7日	土	長岡100歳大学大学院	3					○	
135	12月7日	土	ワークセンターざおう	7						
136	12月8日	日	新発田市県民少年団	10					○	
137	12月13日	金	NHK 大阪	4						
138	12月13日	金	米沢市上杉博物館	1						
139	12月14日	土	長岡ロータリークラブ	66						
140	1月16日	木	国際自然環境アウトドア専門学校	13						
141	1月18日	土	中国駐新潟総領事館	18						
142	2月8日	土	新潟日報	1						取材
143	2月8日	土	長岡新聞	1						取材
144	2月8日	土	朝日新聞	1						取材
145	2月15日	土	第四北越銀行	4						
146	2月17日	月	FMながおか	1						取材
147	2月19日	水	NHK ワールド	1						取材
148	2月28日	金	NHK ワールド	3						取材
149	2月28日	金	新潟市都市政策部	3	○					
150	3月1日	土	団体	6						
151	3月4日	火	ソラヒト日和	13	○					
152	3月4日	火	潮風会	16						
153	3月11日	火	巻わくわくクラブ	2						下見
154	3月12日	水	NST	2						取材

155	3月12日	水	団体	3						
156	3月13日	木	長岡100歳大学大学院	2						
157	3月15日	土	ちょこっ trip	22						
158	3月16日	日	北方文化博物館職員	1						視察
159	3月19日	水	集いの場にじいろ	9						
160	3月20日	木	民俗マンスリー編集委員	5						
161	3月20日	木	団体	2						
162	3月20日	木	団体	3						
163	3月21日	金	湯沢雪国館	3						
164	3月22日	土	民俗学研究団体	8						
165	3月22日	土	ぶらざーサポートセンターいずみぎ	11						
166	3月23日	日	ハビネス古正寺	13						
167	3月26日	水	巻わくわくクラブ	13						
168	3月27日	木	新潟県庁職員	1						視察
169	3月28日	金	団体	8						
合 計				1959	35					8

#### (4) 出前授業

県内の小学校・高等学校から出前授業の要請があり、延べ15校において下表のように実施した。

	実施日	時間	学校名	学年	人数	担当	内容等
1	5月17日	10:00~11:00	長岡・青葉台中学校	1	54	松谷・石井	丘陵公園で火おこし体験
2	5月31日	9:00~15:00	長岡・阪之上小学校	5	46+3(職員)	田邊	前嶋神社、朝日山古戦場にて戊辰戦争解説
3	6月7日	10:35~11:00	長岡総合支援学校	中学部 2年	20 +11(保護者)	松谷	まが玉
4	6月11日	14:40~15:40	南魚沼・栃窪小学校	3~6	8+2(職員)	松谷・石井	クラブ活動にてまが玉を制作
5	6月17日	9:30~10:30	小千谷・東山小学校	5・6	5	松谷	まが玉
6	6月28日	13:40~15:00	小千谷・千田小学校	6	21+1(職員)	本多	まが玉
7	9月14日	9:30~12:00	長岡・千手小学校		21	松谷・石井	図書館開放イベントにてまが玉を制作
8	1月24日	9:50~11:55	新潟県立巻高等学校	3	14	本多	歴史教養、まが玉
9	1月28日	10:35~11:20	長岡・青葉台小学校	3	48+3(職員)	松谷・岩瀬	昔のくらしと道具
10	1月29日	11:20~12:05	長岡・十日町小学校	3	15+1(職員)	松谷・岩瀬	昔のくらしと道具
11	1月30日	9:50~11:55	新潟県立巻高等学校	3	14	本多	歴史教養、小判作り
12	2月5日	10:25~12:00	長岡・与板小学校	3	39+2(職員)	松谷・石井	昔のくらしと道具
13	2月12日	10:30~12:05	南魚沼・六日町小学校	3	65+2(職員)	松谷・岩瀬	昔のくらしと道具
14	3月5日	10:40~12:15	長岡・豊田小①	3	64+2(職員)	松谷・岩瀬	昔のくらしと道具
15	3月6日	10:40~12:15	長岡・豊田小②	3	63+2(職員)	松谷・岩瀬	昔のくらしと道具

## (5) 職場体験

県内の中学校より依頼があり、希望する生徒を受け入れた。受け入れた期日・学校・人数は下記のとおり、5校、延べ32名だった。

No.	期日	学校名(学年)	人数	体験内容
1	7月2日(火)	長岡・関原中2年	5名	講義、見学、監視体験、体験用具準備
2	7月3日(水)	長岡・関原中2年	5名	体験用具準備・片付、バックヤード見学
3	7月4日(木)	長岡・関原中2年	5名	体験用具準備、SNS体験
4	7月23日(火)	長岡・青葉台中2年	1名	講義、SNS体験、バックヤード見学
5	7月24日(水)	長岡・青葉台中2年	1名	体験用具準備、監視体験
6	9月19日(木)	長岡・大島中2年	3名	講義、バックヤード見学、SNS体験
7	9月20日(金)	長岡・大島中2年	3名	監視体験、体験用具準備・片付
8	9月24日(火)	長岡・江陽中2年	3名	講義、体験用具準備
9	9月25日(水)	長岡・江陽中2年	3名	SNS体験、バックヤード見学、体験用具準備
10	9月25日(水)	長岡・西中2年	1名	講義、SNS体験、バックヤード見学
11	9月26日(木)	長岡・江陽中2年	3名	体験用具準備、監視体験
12	9月26日(木)	長岡・西中2年	2名	体験用具準備、監視体験

※9月25日、26日はそれぞれ2校一緒に活動を実施。

## (6) 高校生アカデミック・インターンシップ研修

新潟県教育委員会の主催事業として平成30年度から実施している当事業に、平成31年度から当館も参加し、令和6年度は3名の生徒を受け入れた。詳細は以下のとおりである。

- ・目的 大学等進学希望の生徒に「大学等の向こうにある社会」を意識させ、大学研究室や研究機関などと連携し、将来進む可能性のある学問分野に関連した研究活動等を体験し、大学等への視野を広げ、学習意欲や進路意識を高め、探究する力・課題解決能力等を身につける。
- ・実施日 8月1日(木)・5日(月)
- ・参加者 県立高田北城高等学校(普通科)2年1名、県立国際情報高等学校(普通科)2年2名
- ・内容 「学芸員の仕事を通して、博物館の役割を考える」をテーマに、学芸員がおこなっている資料の収集、整理・保存、調査・研究、展示計画や展示作業などの一部を体験した。最終的には生徒自らが、当館所蔵の江戸時代後期の刷り物「光り物」を題材に、資料の読み取りや解説文の作成、展示作業までを行った。
- ・成果 研修成果の発表として、当館の常設展示室「新潟県のあゆみ」のコーナーにて8月6日(火)～9月29日(日)まで展示した。また、その成果を県立高田北城高等学校にて11月6日(水)～11月20日(水)、県立国際情報高等学校にて11月21日(木)～12月4日(水)に移動展覧会として公開した。研修生は8月28日(水)に新潟県自治会館で行われた事後報告会で研究の成果を発表し、個人の研修成果は『令和6年度高校生アカデミック・インターンシップ研修報告書』(新潟県教育委員会発行)に掲載された。



展示作業と展示の様子

### 3 イベント

#### [主 催]

(1) イベント「ミッション中!!2024」

期日：7月13日(土)～8月25日(日)

会場：常設展示室・企画展示室

参加者数：1,432人

内容：常設展示室と企画展示室をめぐってミッションにチャレンジすると、特製グッズを手に入れることができる夏季企画展関連イベントとして実施した。

(2) イベント「S,,, TONES」(ストーンズ) 押し石アワード」

期日：9月14日(土)～11月10日(日)

会場：企画展示室ロビー

参加者数：296人

内容：企画展示室ロビーに表示した11枚の「S,,, TONES(ストーンズ)」の写真&プロフィールを基に、参加者が「押し石」を選んで付箋にメッセージを書いて貼るイベントを実施した。

(3) 「珠玉の国 新潟」展 SNS キャンペーン

期日：9月14日(土)～11月10日(日)

参加者数：81人

内容：「珠玉の国 新潟 ヒスイ、青玉、赤玉」展で写真を撮影し、「#珠玉の国 新潟」または「#新潟県立歴史博物館」をつけてSNSに投稿し、投稿画面を受付スタッフ提示すると、オリジナルグッズプレゼントした。

(4) 健康推進イベント「冬のミッション中!!ーウォーク&スケッチー」

期日：2月8日(土)～3月23日(日)

会場：常設展示室・企画展示室

参加者数：418人

内容：常設展示室と企画展示室をめぐってミッションにチャレンジすると、特製グッズを手に入れることができる冬季テーマ展示関連イベント。博物館内を歩いて、スケッチを描いたり、クイズを解いたりすることにより、参加者に心身をリフレッシュしてもらう効果を狙った。

「健康立県にいがた」(新潟県福祉保健部健康づくり支援課)との連携企画。



#### [共 催]

(1) 「新潟県中越大震災の今から学ぶー東日本大震災の遺すべきものは何かー」

期日：8月11日(日)

会場：新潟県立歴史博物館 講堂

主催：子どもに音楽を贈る会 福島しあわせ運べるように合唱団

共催：新潟県立歴史博物館友の会

参加者数：41人

内容：福島しあわせ運べるように合唱団は、東日本大震災の後新潟に来県し、子どもに音楽を贈る会主催で、新潟県立歴史博物館などでコンサートを開催してきた。その後当友の会では、福島（二本松市内）にて復興支援展覧会を開催するなど、交流を重ねている。新潟県中越大震災20周年にあたり、子どもたちと山古志住民との対話と「請戸小学校物語」の公演を行い、中越と福島の今後を考える場とした。

## (2) 呈茶席

期日：11月7日(木)～9日(土)

会場：新潟県立歴史博物館 エントランスロビー

主催：表千家 われもこう

内容：山の洲文化財交流事業「珠玉の国 新潟 ヒスイ、青玉、赤玉、」開催記念として、来館者にお茶及び菓子を無料で振る舞った。

## (3) 展覧会「新潟県中越大震災20年—それでもわが大地を愛し続ける—」

期日：12月3日(火)～1月13日(月・祝)

会場：新潟県立歴史博物館 企画展示室

主催：新潟県立歴史博物館友の会

観覧者数：911人

内容：新潟県立歴史博物館友の会は2005年に、新潟県中越大震災復興支援展覧会「震度7 それでもわが大地を愛す」を開催しました。その展覧会の開催に当たり、画家・原田泰治さんの「いつでも復興のために使えるように」という気持ちとともに、作品の高精細複製画（ピエゾグラフ）14点が諏訪市より新潟県に寄贈され、展示終了後もさまざまな機会に活用されてきました。震災20年の節目に、これらの高精細複製画や、山古志を撮影し続けてきた写真家・片桐恒平さんの作品を改めて紹介し、これまでの歩みと未来について考えます。

## (4) 展覧会「kid's 考古学新聞コンクール全国巡回展」

会期：12月3日(火)～1月13日(月・祝)

会場：新潟県立歴史博物館 企画展示室

主催：kid's 考古学研究所

共催：NPO 法人むきばんだ応援団

観覧者数：911人

内容：WEBサイト【全国子ども考古学教室】の実施する「kid's 考古学新聞コンクール」の2024年度の第5回入賞作品を展覧。

## (5) 映画「グリーン・ライ エコの嘘」上映会

期日：2月8日(土)

会場：新潟県立歴史博物館 講堂

主催：新潟県立歴史博物館友の会

参加者数：40人

内容：スーパーで見かける「環境に優しい」商品の裏側に隠された残酷な真実に迫るドキュメンタリー。



[協力]

(1) 信濃川火焰街道連携協議会

期日：令和6年度

内容：長岡市・十日町市・津南町・新潟市・三条市・魚沼市で構成する地域おこしを目的とした協議会への協力。小林達雄名誉館長が顧問となっている。

[参加]

(1) にいがたぐるっとミュージアム！

企画：新潟県

主催：にいがたぐるっとミュージアム！事務局

内容：新潟県内58の美術館・博物館・偉人顕彰館等を、無料または割引料金で入場できる周遊パスポートを発行し（大人1,000円、中学生以下500円）、各館の利用を促した。

(2) 長岡まつり「観光ふれあい広場」

期日：8月2日（金）

会場：アオーレ長岡 アリーナ

主催：(一社)長岡観光コンベンション協会

内容：来場者に投扇興を体験してもらい、蝶（的）を落とした方に招待券やクリアファイルをプレゼントした。

## 4 博物館実習

9月23日(月)から10月3日(木)まで、博物館実習生を受け入れた。受入大学及び人数は、青山学院大学(1人)、神奈川大学(1人)、京都橘大学(1人)、成城大学(1人)、東北芸術工科大学(1人)、長岡造形大学(2人)、新潟大学(1人)、八洲学園大学(1人)、米沢女子短期大学(1人)の9大学10人である。

内容は以下のとおり。

- 9月23日(月) オリエンテーション、博物館の役割・学芸員の業務(講義)、資料保存(IPM)・館内案内)
- 9月24日(火) 防災訓練、歴史資料について①(資料の取り扱い・点検)、課題調査(情報発信事業・広報について)
- 9月25日(水) 展示の設計と設営、課題調査、考古資料について(資料の取り扱い・点検)
- 9月26日(木) 課題調査、民俗資料について(資料の取り扱い・点検)
- 9月27日(金) 文化財レスキュー、課題調査、歴史資料について②(資料の取り扱い・点検)、課題調査
- 9月28日(土) 休日(自主調査日)
- 9月29日(日) 博物館教育について(体験プログラムの開発)、体験プログラム実践、体験プログラム運営・観覧者行動調査
- 9月30日(月) 常設展示・資料展示替え
- 10月1日(火) キャプション・解説パネル作成、AV機器の取り扱い、課題調査
- 10月2日(水) 周辺施設について(経営・連携など)＝馬高縄文館、博物館教育について、課題調査・発表最終調整
- 10月3日(木) 課題発表(情報・企画書)、実習まとめ

### Ⅲ 関係団体

#### 1 新潟県博物館協議会

平成12年8月1日加盟。県内の博物館の連絡体であって、博物館の健全な発展を図り、もって教育・学術及び文化の発展に寄与することを目的に研修会、研究紀要の発行等の事業を実施している。令和6年度においては当館・小原清文館長が副会長を務めている。

#### 2 新潟県立歴史博物館友の会

平成12年8月1日の新潟県立歴史博物館の開館と同時に発足。

役員は、令和6年度現在、会長：鈴木重壺氏、副会長：小林昌二氏、星野紀子氏、川口伊麻里氏、近藤道弥氏、理事7人、監事2人で構成。

##### (1) 展覧会

「新潟県中越大震災20年—それでもわが大地を愛し続ける—」

期日：12月3日（火）～1月13日（月・祝）

会場：新潟県立歴史博物館 企画展示室

観覧者数：911人

##### (2) 研修旅行

###### ① 「新津の歴史再発見」

期日：6月2日（日）

訪問地：新潟県立植物園、石油の里（石油の世界館）、新津鉄道資料館

参加者数：20人

###### ② 「國學院大學博物館を訪ねる」

期日：9月24日（日）

訪問地：東京国立近代美術館、國學院大學博物館

参加者数：21人

##### (3) 映画上映会

「グリーン・ライ エコの嘘」

期日：令和7年2月8日（土）

会場：新潟県立歴史博物館 講堂

主催：新潟県立歴史博物館友の会

参加者数：40人

##### (4) 博物館整備事業（芝刈り）

第1回 6月22日（土）

第2回 7月20日（土）

第3回 8月24日（土）

第4回 9月28日（土）

(5) 会報の発行

No. 26 12月12日

No. 27 3月31日

(6) 20周年記念誌の編集

(7) 理事会の開催

7月4日(木)

3月21日(金)

## V 日誌抄

### 令和6年

- 4月19日(金) 春季企画展「動物たちの浮世絵」開場式・内覧会実施  
4月20日(土) 春季企画展開幕(於:企画展示室、～6月9日)  
5月18日(土) 国際博物館の日記念無料観覧日  
6月10日(月) 令和5年度第2回評価委員会(於:まちなかキャンパス長岡)  
6月11日(火) 常設展示室燻蒸作業により臨時休館  
6月24日(月) 防災訓練実施  
7月12日(金) 夏季企画展「大・佐渡」開場式・内覧会実施  
7月13日(土) 夏季企画展開幕(於:企画展示室、～8月25日)  
夏休み特別イベント「ミッション中!! 2024」開催  
(於:常設展示室・企画展示室前ロビー、～8月25日)  
7月16日(日) 「歴博DE婚活」イベント  
(ソラヒト日和主催、7月13日、11月10日、11月26日、3月4日にも実施)  
7月21日(日) 佐渡文弥人形上演会開催  
7月23日(火) 夏休み特別体験「まが玉を作ろう」開催  
7月24日(水) 夏休み特別体験「花火玉貯金箱作り」開催  
7月25日(木) 夏休み特別体験「魔鏡」開催  
7月26日(金) 夏休み特別体験「刺し子に挑戦!」開催  
7月27日(土) 夏休み特別体験「まが玉を作ろう」開催  
8月1日(木) 高校生アカデミック・インターンシップ研修  
8月2日(金) 長岡まつり「観光ふれあい広場」参加  
8月5日(月) 高校生アカデミック・インターンシップ研修「光り物」展示  
(於:常設展示室、～9月30日)  
8月11日(日) 「新潟県中越大震災の今から学ぶ—東日本大震災の遺すべきものは何か—」(於:講堂)  
8月18日(日) 夏季企画展記念講演会「『佐渡島(さど)の金山』の世界遺産登録」開催(於:講堂)  
9月13日(金) 山の洲文化財交流展「珠玉の国 新潟 ヒスイ、青玉、赤玉、」開場式・内覧会実施  
9月14日(土) 山の洲文化財交流展開幕(～11月10日)  
9月23日(月) 博物館実習(～10月3日)  
9月24日(火) 防災訓練実施  
11月6日(木) 移動展覧会「アカデミック・インターンシップ研修成果展」  
(～11月20日、於:高田北城高等学校)  
11月7日(金) 山の洲文化財交流展開催記念呈茶席開催(於:エントランスロビー)(～11月9日)  
11月21日(水) 移動展覧会「アカデミック・インターンシップ研修成果展」  
(～12月4日、於:国際情報高等学校)  
11月23日(土) わくわくファミリーデー開催(～11月24日)  
12月3日(土) 友の会主催展覧会「新潟県中越大震災20年—それでもわが大地を愛し続ける—」  
開幕(～1月13日)  
「Kid's 考古学新聞コンクール全国巡回展」開幕(～1月13日)

### 令和7年

- 1月12日(日) サイノカミ実施

- 2月8日(金) 冬季テーマ展示「生活の証拠品が民具である—山口賢俊がまもったコレクション—」  
開幕(～3月23日)、内覧会実施  
健康推進イベント「冬のミッション中!! —ウォーク&スケッチ—」開催  
(於:常設展示室・企画展示室、～3月23日)
- 2月8日(金) 友の会主催「グリーン・ライ エコの嘘」映画上映会(於:講堂)
- 2月17日(月) 防災訓練実施
- 2月27日(木) 令和6年度第1回評価委員会(於:研修室)
- 3月25日(火) 『新潟県立歴史博物館年報』第24号—令和5年度—発行  
(PDFデータをホームページ上で公開)
- 3月25日(火) 『新潟県立歴史博物館研究紀要』第26号 発行

## VI 条例等

### 1 新潟県立歴史博物館条例

(平成12年3月31日)  
新潟県条例第10号

(設置)

第1条 新潟県の歴史及び民俗並びに縄文文化に関する県民の教養を高め、県民の学術及び文化の発展に寄与するため、新潟県立歴史博物館（以下「博物館」という。）を長岡市関原町1丁目字権現堂に設置する。

(事業)

第2条 博物館は、次に掲げる事業を行う。

- (1) 新潟県の歴史及び民俗並びに縄文文化に関する資料（以下「資料」という。）の収集、保管及び展示を行うこと。
- (2) 資料に関する専門的、技術的な調査研究を行うこと。
- (3) 資料に関する情報の提供を行うこと。
- (4) 資料の利用に関し必要な説明、助言等を行うこと。
- (5) 新潟県の歴史及び民俗並びに縄文文化に関する講演会、講習会、研究会等の開催その他の交流及び普及に関する活動を行うこと。
- (6) 前各号に掲げるもののほか、博物館の設置の目的を達成するために必要な事業

(観覧料)

第3条 博物館の常設展示室に展示されている資料を観覧しようとする者は、別表第1に掲げる観覧料（以下「観覧料」という。）を納めなければならない。

(特別観覧料)

第4条 展覧会その他の特別の催しを観覧しようとする者は、知事が別に定める特別観覧料（以下「特別観覧料」という。）を納めなければならない。

第5条 削除

(平19条例81)

(研修室等の使用の許可)

第6条 博物館の研修室又は講堂を使用しようとする者は、知事の許可を受けなければならない。許可を受けた事項を変更しようとするときも、同様とする。

2 知事は、次の各号のいずれかに該当するときは、研修室又は講堂の使用を許可しないことができる。

- (1) 公の秩序又は善良の風俗に反するおそれがあると認めるとき。
- (2) 博物館の施設又は設備を損傷するおそれがあると認めるとき。
- (3) 前2号に掲げる場合のほか、博物館の管理上支障があると認めるとき。

3 知事は、博物館の管理上必要があると認めるときは、第1項の許可に条件を付することができる。

(使用許可の取消し等)

第7条 知事は、前条第1項の許可を受けた者（以下「施設使用者」という。）が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、その許可を取り消し、又はその使用を制限し、若しくは停止することができる。

- (1) 不正の手段により使用の許可を受けたとき。
- (2) 前条第2項各号のいずれかに該当するに至ったとき。
- (3) 前条第3項の規定により使用の許可に付した条件に違反したとき。
- (4) この条例又はこの条例に基づく規則の規定に違反したとき。

(施設使用料)

第8条 施設使用者は、別表第2に掲げる施設使用料（以下「施設使用料」という。）を納めなければならない。

2 施設使用料は、前納とする。ただし、知事は特別の理由があると認めるときは、後納させることができる。

(観覧料等の免除)

第9条 知事は、必要があると認めるときは、観覧料、特別観覧料又は施設使用料の全部又は一部を免除することができる。

(平19条例81・一部改正)

(観覧料等の不還付)

第10条 既に納めた観覧料、特別観覧料及び施設使用料は、還付しない。ただし、知事が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(平19条例81・一部改正)

(委任)

第11条 この条例に定めるもののほか、博物館の管理に関し必要な事項は、規則で定める。

(平17条例72・旧第12条繰上)

附 則

この条例は、平成12年8月1日から施行する。

附 則(平成17年条例第72号)

この条例は、平成18年4月1日から施行する。

附 則(平成19年条例第81号)

この条例は、平成20年4月1日から施行する。

附 則(平成26年条例第16号)

(施行期日)

1 この条例は、平成26年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 改正後の別表第2の規定は、この条例の施行の日以後に使用の許可を受ける者について適用し、同日前に使用の許可を受けている者については、なお従前の例による。

附 則(平成28年条例第24号)

この条例は、平成28年4月1日から施行する。

附 則(平成31年条例第10号)

(施行期日)

1 この条例は、平成31年10月1日から施行する。

(経過措置)

2 改正後の別表第2の規定は、この条例の施行の日以後に使用の許可を受ける者について適用し、同日前に使用の許可を受けている者については、なお従前の例による。

別表第1(第3条関係)

(平19条例81・平26条例16・平28条例24・平31条例10・一部改正)

区 分	観 覧 料	
	個 人	団 体 (20人以上の団体に限る。)
高等学校の生徒 中等教育学校の後期課程の生徒 大学の学生 高等専門学校 その他これらに類する者	200 円	1人につき160 円
その他(学齢に達しない者並びに小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程並びに特別支援学校の小学部及び中学部の児童及び生徒を除く。)	520 円	1人につき410 円

別表第2（第8条関係）

（平26条例16・平31条例10・一部改正）

区 分		使用時間	施設使用料
研修室	全面使用	午前9時から正午まで	3,970円
		午後1時から午後5時まで	5,340円
		午前9時から午後5時まで	9,320円
	半面使用	午前9時から正午まで	1,990円
		午後1時から午後5時まで	2,670円
		午前9時から午後5時まで	4,650円
講 堂	午前9時から正午まで	11,200円	
	午後1時から午後5時まで	15,000円	
	午前9時から午後5時まで	26,200円	

## 2 新潟県立歴史博物館規則

(平成 12 年 7 月 18 日)  
(新潟県規則第 129 号)

(趣旨)

第 1 条 この規則は、新潟県立歴史博物館条例（平成 12 年新潟県条例第 10 号。以下「条例」という。）の施行に伴い、新潟県立歴史博物館（以下「博物館」という。）の管理に関し必要な事項を定めるものとする。

(開館時間)

第 2 条 博物館の開館時間は、午前 9 時 30 分（研修室及び講堂については、午前 9 時）から午後 5 時までとする。

(休館日)

第 3 条 博物館の休館日は、次に掲げる日とする。

(1) 月曜日（その日が国民の祝日に関する法律（昭和 23 年法律第 178 号）に規定する休日（以下「祝日」という。）に当たるときは、その直後の平日（日曜日及び祝日以外の日をいう。）

(2) 12 月 28 日から翌年の 1 月 3 日までの日

(開館時間又は休館日の変更)

第 4 条 前 2 条の規定にかかわらず、知事は、必要があると認めるときは、開館時間若しくは休館日を変更し、又は臨時に休館することができる。

(平 18 規則 27・一部改正)

(観覧券等の交付)

第 5 条 博物館の長（以下「館長」という。）は、条例第 3 条の規定による観覧料若しくは条例第 4 条の規定による特別観覧料を納めた者又は条例第 9 条の規定により観覧料若しくは特別観覧料を免除された者に対し、観覧券を交付するものとする。

(平 18 規則 27・平 20 規則 16・一部改正)

(研修室等の使用手続)

第 6 条 条例第 6 条第 1 項の規定により、博物館の研修室又は講堂（以下「研修室等」という。）の使用又は使用の変更の許可を受けようとする者は、別記第 1 号様式による申請書を館長に提出しなければならない。

2 館長は、前項の規定による申請書の提出があつた場合において、研修室等の使用又は使用の変更が許可されたときは、申請者に通知するものとする。

3 前項の規定により使用又は使用の変更の許可の通知を受けた者（以下「施設使用者」という。）は、研修室等を使用するときは、同項の規定による通知書を係員に提示しなければならない。

4 施設使用者は、研修室等の使用の取消しをしようとするときは、別記第 2 号様式による届出書を館長に提出しなければならない。

(平 18 規則 27・一部改正)

(施設使用者の遵守事項)

第 7 条 施設使用者は、次に掲げる事項を守らなければならない。ただし、第 3 号及び第 4 号に掲げる事項については、館長の承認を受けたときは、この限りでない。

(1) 使用目的以外の目的に使用しないこと。

(2) 使用する権利を他の者に譲渡し、若しくは担保に供し、又は使用する研修室等を他の者に使用させないこと。

(3) 現状を変更しないこと。

(4) 前 3 号に掲げるもののほか、館長が定める事項

(平 18 規則 27・一部改正)

(観覧料等の免除)

第 8 条 条例第 9 条の規定により、観覧料及び特別観覧料（以下この項において「観覧料等」という。）を免

除することができる場合及びその額は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程並びに特別支援学校の小学部及び中学部の児童及び生徒が教育課程に基づく教育活動として観覧する場合 当該児童及び生徒の引率者の観覧料等の全額
  - (1) の 2 県内に所在する高等学校、中等教育学校の後期課程、高等専門学校及び特別支援学校の高等部の生徒が教育課程に基づく教育活動として観覧する場合 当該生徒及びその引率者の観覧料等の全額
  - (2) 児童福祉法(昭和 22 年法律第 164 号)第 7 条第 1 項に規定する児童福祉施設のうち、児童養護施設、障害児入所施設、児童発達支援センター及び児童自立支援施設に入所し、又は通っている者(以下「入所者等」という。)が当該施設の活動として観覧する場合 当該入所者等及びその引率者の観覧料等の全額
  - (3) 身体障害者福祉法(昭和 24 年法律第 283 号)第 15 条に規定する身体障害者手帳(以下「身体障害者手帳」という。)の交付を受けた者が観覧する場合 その者の観覧料等の全額
  - (4) 療育手帳制度要綱(昭和 48 年 9 月 27 日付け厚生省発児第 156 号厚生事務次官通知)に規定する療育手帳(以下「療育手帳」という。)の交付を受けた者が観覧する場合 その者の観覧料等の全額
  - (5) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律(昭和 25 年法律第 123 号)第 45 条に規定する精神障害者保健福祉手帳(以下「精神障害者保健福祉手帳」という。)の交付を受けた者が観覧する場合 その者の観覧料等の全額
  - (6) 車いす等の補装具を使用している障害者基本法(昭和 45 年法律第 84 号)第 2 条第 1 号に規定する障害者(以下「補装具を使用している障害者」という。)の介助者が観覧する場合 当該介助者(障害者 1 人につき 1 人に限る。次号から第 9 号までにおいて同じ。)の観覧料等の全額
  - (7) 身体障害者手帳に第 1 種身体障害者(身体障害者に対する旅客鉄道株式会社等の旅客運賃の割引について(昭和 57 年 1 月 6 日付け社更第 4 号厚生省社会局長・児童家庭局長通知)に規定する第 1 種身体障害者をいう。)として記載されている者の介助者が観覧する場合 当該介助者の観覧料等の全額
  - (8) 療育手帳に第 1 種知的障害者(知的障害者に対する旅客鉄道株式会社等の旅客運賃の割引について(平成 3 年 9 月 24 日付け児発第 811 号厚生省児童家庭局長通知)に規定する第 1 種知的障害者をいう。)として記載されている者の介助者が観覧する場合 当該介助者の観覧料等の全額
  - (9) 精神障害者保健福祉手帳に障害等級 1 級(精神保健及び精神障害者福祉に関する法律施行令(昭和 25 年政令第 155 号)第 6 条第 3 項に規定する障害等級 1 級をいう。)として記載されている者の介助者が観覧する場合 当該介助者の観覧料等の全額
  - (10) 第 3 号から第 5 号までに規定する者又は補装具を使用している障害者が団体(それらの者が 20 人以上であるものに限る。)として観覧する場合において当該団体に随行する医療担当者(医師、看護師等をいう。)が観覧するとき 当該医療担当者(2 人以内に限る。)の観覧料等の全額
  - (11) 展覧会その他の特別の催しを観覧するため特別観覧料を納めた者が当該特別の催しを観覧する日に常設展示室に展示されている資料を観覧する場合 その者の観覧料の全額
- 2 条例第 9 条の規定により、施設使用料を免除することができる場合及びその額は、次に掲げるとおりとする。
- (1) 博物館の設置の目的の達成に資するものとして県が後援し、又は賛助する事業(営利を目的としないものに限る。)を行うために使用する場合 施設使用料の全額
  - (2) 新潟県の歴史又は民俗に関する研究活動又は普及活動を行うことを目的とする団体が当該目的のために使用する場合(営利を目的としない場合に限る。)施設使用料の 2 分の 1 に相当する額
- 3 前 2 項に定めるもののほか、知事は、公益上必要があると認めるときは、観覧料、特別観覧料又は施設使用料の全部又は一部を免除することができる。
- (平 14 規則 146・平 19 規則 15・平 20 規則 16・平 23 規則 39・平 24 規則 19・平 28 規則 26・令 2 規則 24・令 6 規則 45・一部改正)

(観覧料等の免除手続)

第9条 前条第1項の規定による免除(同項第1号、第1号の2、第2号又は第10号に係るものに限る。)を受けようとする者は、あらかじめ別記第3号様式による申請書を館長に提出しなければならない。

2 前条第1項の規定による免除(同項第3号から第9号までに係るものに限る。)を受けようとする者は、これらの規定のいずれかに該当することを示す身体障害者手帳その他の書類を館長に提示しなければならない。ただし、館長が当該書類を提示する必要がないと認めるときは、この限りでない。

(平14規則146・平18規則27・平20規則16・一部改正)

附 則

この規則は、平成12年8月1日から施行する。

附 則(平成14年規則第146号)

この規則は、平成14年10月1日から施行する。

附 則(平成18年規則第27号)

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則(平成19年規則第15号)

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則(平成20年規則第16号)

この規則は、平成20年4月1日から施行する。ただし、第8条第1項第2号の改正は、公布の日から施行する。

附 則(平成23年規則第39号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成24年規則第19号)

この規則は、平成24年4月1日から施行する。

附 則(平成28年規則第26号)

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

附 則(令和2年規則第24号)

この規則は、令和2年4月1日から施行する

附 則(令和6年規則第45号)

この規則は、令和6年6月14日から施行する。

別記

第1号様式（第6条関係）

# 研修室等 使用変更 許可申請書

新潟県知事 様

年 月 日

住 所 〒

氏 名

（法人又は団体にあつては、  
名称及び代表者の氏名）

電 話

担当者

下記のとおり研修室等を使用をしたいので申請します。  
の使用の変更をしたい

なお、使用に際しては、新潟県立歴史博物館条例及びこれに基づく規則に従います。

## 記

区 分		使 用 の 内 容 (使用の変更の場合は、変更前の内容)	変 更 す る 内 容
使用する施設 及び使用日時	研 修 室	<input type="checkbox"/> 全面使用 <input type="checkbox"/> 半面使用 年 月 日 時から 年 月 日 時まで	<input type="checkbox"/> 全面使用 <input type="checkbox"/> 半面使用 年 月 日 時から 年 月 日 時まで
	講 堂	年 月 日 時から 年 月 日 時まで	年 月 日 時から 年 月 日 時まで
使用の目的 (催事の名称)			
使用予定人員		人	人
参加料の有無		有 (                      円) 無	有 (                      円) 無
施設使用料の 免除申請		<input type="checkbox"/> する (理由: 新潟県立歴史博物館規則第8条第2項第 号該当) <input type="checkbox"/> しない	
※施設使用料		円	※使用 条件
※免除額		円	
※納付する額		円	

注 ※印欄は、記入する必要はありません

第2号様式（第6条関係）  
 （平18規則27・旧第3号様式繰上）

## 研修室等使用取消届出書

新潟県知事 様

年 月 日

住 所 〒  
 氏 名  
 （法人又は団体にあつては、  
 名称及び代表者の氏名）  
 電 話  
 担当者

下記のとおり研修室等の使用の取消しをしたいので届け出ます。

### 記

使用許可通知の年月日 及 び 番 号	年 月 日 第 号	
使用許可を受けた 施設及び使用日時	研 修 室	<input type="checkbox"/> 全面使用 <input type="checkbox"/> 半面使用 年 月 日 時から 年 月 日 時まで
	講 堂	年 月 日 時から 年 月 日 時まで
許可を受けた使用目的 （ 催 事 の 名 称 ）		
使用の取消しの理由		

第3号様式（第9条関係）

（平18規則27・旧第4号様式繰上、平20規則16・一部改正）

## 観覧料等免除申請書

新潟県知事 様

年 月 日

住 所 〒

氏 名

（法人又は団体にあつては、  
名称及び代表者の氏名）

電 話

担当者

下記のとおり 観覧料  
特別観覧料 の免除を受けたいので申請します。

### 記

申 請 の 理 由	新潟県立歴史博物館規則第8条第1項第 号該当
観 覧 年 月 日	年 月 日 時 分頃から 時 分頃まで
対 象 及 び 人 数	生徒 人 医療担当者 人 入所者又は通所者 人 引率者 人 合 計 人
観覧の際の責任者の氏名	
その他参考となるべき事項	

---

---

**新潟県立歴史博物館年報 第25号**  
**—令和6年度—**

令和7年8月20日発行

編集・発行 新潟県立歴史博物館

〒940-2035

新潟県長岡市関原町1丁目字権現堂 2247番2

TEL 0258(47)6130

FAX 0258(47)6136

HP <https://nbz.or.jp>

メールアドレス [office@nbz.or.jp](mailto:office@nbz.or.jp)

---

---